



ライセンス 11.17.2 build 56200

Contents

ライセンス 11.17.2 ビルド 56200	16
Citrix ライセンス: ユーザーワークフロー	17
凡例	19
新機能	20
ライセンスサーバー バージョン 11.17.2 ビルド 56200 の新機能	20
Apacheバージョンの更新	20
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 55100 の新機能	20
ライセンスおよびLAS登録の改善	20
OpenSSL バージョン更新	20
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 54100 の新機能	20
OpenSSL バージョン更新	21
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 53100 の新機能	21
ファイルベースのライセンスシステム EOL 通知	21
Apacheバージョンの更新	22
License Serverバージョン11.17.2ビルド52100の新機能	22
OpenSSLバージョンの更新	22
License Serverバージョン11.17.2ビルド51000の新機能	22
ライセンスアクティベーションサービス	22
TLS 1.2によるセキュリティ強化	22
License Serverバージョン11.17.2ビルド49000の新機能	22
Apacheのバージョン更新	22
License Serverバージョン11.17.2ビルド48000の新機能	22
Apacheのバージョン更新	22
libJWTのバージョン更新	23
zlibのバージョン更新	23
Citrix Licensing テレメトリデータ収集の機能強化	23

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 47000 の新機能	23
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 46000 の新機能	23
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 45000 の新機能	23
OpenSSL バージョンの更新	23
Apache のバージョン更新	24
Libxml2 のバージョン更新	24
ライセンスデータ収集プログラムの機能強化	24
ライセンステレメトリデータプログラムの手動アップロード手順の機能強化	24
License Server バージョン 11.17.2 build 44000 の新機能	24
OpenSSL のバージョン更新	24
License Server バージョン 11.17.2 build 43000 の新機能	24
Moment.js バージョン更新	24
Apache バージョン更新	24
OpenSSL バージョン更新	25
jQuery バージョン更新	25
Citrix Licensing Manager 内でプロキシサーバーを構成する	25
将来の開始日を持つライセンスに関するアラート	25
製品情報タブの追加	25
License Serverバージョン 11.17.2 ビルド 42000 の新機能	26
License Serverバージョン 11.17.2 ビルド 41000 の新機能	26
タイムスタンプとともにデバイスIDを収集する	26
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 40000 の新機能	26
データ収集プログラムの機能強化	26
Apache バージョンの更新	26
OpenSSL バージョンの更新	26
jQuery UI バージョンの更新	26
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 39000 の新機能	27
Apache バージョンの更新	27

OpenSSL バージョン更新	27
Libxml2 バージョン更新	27
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 37000 の新機能	27
License Server のイベントデータをCitrix Cloudに送信するオプション	27
新機能のモーダルウィンドウ	27
Apache バージョン更新	27
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 36000 の最新情報	28
自己署名証明書での4096キーサイズのサポート	28
OpenSSLバージョンのアップグレード	28
Apacheバージョンの更新	28
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 35000 の最新情報	28
Windows Server 2022のサポート	28
License Serverの問題をトラブルシューティングするためのサポートバンドル	28
OpenSSL バージョンのアップグレード	28
License Server 11.16.6 ビルド 34000 の新機能	29
Lmadmin.exe が Lmgrd.exe に移行しました	29
OpenSSL バージョンのアップグレード	29
Libxml2 バージョンのアップグレード	29
修正された問題	29
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 56200 で修正された問題	29
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 55100 で修正された問題	29
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 54100 で修正された問題	29
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 53100 で修正された問題	30
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 52100 で修正された問題	30
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 51000 で修正された問題	30
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 49000 で修正された問題	30
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 48000 で修正された問題	30
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 47000 で修正された問題	30

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 46000 で修正された問題	30
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 45000 で修正された問題	30
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 44000 で修正された問題	30
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 43000 で修正された問題	31
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 42000 で修正された問題	31
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 41000 で修正された問題	31
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 40000 で修正された問題	31
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 39000 で修正された問題	31
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 37000 で修正された問題	31
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 36000 で修正された問題	31
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 35000 で修正された問題	32
License Server ビルド 34000 で修正された問題	32
既知の問題	32
License Serverバージョン11.17.2ビルド56200の既知の問題	32
License Serverバージョン11.17.2ビルド55100の既知の問題	32
License Serverバージョン11.17.2ビルド54100の既知の問題	32
License Serverバージョン11.17.2ビルド53100の既知の問題	32
License Serverバージョン11.17.2ビルド52100の既知の問題	32
License Serverバージョン11.17.2ビルド51000の既知の問題	33
License Serverバージョン11.17.2ビルド49000の既知の問題	33
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 48000 の既知の問題	33
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 47000 の既知の問題	33
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 46000 の既知の問題	33
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 45000 の既知の問題	33
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 44000 の既知の問題	34
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 43000 の既知の問題	34
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 42000 の既知の問題	34
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 41000 の既知の問題	34

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 40000 の既知の問題	34
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 39000 の既知の問題	34
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 37000 の既知の問題	34
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 36000 の既知の問題	34
License Server バージョン 11.17.2 ビルド 35000 の既知の問題	35
License Server ビルド 34000 の既知の問題	35
ライセンスファイルの問題	35
サードパーティ通知	35
オープンソースソフトウェアのバージョン	36
Citrixライセンスのデータ収集プログラム	37
Citrix Licensing コールホーム	37
Citrix Licensingカスタマーエクスペリエンス向上プログラム	38
Citrix License Serverイベントデータ	39
Citrix ライセンス テレメトリ	40
レポートオプション	41
アップロードされたzipファイル内のデータを読み取る方法	43
upload_compliance*.zip	43
upload_usage_*.zip	43
シトリックス ライセンシング テレメトリ データ要素	44
メタデータ要素	45
ライセンスアクティベーション日次サマリー	47
ライセンスアクティベーションの使用状況情報	50
LASオンボーディングの一部としてLASに保存されるデータ	53
Citrix Licensing のシステム要件	55
ライセンスの要件	55
次のステップ	56
License Serverの開始、インストール、および構成	57
手順1 前提条件を確認する	57

手順2 製品のライセンスを付与する	57
ステップ3 セキュリティとファイアウォールを確認する	58
セキュリティに関する考慮事項	58
暗号スイートの順序と要件	59
ファイアウォールの考慮事項	59
ステップ4 ライセンスコンポーネント、サーバー、および証明書のインストール	60
グラフィカルインターフェイスを使用してライセンスサーバーとコンソールをインストールする	61
Windows コマンドラインを使用してライセンスをインストールする	62
コマンドラインを使用して Active Directory 展開用のライセンスをインストールする	63
コマンドラインを使用してライセンス管理サービスを有効または無効にする	64
Citrix Licensing ManagerおよびWeb Services for Licensingで使用する証明書を手動でインストールする	65
ドメイン証明書を使用して.pfxファイルを取得する方法 - 方法1	65
証明機関 (CA) に要求を送信して .pfx ファイルを取得する方法 – 方法 2	66
証明書と秘密キーを抽出する方法	68
ライセンスサーバーに <code>.crt</code> ファイルと <code>.key</code> ファイルをインストールする方法	68
ステップ5 プロキシサーバーを構成する	69
プロキシサーバーを手動で構成する方法	70
次の手順	70
カスタマーサクセスサービス	71
Customer Success Services更新ライセンス	71
Citrix Licensing Manager を使用して Customer Success Services の更新ライセンスを確認およびインストールする	72
Citrix ライセンスマネージャー	74
新機能のモーダルウィンドウ	75
次のステップ	75
ダッシュボード	76

製品情報	77
設定	79
アカウント	79
管理者とユーザーの役割	80
ユーザーとグループを追加および削除するには	80
サーバー構成	81
ポート番号を設定する	83
Citrix Licensing Managerでプロキシサーバーを設定する	83
カスタマーサクセスサービスの更新	85
カスタマーサクセスサービス更新	85
ライセンスバーストモード	86
言語	86
サポートバンドル	86
使用状況と統計	87
使用状況統計を共有する	88
Citrix ライセンスサーバーを登録する	88
登録を解除する	89
ライセンスサーバーイベントデータを収集する	89
アップロード情報	90
履歴の使用状況	90
Citrix License Server の登録と登録解除	90
Citrix License Server を登録する	90
License Server を登録する手順	91
ライセンスサーバーからライセンスサーバーの登録を削除する	93
Citrix Cloudからライセンスサーバーの登録を削除する	94
追加情報	94
ライセンスアクティベーションサービス	95
LASの主な利点	95

オンラインアクティベーションのためにライセンスサーバーを登録する	96
Citrix Cloud商用エンドポイント	97
Citrix Cloud Japanエンドポイント:(Citrix Cloud Japanテナントのみ)	98
Citrix Cloud Government エンドポイント:(Citrix Cloud Government テナントのみ)	98
OS証明書が最新である場合、以下のURLは無視してください	98
Citrix Cloud Japan固有の構成変更	99
Citrix Cloud Government固有の構成変更	100
Citrix Cloud EU固有の構成変更	101
Citrix Cloud APS固有の構成変更	102
ステップバイステップの登録とアクティベーション	103
ステップ1: ライセンスサーバーから登録を開始する	104
ステップ2: Citrix Cloudでの登録を完了する	105
ステップ3: ライセンスサーバーでCitrix Cloudの登録ステータスを確認する	105
ステップ4: Citrix Cloudで登録済みライセンスサーバーのステータスを確認する	106
ステップ5: ライセンスサーバーでエンタイトルメントを確認する**	107
ステップ6: LAS で製品をアクティブ化する	108
LAS 接続通知	108
自動更新とアクティベーションの有効性	109
テレメトリ	109
重要なシステム依存関係	109
ライセンスキャッシュモード	110
LASステータスアラートを無効にする	111
トラブルシューティング	112
アクティベーションエントリの削除	113
ライセンスサーバーをアップグレードする	114
アップグレードする前に	114
前提条件と注意事項	114
ライセンスサーバーをアップグレードする方法	115

License Server のアップグレード中のイベント	117
エディションのライセンスをアップグレードする方法	117
ライセンスサーバーをアンインストールする	118
GUIを使用してライセンスサーバーをアンインストールする	118
Windows コマンドラインを使用してライセンスサーバーをアンインストールする	119
ライセンスに関するFAQ	120
ライセンスアクティベーションサービス	120
LAS が指す Org ID を別の Org ID に変更する方法?	120
LAS がある Org ID から別の Org ID に切り替わると、すでにアクティブ化されている製品とサイトはどうなりますか?	120
ライセンス	121
Windows 2025 でライセンスサーバーのインストールまたはアップグレードが失敗した場合、どうすればよいですか?	121
ライセンスファイルとは何ですか。また、どのように使用しますか?	121
ライセンスを返却する理由は何ですか?	121
返却されたライセンスはどうなりますか?	121
ライセンスを非表示にするとどうなりますか?	121
ライセンスファイルのコピーを入手するにはどうすればよいですか?	122
ライセンスの割り当て	122
ライセンスの割り当てとは何ですか?	122
ホストIDタイプとホストIDの違いは何ですか?	122
一部のライセンスを部分的に割り当てられないのはなぜですか?	122
ライセンスサーバー	122
License Server の名前を変更できますか?	122
License Server をアップグレードすると、ライセンスファイルに影響しますか?	123
インプレースアップグレードを実行する場合、履歴データはバックアップされますか?	123
単一のライセンスサーバーで、異なる製品エディションを使用している異なるサーバーから接続するユーザーにライセンスを供給できますか?	123

ライセンス管理コンソール	123
ライセンス管理コンソールはどこにありますか？	123
ライセンス管理コンソールをサポートしない11.16.6ビルド34000を使用しているときに、ベンダーデーモンログ (CITRIX.log) が上書きされないように構成する方法？	123
ディザスタリカバリとメンテナンス	124
ディザスタリカバリサイトのライセンスはどのように取得しますか？	124
index	125
ダッシュボード	125
使用履歴	126
使用状況履歴データのエクスポート	126
ライセンスサービス	127
Web Services for Licensing	127
Citrixライセンス管理サービス	127
Citrixライセンスサーバー	128
Citrix Licensing WMI	128
コンソールなしでのライセンスサーバー管理	129
ベンダーデーモンログ (CITRIX.log) が上書きされないように構成する	129
カスタマーサクセスサービス	130
ライセンスファイルの削除	130
ドメイン名の切り捨てを無効にする	132
更新およびメンテナンスの有効期限を検索する	132
災害復旧のバックアップと冗長性	133
License Serverがメンテナンス活動のためにオフラインの場合	133
License Serverが回復不能な場合はどうすればよいですか？	133
License Serverが回復不能で、ライセンスファイルのバックアップコピーがすぐに利用できない場合はどうすればよいですか？	133
ライセンスサーバーが回復不能で、環境内の既存のサーバーの名前を変更できない場合、どうすればよいですか？	134

ライセンスサーバーの障害によって、パフォーマンスが低下したり、ユーザーへのサービスが拒否されたりすることはありますか？	134
冗長性ソリューション	134
履歴の使用状況	135
履歴使用状況データのエクスポート	136
Transition and Trade-Up (TTU) と Citrix Universal™ サブスクリプション	137
移行とトレードアップ	137
トランジションおよびトレードアップの条件と制限	138
Citrix Universal サブスクリプションライセンス	138
ハイブリッド権限の更新	139
ライセンスをインストールする	139
ライセンスアクセスコードを使用する	140
ダウンロードしたライセンスファイルを使用する	141
ライセンスの割り当てとダウンロード	142
ライセンスサーバー	143
関連リンク	144
ライセンスファイル	144
Citrixスタートアップライセンス	145
Citrix License Server診断ライセンス	145
ライセンスファイル	145
ライセンスを別のホストに移動する	146
ライセンスファイルの形式	146
ライセンスの種類	153
ユーザー/デバイスライセンス	154
概要	154
シナリオ	154
ライセンス割り当て期間	155
ユーザーまたはデバイスのライセンスを解放する	155

ライセンスの最適化	155
同時実行ライセンス	156
概要	156
シナリオ	156
ユーザーごとのライセンス	158
概要	158
シナリオ	158
ライセンス割り当て期間	158
ユーザーまたはデバイスのライセンスを解放する	158
デバイスごとのライセンス	159
概要	159
シナリオ	159
ライセンス割り当て期間	159
ユーザーまたはデバイスのライセンスを解放する	159
ソケット単位のライセンス	160
指名ユーザーライセンス（レガシー）	160
ライセンスの超過	160
ライセンスバーストモード	160
オーバードラフトとライセンスバーストモードの例	162
オーバードラフトとライセンスバーストモードの可用性	163
年間および期間ベースの小売ライセンス向けCitrixオンプレミスサブスクリプション	163
ライセンスの有効期限が切れる前に	164
オンプレミスサブスクリプションライセンスの延長	164
よくある質問	164
citrix.com でライセンスを管理する	165
citrix.com で Manage Licenses にアクセスするには	165
ライセンスを検索する	166
ライセンスを割り当てる	166

ライセンスのダウンロード	166
ライセンスのインストール	167
アセットコンポーネントの表示	168
割り当ての返却	168
ライセンスの変更	169
ライセンスのアップグレード	169
ライセンスの非表示と再表示	170
複数のライセンスを管理する（一括操作）	170
ライセンスのフィルター	170
製品ライセンスレポートの作成 - Excel (CSV) にエクスポート	170
ライセンスを更新する	171
ライセンスファイル	172
Citrixスタートアップライセンス	172
Citrix License Server Diagnostics License	172
ライセンスファイル	172
他のライセンスサーバーへのライセンスの移動	173
ライセンスファイルの形式	173
SERVER行	174
VENDOR行	175
INCREMENT行	176
ライセンスサーバーの要素	180
Citrixベンダーデーモン	181
オプションファイル	181
ライセンスの要求プロセス	181
Citrixライセンスのカスタマーエクスペリエンス向上プログラム（CEIP）、Call Home、コンプライアンス使用状況および分析プログラム	182
CitrixライセンスのCustomer Experience Improvement Program（CEIP）	183
Citrix Call Home	189

コンプライアンスのアップロード	193
Citrixライセンスサーバーの技術概要	194
ライセンス処理の概要	195
チェックアウトとチェックイン	195
スケーラビリティ	196
異なる製品エディションを使用するライセンスサーバー	198
展開例	199
ライセンスの概念	200
猶予期間	200
新規ライセンス	201
期限切れが近いライセンス	201
用語集	201
Citrixライセンスサーバーのドキュメント履歴	203

ライセンス 11.17.2 ビルド 56200

Citrix®ライセンスは、連携して機能するコンポーネントのシステムです。Citrix製品を使用する前に、ライセンスコンポーネントについて学習してください。Citrixライセンスシステムには、以下が含まれます。

- **ライセンスサーバー** - すべてのCitrix製品環境には、少なくとも1つの共有または専用のライセンスサーバーが必要です。Citrix製品を実行しているサーバーは、ライセンスを取得するためにライセンスサーバーに接続します。詳細については、「[ライセンスサーバー](#)」を参照してください。
- **ライセンスファイル** - ライセンスファイルは、製品のライセンス情報を含むテキストファイルです。これには、ライセンスサーバー名、ライセンス有効期限、およびその他の情報が含まれます。詳細については、「[ライセンスファイル](#)」を参照してください。
- **Citrix Licensing Manager** - Citrix Licensing Managerは、Citrixライセンス用のWebベースの管理コンソールです。詳細については、「[Citrix Licensing Manager](#)」を参照してください。
- **ライセンスアクティベーションサービス** - ライセンスアクティベーションサービス (LAS) は、従来のCitrix®レガシーライセンスに代わる新しいクラウドベースのライセンスソリューションです。LASは、Citrix製品のアクティベーションのための新しいモジュールを導入し、ライセンス管理へのシームレスで最新のアプローチを保証します。
- **ライセンスサービス** - Citrixライセンスサービスは、以下の主要なライセンス機能を提供するWindowsサービスです。
 - Citrix ライセンス用ウェブサービス
 - Citrix ライセンスサポートサービス
 - Citrix ライセンス WMI
 - CITRIXベンダーデーモン

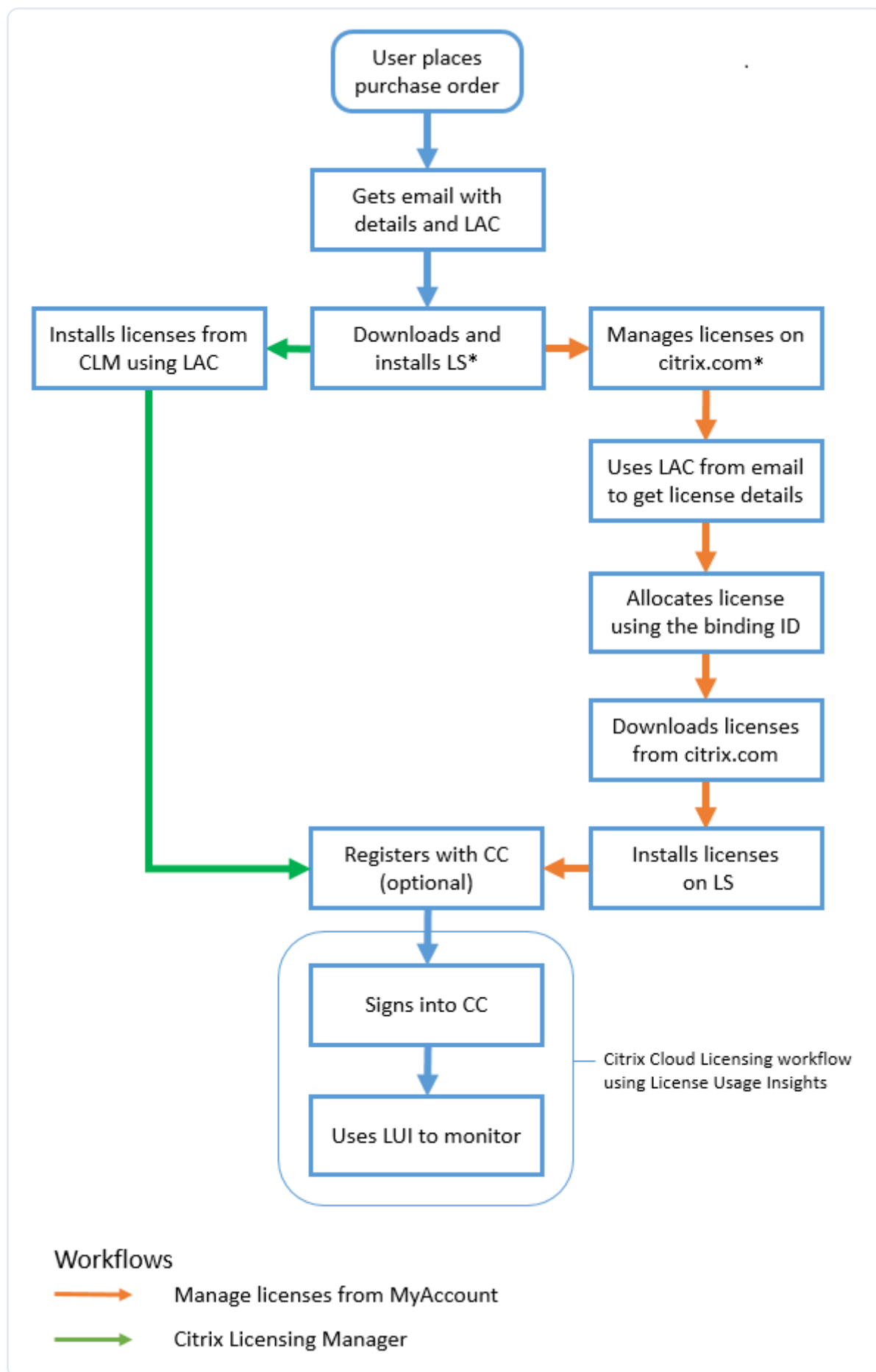
詳細については、ライセンスサービスを参照してください。

- ライセンスサーバーに関連付けられているCitrix製品の製品側設定。

ライセンスコンポーネントの詳細については、Citrix ライセンスの技術概要を参照してください。

Citrix ライセンス: ユーザーワークフロー

次の図は、Citrixライセンスのワークフローを示しています。



凡例

* - License Serverをダウンロードしてインストールする前に、既存のユーザーはcitrix.comにログインし、新規ユーザーはcitrix.comアカウントを作成します。

CC は Citrix Cloud™ です

CLM - Citrix ライセンスマネージャー

LAC - ライセンスアクセスコード

LS - ライセンスサーバー

LUI - ライセンス使用状況インサイト

新機能

ライセンスサーバー バージョン 11.17.2 ビルド 56200 の新機能

リリース日: August 17, 2026

重要:

バージョン11.17.2 Build 56100をご利用の場合は、11.17.2 Build 56200にアップグレードしてください。

Apacheバージョンの更新

アパッチ 2.4.68

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 55100 の新機能

リリース日: April 29, 2026

ライセンスおよびLAS登録の改善

- LAS登録に関するLicense Serverの修正。
- Citrix License ManagerのEntitlementsページを簡素化。
- License Serverは、FQDNの代わりにホスト名を使用して登録するようになりました。
- AOTログ記録の改善。
- その他のバグ修正と改善。

OpenSSL バージョン更新

OpenSSL 1.1.1zf

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 54100 の新機能

リリース日: December 17, 2025

OpenSSL バージョン更新

OpenSSL 1.1.1zd

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 53100 の新機能

リリース日: August 06, 2025

ファイルベースのライセンスシステム EOL 通知

従来、さまざまなオンプレミスコンポーネントのアクティベーションに使用されてきたファイルベースのライセンスシステムは、April 15, 2026にサポート終了 (EOL) となります。License Activation Service (LAS) は、Citrix製品スイート全体での製品アクティベーションのための次世代テクノロジーです。April 15, 2026以降、Citrixオンプレミスコンポーネントをアクティベートしてライセンスを付与する唯一の方法はLASになります。サポートを継続するには、Citrix Virtual Apps and DesktopsおよびXenServerの展開がLAS互換バージョンである必要があります。

Citrix Virtual Apps and Desktops の場合: LAS 互換の最小要件となる CVAD バージョンは次のとおりです。

- CVAD 2203 LTSR CU7
- CVAD 2402 LTSR CU3
- CVAD 2507 LTSR
- CVAD 2411

XenServerの場合: LASと互換性のあるXenServerの最小要件バージョンはXenServer 8.4です。

- Early Accessチャネルを使用している場合、更新はAugust 21, 2025以降に行われる予定です。
- Normalチャネルを使用している場合、更新はAugust 28, 2025以降に行われる予定です。
- オフライン更新を使用している場合、バンドルはAugust 28, 2025以降にリリースされる予定です。

ご質問やご不明な点がございましたら、カスタマーケアにお問い合わせください。Citrixは、これらの要件を遵守しない場合、Citrixが法律または衡平法上持つその他の救済措置に加えて、責任を負うことなくCitrix Maintenanceを制限または停止することがあります。これらの要件は、法律または規制によって禁止されている場合は適用されません。

XenMobile Serverの場合: LASと互換性のあるXenMobile Serverの最小要件バージョンは、10.16 Rolling Patch 7および10.15 Rolling Patch 13です。

Apacheバージョンの更新

アパッチ 2.4.65

License Serverバージョン11.17.2ビルド52100の新機能

リリース日: April 29, 2025

OpenSSLバージョンの更新

OpenSSL 1.1.1za

License Serverバージョン11.17.2ビルド51000の新機能

リリース日: Dec 03, 2024

ライセンスアクティベーションサービス

バージョン11.17.2ビルド51000以降、Citrix LicensingにはLicense Activation Service (LAS)が含まれています。LASは、Citrix製品をアクティブ化するための新しいモジュールを提供するクラウドベースのライセンスソリューションであり、ライセンス管理に対するシームレスで最新のアプローチを提供します。詳細については、[License Activation Service](#)を参照してください。

TLS 1.2によるセキュリティ強化

セキュリティ・バイ・デザインのアプローチを採用し、デフォルトでTLS 1.2より古いプロトコルを無効にすることで、セキュリティを強化しました。

License Serverバージョン11.17.2ビルド49000の新機能

リリース日: Aug 12, 2024

Apacheのバージョン更新

アパッチ 2.4.62

License Serverバージョン11.17.2ビルド48000の新機能

リリース日: June 27, 2024

Apacheのバージョン更新

アパッチ 2.4.59

libJWTのバージョン更新

libJWT 1.17.1

zlibのバージョン更新

ズリブ-1.3.1

Citrix Licensing テレメトリーデータ収集の機能強化

バージョン 11.17.2 ビルド 48000 以降、Citrix Licensing テレメトリーデータ収集プログラムは、ユーザー識別子の非識別化をサポートするようになりました。テレメトリーデータは、Citrix にアップロードする前に、以下の識別子を非識別化します。

- ユーザーID
- デバイス名
- 完全修飾ドメイン名 (FQDN)

これらの詳細を匿名化することで、Citrix は機密情報が秘密に保たれることを保証します。詳細については、「Citrix Licensing Telemetry」を参照してください。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 47000 の新機能

リリース日: April 15, 2024

このリリースには、ユーザーエクスペリエンスを向上させるバグ修正が含まれています。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 46000 の新機能

リリース日: February 19, 2024

このリリースでは、全体的な安定性の向上に役立つ問題が解決されています。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 45000 の新機能

リリース日: December 07, 2023

OpenSSL バージョンの更新

OpenSSL 1.1.1w

Apache のバージョン更新

アパッチ 2.4.58

Libxml2 のバージョン更新

zlib- 1.3 のサポート

ライセンスデータ収集プログラムの機能強化

さまざまなライセンスデータ収集プログラムに関するCitrix Licensing Complianceの内容が更新されました。詳細については、Citrix Licensing data collection programsおよび[Usage and Statistics](#)を参照してください。

ライセンステレメトリデータプログラムの手動アップロード手順の機能強化

License Server 11.17.2 build 45000以降、Citrixにデータを手動でアップロードすることを選択した管理者は、License ServerとCitrix Virtual Apps and Desktopsの両方のデータ要素をアップロードする必要があります。手動アップロード手順の詳細については、Citrix Licensing Telemetryを参照してください。

License Server バージョン 11.17.2 build 44000 の新機能

リリース日：July 26, 2023

OpenSSL のバージョン更新

OpenSSL 1.1.1u

License Server バージョン 11.17.2 build 43000 の新機能

リリース日：May 22, 2023

Moment.js バージョン更新

Moment.js 2.29.4

Apache バージョン更新

Apache 2.4.57 のサポート

OpenSSL バージョン更新

OpenSSL 1.1.1t

jQuery バージョン更新

jQuery 3.5.1

Citrix Licensing Manager 内でプロキシサーバーを構成する

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 43000 以降、Citrix Licensing Manager UI からプロキシサーバー設定を表示および構成できます。プロキシサーバー設定を表示するには、**設定 > サーバー構成 > プロキシサーバーの構成** に移動します。必要に応じて、これらの設定を編集してプロキシサーバーを追加、変更、または削除できます。詳細については、「[Citrix Licensing Manager 内でのプロキシサーバーの構成](#)」を参照してください。

将来の開始日を持つライセンスに関するアラート

将来の開始日を持つライセンスを含むライセンスファイルをアップロードすると、アラートメッセージが表示されます。このメッセージは、開始日までライセンスがLicense Serverインベントリに表示されないことを示します。このアラートは、**Citrix Licensing Manager > ライセンスのインストール** タブに表示されます。

将来の開始日を持つ複数のライセンスがある場合、次のメッセージが表示されます。



将来の開始日を持つ単一のライセンスがある場合、次のメッセージが表示されます。



製品情報タブの追加

Citrix Licensing Managerのこのリリースでは、製品情報に関する新しいセクションが追加されました。このセクションでは、次のようなライセンスサーバーの更新に関する情報を提供します。

- ダウンロード可能なライセンスサーバーの最新バージョン
- 最新の更新
- 更新の最終成功試行
- 特定のリリース向けのOpenSSLやApacheのバージョンなど、オープンソースソフトウェアの更新

注:

ライセンスサーバーの更新セクションでは、最新の製品情報を表示するためにインターネットアクセスが必要です。詳細については、[製品情報](#)ページを参照してください。

License Serverバージョン 11.17.2 ビルド 42000 の新機能

リリース日: February 01, 2023

このリリースでは、全体的な安定性の向上に役立つ問題が解決されています。

License Serverバージョン 11.17.2 ビルド 41000 の新機能

リリース日: December 22, 2022

タイムスタンプとともにデバイスIDを収集する

このリリースから、Citrix Concurrent ライセンスを使用するシステムのデバイス ID とタイムスタンプが、Citrix Licensing Telemetry データの一部として収集されます。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 40000 の新機能

リリース日: October 19, 2022

データ収集プログラムの機能強化

このリリースから、Citrix Licensing Compliance の要件と内容が更新されます。さらに、Citrix Licensing Customer Experience Improvement Program (CEIP) と Citrix Licensing Call Home の選択も更新されます。これらの変更の詳細については、「Citrix Licensing data collection programs」を参照してください。

Apache バージョンの更新

Apache/2.4.54

OpenSSL バージョンの更新

OpenSSL 1.1.1q

jQuery UI バージョンの更新

jQuery UI 1.13.2

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 39000 の新機能

リリース日: May 11, 2022

Apache バージョンの更新

Apache/2.4.53

OpenSSL バージョン更新

OpenSSL 1.1.1n

Libxml2 バージョン更新

zlib バージョン 1.2.12

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 37000 の新機能

リリース日: December 13, 2021

License Server のイベントデータをCitrix Cloudに送信するオプション

License Server をCitrix Cloudに登録した後、License Server のイベントデータをCitrixに送信することを選択できます。このオプションはデフォルトで有効になっており、登録後にのみ利用可能です。詳細については、[使用状況と統計](#) セクションの「License Server イベントデータの収集」を参照してください。

新機能のモーダルウィンドウ

このリリース以降、Citrix Licensing Manager を起動すると、次の情報を提供するモーダルウィンドウが表示されます。

- 新しく利用可能になった機能
- 既に利用可能だが、現在Citrix Licensing Manager で無効になっている機能
- ネットワーク関連の問題と、それらを軽減するための推奨手順

詳細については、[新機能モーダルウィンドウ](#) を参照してください。

Apache バージョン更新

Apache バージョン 2.4.51。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 36000 の最新情報

リリース日: September 16, 2021

自己署名証明書での4096キーサイズのサポート

このリリース以降、自己署名証明書でサポートされるキーサイズは4096のみです。既存のLicense Serverをアンインストールし、4096キー長の自己署名証明書を含むアップグレードバージョン（11.17.2.0 ビルド 36000）をインストールしてください。独自の自己署名証明書を作成するには、「[はじめに](#)」を参照してください。

OpenSSLバージョンのアップグレード

OpenSSL バージョン: 1.1.1k

Apacheバージョンの更新

Apache バージョン 2.4.48。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 35000 の最新情報

リリース日: June 16, 2021

Windows Server 2022のサポート

このリリースでWindows ServerプラットフォームをサポートするCitrixコンポーネントおよびテクノロジーは、特に記載がない限り、Windows Server 2022もサポートするようになりました。詳しくは、「[Windows Server 2022のサポート](#)」を参照してください。

License Serverの問題をトラブルシューティングするためのサポートバンドル

サポートバンドル（.zipファイル）には、Citrixサポートチームがライセンスサーバーの問題をトラブルシューティングおよびデバッグするために使用する情報が含まれています。このファイルを使用して、Citrixサポートコールを開始したり、ライセンスコンプライアンスの目的でCitrixまたはその代理店にドキュメントを提供したりできます。詳しくは、「[サポートバンドル](#)」を参照してください。

OpenSSLバージョンのアップグレード

OpenSSL バージョン: 1.1.1i

License Server 11.16.6 ビルド 34000 の新機能

リリース日: March 17, 2021

Lmadmin.exe が Lmgrd.exe に移行しました

このリリースでは、Citrix License Server の既存のユーザー管理 **lmadmin.exe** が、セキュリティの向上とサードパーティ依存関係の削減のため、Citrix が所有するユーザー管理 **lmgrd.exe** に移行されました。

OpenSSL バージョンのアップグレード

OpenSSL バージョン: 1.1.1h

Libxml2 バージョンのアップグレード

libxml2 バージョン: 2.9.10

修正された問題

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 56200 で修正された問題

高負荷時にLicense Serverサービスが断続的に再起動する場合があります。この問題は、11.17.2 ビルド 56200 で修正されました。

- ライセンスサーバーのアップグレード中に、レガシーライセンス拡張プロブは削除されず、保持されるようになりました。
- License Server が特殊文字を含む製品テレメトリデータを受信していませんでしたが、このリリースで修正されました。
- ライセンスサーバーで特定のLicense Activation Service (LAS) エンドポイントがブロックされた場合、Citrix Insight Service (CIS) へのアップロードにフォールバックできず、誤ってテレメトリペイロードを削除していました。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 55100 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 54100 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 53100 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 52100 で修正された問題

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 52100 では、License Activation Service (LAS) がオンボードされておらず、Licensing Service (LS) がインターネットに接続されていない場合に、**No entitlements available** というアラートバナーが表示されることがあります。LS で LAS ライセンスが使用されていない場合、このアラートは無視できます。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 51000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 49000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 48000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 47000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 46000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 45000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 44000 で修正された問題

- License Server バージョン 11.17.2 ビルド 40000、41000、または 43000 では、Windows イベントログに `CognizanceCoreModule.exe` プロセスのアプリケーションエラーメッセージが表示されることがあります。
- 将来の開始日を持つライセンスをインストールすると、Citrix Licensing Manager に表示されるインベントリデータが正しくないことに気づく場合があります。たとえば、Citrix Licensing Manager に表示されるライセンス数が正しくないことがあります。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 43000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 42000 で修正された問題

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 40000 または 11.17.2 ビルド 41000 では、Windows イベントログに `CognizanceCoreModule.exe` プロセスのアプリケーションエラーメッセージが表示されることがあります。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 41000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 40000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 39000 で修正された問題

- License Server をバージョン 11.17.2 ビルド 36000 にアップグレードした後、クラスター化された License Server で Citrix ライセンスサービスが起動に失敗します。クラスター化されたセットアップでは、License Server をバージョン 11.17.2 ビルド 36000 にアップグレードしないことをお勧めします。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 37000 で修正された問題

このビルドには修正された問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 36000 で修正された問題

- Citrix Cloud にライセンスサーバーを登録する際、Citrix Licensing Manager UI が応答なくなり、スピニングホイールが表示されることがあります。この問題を回避するには、Citrix Cloud にライセンスサーバーを登録する前に、システムに Digicert Global Root CA 証明書がインストールされていることを確認してください。これらの証明書は Windows Update で更新されます。インストールされていない場合は、Citrix Cloud 登録を開始する前に、手動でダウンロードして証明書をインストールしてください。また、ファイアウォール設定を確認してください。詳細については、[Citrix Cloud への登録と登録解除](#) の「重要」の注記を参照してください。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 35000 で修正された問題

- ユーザー名にスペースが含まれている場合、ユーザー/デバイスライセンスのチェックアウトに失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

```
Error: checkoutOutBatch failed: Error_UNEXPECTED_DATA: Unexpected server response 'UD: ERROR_SYNTAX'.
```

- Citrix Licensing Manager に表示される超過使用カウントが正しくありません。同じ `Product_Edition_Model` の複数の増分行を含むライセンスファイルの場合、Citrix Licensing Manager に表示される超過使用カウントが誤っています。すべての増分行からの超過使用カウントを合計する代わりに、ライセンスファイルの最初の増分行のみが追加されます。

License Server ビルド 34000 で修正された問題

- 「Citrix Licensing Manager > 設定 > アカウント > ユーザー管理」セクションで、日本語または2バイト文字のユーザー名/グループ名が文字化けして表示されます。登録された2バイト文字のユーザー名/グループ名では、Citrix Licensing Manager にログオンできません。

既知の問題

License Serverバージョン11.17.2ビルド56200の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Serverバージョン11.17.2ビルド55100の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Serverバージョン11.17.2ビルド54100の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Serverバージョン11.17.2ビルド53100の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Serverバージョン11.17.2ビルド52100の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Serverバージョン11.17.2ビルド51000の既知の問題

License Activation Service (LAS) がオンボードされておらず、Licensing Service (LS) がインターネットに接続されていない場合、**No entitlements available** と表示されるアラートバナーが表示されることがあります。LS で LAS ライセンスが使用されていない場合、このアラートは無視できます。

アラートバナー(/en-us/licensing/current-release/media/alert-banner.png)

License Serverバージョン11.17.2ビルド49000の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 48000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 47000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 46000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 45000 の既知の問題

- ドイツ語版のCitrix Licensingインストールウィザードでは、UIテキストの**Speicherort**が切り詰められています。フランス語版では、テキストの**Emplacement**が切り詰められています。この問題は意図された動作には影響しません。
- Windowsインストーラーファイル (*.msi) を使用してLicense Serverをアンインストールすると、`C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing` 内の一部のフォルダーが完全にクリーンアップされない場合があります。解決策として、`C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\MyFiles` 内のファイルをバックアップし、残りのフォルダーを手動で削除してください。
- Citrix Licensing Managerを使用してサポートバンドルを生成する際、ライセンスディレクトリのサイズが大きすぎると生成できない場合があります。この問題は、手動アップロード手順でCitrixにテレメトリデータを報告するユーザーに多く発生します。回避策として、`c:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS\resource\usage` と `c:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS\resource\cis bundles\ul_usage` に保存されているLicense ServerおよびCitrix製品のデータ要素をCitrixに手動でアップロードし、これらのファイルを削

除してください。手動アップロード手順の詳細については、Citrix Licensing Telemetryを参照してください。これらのファイルを削除した後、サポートバンドルの生成とダウンロードを再度試行してください。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 44000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 43000 の既知の問題

- 将来の開始日を持つライセンスをインストールすると、Citrix Licensing Managerに表示されるインベントリデータが正しくない場合があります。たとえば、Citrix Licensing Managerに表示されるライセンス数が正しくないことがあります。この問題はCitrix Licensing Managerの表示上の問題であり、インストール済みまたは使用中のライセンスには影響しません。回避策として、Imstatコマンドを使用して完全なLicense Serverインベントリを表示してください。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 42000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 41000 の既知の問題

Windows イベントログに、`CognizanceCoreModule.exe` プロセスに関するアプリケーションエラーメッセージが表示されることがあります。ただし、このエラーは License Server の機能には影響しません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 40000 の既知の問題

Windows イベントログに、`CognizanceCoreModule.exe` プロセスに関するアプリケーションエラーメッセージが表示されることがあります。ただし、このエラーは License Server の機能には影響しません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 39000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 37000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 36000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 35000 の既知の問題

このリリースには既知の問題はありません。

License Server ビルド 34000 の既知の問題

- クロスドメイン環境では、Citrix Licensing ManagerとPOSHコマンドレットは、ユーザーを追加するための双方向信頼のみをサポートします。

外部信頼（一方向信頼）の場合、Citrix Licensing ManagerとPOSHコマンドレットは次のエラーメッセージを表示します `Active Directory account resolution failed.`

'Citrix\Licensing\LS\resource' の場所から、次のパラメーターを指定して

CtxManageUserAndGroup.exe を実行することをお勧めします。

- ユーザーを追加するコマンド: `CtxManageUserAndGroup.exe -useradd "domain\username" -Role "admin/user"`
- グループを追加するコマンド: `CtxManageUserAndGroup.exe -useradd "domain\username" -Role "adminGroup/userGroup"`

たとえば、domain1がdomain2への送信信頼を持っている場合、domain2のユーザーはdomain1で認証できます。その後、実行可能ファイルのみを使用してLicense Serverにユーザーを追加します。

ライセンスファイルの問題

- License Serverは、`HOSTNAME=.` を参照する複数の行を持つライセンスファイルを無視します。これらのファイル内のライセンスはチェックアウトできません。この問題は、異なるLicense Serverホスト名に関連付けられたライセンスを同じライセンスファイルにダウンロードした場合に発生します。

この問題を解決するには、異なるLicense Server名に関連付けられたCitrix製品ごとに、個別のライセンスファイルを再度ダウンロードしてください。

- `D-MMM-YYYY` のように誤ってフォーマットされた有効期限を持つライセンスは、Studioでは **permanent** と表示されます。正しいライセンスの有効期限を表示するには、Citrix Licensing Managerを使用してください。

サードパーティ通知

Citrix Licensing 11.17.2 には、以下のドキュメントに定義されている条件に基づいてライセンス供与されたサードパーティ製ソフトウェアが含まれています。

- [FlexNet Publisher 2020 \(11.17.2\) の非商用ソフトウェア開示 \(PDFダウンロード\)](#)
- [FlexNet Publisher 11.17.2 に適用される FlexNet Publisher ドキュメント補足オープンソースソフトウェアライセンス \(PDFダウンロード\)](#)

オープンソースソフトウェアのバージョン

License Server バージョン 11.17.2 ビルド 56200 には、以下のバージョンのオープンソースソフトウェアが含まれています。

- アパッチ 2.4.68
- jQuery 3.5.1
- jQuery UI 1.13.2
- リブJWT 1.17.1
- リブAPR 1.16.5
- リブアイコンブ 1.16.0
- リブXML2 2.10.4
- OpenSSL 1.1.1zf
- RapidJson 1.1.0
- エスキュライト 3.43.1
- ズイーリブ 1.3.1

Citrixライセンスのデータ収集プログラム

以下のデータ収集プログラムは、製品エクスペリエンスの向上、導入の促進、および基本的なライセンス情報の収集を目的としています。

- [Citrix Licensing Call Home](#) - このプログラムはオプションです。
- [Citrix Licensing Customer Experience Improvement Program \(CEIP\)](#) - このプログラムはオプションです。
- [Citrix License Server Events](#) – このプログラムはオプションです。
- [Citrix Licensing Telemetry](#) - このプログラムは必須です。
- [NetScaler® テレメトリプログラム](#) - このプログラムは必須です。
 - [Netscaler Consoleサービスの場合](#)
 - [Netscaler Consoleオンプレミスの場合](#)

Citrixは、お客様のCitrixとの契約条件に従ってデータを処理し、[Citrix Trust Center](#)で入手可能な[Services Security Exhibit](#)に指定されているとおりにデータを保護します。

プロキシサーバーの構成については、[Get started](#)の記事の「[プロキシサーバーを手動で構成する](#)」を参照してください。

コマンドラインインストールについては、[Windowsコマンドラインを使用してライセンスをインストールする](#)を参照してください。

Citrix Licensing コールホーム

Call Homeプログラムは、お客様のエクスペリエンスを向上させ、製品の使用状況を長期的に把握し、導入を促進し、Citrix製品を改善します。このプログラムは、システム構成、製品構成、およびユーザーまたはデバイスデータを含む使用状況データをCitrixと共有します。

最初のアップロードは、ライセンスサーバーが最初に起動または再起動してから約5分後に実行され、その後のアップロードは1日1回実行されます。このプログラムはオプションです。

重要

Citrix Service Providerプログラムでは、Call Homeが必要です。ライセンスサーバーがCitrix Service Providerライセンスを検出すると、毎日のアップロードが強制されます。

ライセンスサーバーをCitrix Cloudに登録する場合、または登録を解除する場合は、[使用状況と統計](#)の「[Citrix Cloudへの登録と登録解除](#)」を参照してください。

Citrix Licensing Managerを使用して、いつでもプログラムへの参加を変更できます。詳しくは、[使用状況と統計](#)の「[使用状況統計の共有](#)」を参照してください。

収集されるデータ	説明	使用目的
ライセンス使用状況データ	ライセンスサーバーにインストールされているCitrixライセンスに関する情報で、製品ID、ライセンスの種類、数量、ユーザー、デバイスデータ、およびライセンス使用状況情報が含まれます。	このデータは、導入を促進し、時間の経過とともにライセンスの使用状況を把握するのに役立ちます。
ライセンスサーバーの展開および構成データ	ライセンスサーバーとその展開方法に関する情報で、ライセンスサーバーのバージョン、オペレーティングシステムのバージョン、および構成状態が含まれます。	このデータは、Citrix製品のさらなる開発に役立て、顧客エクスペリエンスを向上させるために使用されます。

Call Homeデータ要素のリストについては、Citrix Licensing Call Homeデータ要素を参照してください。

Citrix Licensingカスタマーエクスペリエンス向上プログラム

CEIPは、システムおよび製品の構成と、識別不可能な使用状況データを定期的に収集します。このデータを提供することで、Citrixは顧客エクスペリエンスを向上させることができます。最初のアップロードは、ライセンスサーバーが最初に起動または再起動してから約5分後に行われ、その後は毎日1回アップロードが行われます。このプログラムはオプションです。

Citrix Licensing Managerを使用して、いつでもプログラムへの参加を変更できます。詳細については、「[使用状況と統計](#)」の「[使用状況統計の共有](#)」を参照してください。

収集されるデータ	説明	使用目的
ライセンス使用状況データ	ライセンス使用状況情報に加えて、製品ID、ライセンスの種類、数量など、ライセンスサーバーにインストールされているCitrixライセンスに関する情報。	このデータを使用して、ライセンスがどのように消費されているかを追跡し、顧客数を追跡します。
ライセンスサーバーの展開および構成データ	ライセンスサーバーのバージョン、オペレーティングシステムのバージョン、構成状態など、ライセンスサーバーとその展開方法に関する情報。	このデータを使用して、Citrix製品のさらなる開発に役立て、顧客エクスペリエンスを向上させます。

CEIPデータ要素のリストについては、「Citrix Licensing CEIPデータ要素」を参照してください。

Citrix License Serverイベントデータ

次の表は、ライセンスサーバーから収集され、以下の目的で使用されるデータを示しています。

- 顧客向けダッシュボードに情報を表示する
- ライセンスの有効期限切れ、ライセンスの更新、およびライセンスバーストモードに関するアラートと通知を提供します。

この機能は、ライセンスサーバーがCitrix Cloudに登録されている場合にのみ利用できます。

収集されるデータ	説明	使用目的
ライセンス使用状況データ	ライセンスサーバーにインストールされているCitrixライセンスに関する情報（製品ID、ライセンスの種類、数量など）と、ライセンス使用状況情報。	このデータを使用して、ライセンスの有効期限切れ、ライセンスの更新などに関するアラートと通知を有効にします。
ライセンスサーバーのシステム情報	ライセンスサーバーに関する情報（ハードウェアIDなど）。	このデータを使用して、お客様の環境にあるライセンスサーバーを特定します。

この機能を有効または無効にする方法については、「[使用状況統計の共有](#)」セクションを参照してください。

ライセンスサーバーイベントデータ要素のリストについては、「Citrix License Server Event data elements」を参照してください。

Citrix ライセンス テレメトリ

Citrix Licensing Telemetryは必須のデータ収集プログラムです。データの自動アップロードは、ライセンスサーバーがインストールされると有効になります。

Citrix ライセンスサーバーは、ライセンスコンプライアンスをサポートするために、オンプレミス製品ライセンスに関する制限されたライセンステレメトリをCitrixに収集および報告します。これらのライセンスについては、Citrixは、各新バージョンのリリースから6か月以内に最新のライセンスサーバーバージョンに移行することを要求します。ライセンスサーバーバージョン11.17.2ビルド40000以降では、ライセンスサーバーのライセンス収集とレポート（電子的または手動）がアクティブである必要があります。手動レポートを選択した場合を除き、電子ライセンスレポートを許可するために必要に応じてファイアウォールを調整することに同意するものとします。ご質問やご不明な点がある場合は、[カスタマーケア](#)にお問い合わせください。これらの要件を遵守しない場合、Citrixは、法律または衡平法に基づきCitrixが有するその他の救済措置に加えて、責任を負うことなくCitrixサポートを一時停止または終了する場合があります。これらの要件は、法律または規制によって禁止されている範囲では適用されません。詳細については、[ライセンステレメトリ FAQ](#)を参照してください。

重要:

コンプライアンスを維持するには、最後のアップロードが成功してからの日数が90日を超えてはなりません。

テレメトリデータを正常にアップロードするための前提条件:

ライセンスサーバーから [<https://cis.citrix.com/>](https://cis.citrix.com/) へのアウトバウンド。利用できない場合は、必要なファイアウォールルールを作成するか、[プロキシ](#)を構成します。

収集されるデータ	説明	使用目的
ライセンス使用状況データ	ライセンス使用状況情報に加えて、製品ID、ライセンスの種類と数量、ユーザー、デバイスデータなど、ライセンス	このデータは、ライセンスコンプライアンスを含む当社の正当な利益のために使用されます。

収集されるデータ	説明	使用目的
	サーバーにインストールされているCitrixライセンスに関する情報。	
ライセンスサーバーシステム情報	ライセンスサーバーに関する情報（ハードウェアIDなど）	このデータは、お客様の環境でライセンスサーバーを識別するために使用されます。

ライセンシングテレメトリデータ要素のリストについては、Citrixライセンシングテレメトリデータ要素を参照してください。

レポートオプション

ライセンス管理サービスは、ライセンスサーバーに組み込まれた製品テレメトリを使用して、定期的にCitrixにデータを電子的に送信します。

最初のコンプライアンスアップロードは、ライセンスサーバーが最初に起動または再起動してから約24時間後に発生し、その後、次のアップロードは1日1回行われます。ライセンスサーバーを再インストールするか、インプレースアップグレードを実行すると、スケジュールはリセットされます。アップロードが失敗した場合、アップロードが成功するか、ライセンス管理サービスが無効になるまで、24時間後に再試行されます。

ライセンス管理サービスを無効にすることで、このデータを手動で報告することを選択できます。ライセンス管理サービスを無効にする方法の詳細については、「[コマンドラインを使用してライセンス管理サービスを有効または無効にする](#)」を参照してください。

Citrixに報告するために必要なファイルは、手動アップロードを可能にするためにライセンスサーバーにローカルに保持されます。このデータをアップロードするには、Citrix Insight Servicesを使用する必要があります。Citrix Insight Servicesを使用した手動アップロード手順の詳細については、「[Knowledge Centerの記事 - CTX472950](#)」を参照してください。

注

Citrix Insight Servicesでは、ユーザーがアップロードできる最大ファイルサイズが制限されています。ファイルアップロード要件の詳細については、「[Knowledge Centerの記事 - CTX131233](#)」を参照してください。

11.17.2ビルド45000以降、Citrixにデータを手動で報告することを選択したユーザーは、ライセンスサーバーとCitrix Virtual Apps and Desktopsの両方のデータ要素をアップロードする必要があります。ライセンスサーバーのデータ要素は `upload_compliance*.zip` ファイルにバンドルされています。Citrix Virtual Apps and Desktopsのデータ要素は `upload_usage*.zip` ファイルにバンドルされています。

`c:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS\resource\usage` で `upload_compliance*.zip` ファイルを見つけることができます。すべての `upload_compliance*.zip` ファイルを単一のzipファイルに保存し、Citrix Insight Servicesを使用してこの.zipファイルをCitrixに送信できます。

`c:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS\resource\cis_bundles\ul_usage` で `upload_usage*.zip` ファイルを見つけることができます。すべての `upload_usage*.zip` ファイルを単一のzipファイルに保存し、Citrix Insight Servicesを使用してこの.zipファイルをCitrixに送信できます。

アップロードが成功したら、ライセンスサーバーからすべての `upload*.zip` ファイルを削除できます。.zipファイルを削除しないと、ライセンスサーバーのディスク容量が不足する可能性があります。

最新の自動アップロードのステータスを確認するには、ライセンスサーバーで次のXMLログファイルの内容を調べることができます。

- 使用状況テレメトリ (`upload_usage*.zip`): `CTX_UPLOAD_TYPE_USAGE` ノードを確認してください。
 - `<LS_install>\resource\cache\ul_result.xml`
- コンプライアンステレメトリ (`upload_compliance*.zip`): アップロードステータスを確認してください。
 - `C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS\resource\cache\upload_compliance_result.xml`

サンプルデータ:

成功:

```
<CtxUploaderResult><Code>CTX_UPLOADER_SUCCESS</Code><Msg></Msg><t>1679283497</t><UploadType>CTX_UPLOAD_TYPE_COMPLIANCE</UploadType></CtxUploaderResult>
```

失敗:

```
<CtxUploaderResult><Code>CTX_UPLOADER_ERROR_NETWORK_OPEN</Code><Msg>SocketOpen(cis.citrix.com:443) exception:
{GetAddrInfoW(cis.citrix.com) failed: WSAHOST_NOT_FOUND : code 0x00002af9:
No such host is known.

}</Msg><Arg>cis.citrix.com:443</Arg><t>1679283245</t><UploadType>CTX_UPLOAD_TYPE_COMPLIANCE</UploadType></CtxUploaderResult>
```

アップロードされたzipファイル内のデータを読み取る方法

upload_compliance*.zip

1. `upload_compliance*.zip` ファイルを解凍します。
2. ブラウザで `report.xml` を開きます。
3. 別のタブでCitrix Licensing CEIP data elementsを開きます。
4. XMLファイル内のタグを、Citrix Licensing CEIP data elementsウェブページ内のフィールドと比較し、そのフィールドが何であるかを理解するために説明を確認し、詳細については例を参照してください。

例: `report.xml` ファイルから `DateSampleStartUTC` をコピーし、Citrix Licensing CEIP data elementsで見つけます。

注:

`report.xml` 内の一部のデータは、匿名化するために意図的にハッシュ化されています。

upload_usage*.zip

1. `upload_usage*.zip` ファイルを解凍します。
2. `ue_lt_*.zip` で始まる複数のzipファイルが見つかります。
3. いずれかのzipファイルを解凍します。
4. `ue_lt_*.dat` ファイルが見つかります。これはデータベースファイルです。

5. このファイルを読み取るには、任意のSQLデータベースエディターツールを使用できます。たとえば、DB Browser (SQLite) を使用してファイルを開き、JSON形式で表示することで、内容を読みやすくすることができます。次の図は、サンプルビューを示しています。

```
"payload": {  
  "EntitlementType": "Production",  
  "IsWindows365": "False",  
  "appProtectionKeyLoggingRequired": "False",  
  "appProtectionScreenCaptureRequired": "False",  
  "cspTenantCustomerId": "",  
}
```

6. 次に、Citrix Virtual Apps and Desktops テレメトリデータ要素またはその他のCitrix Licensing Telemetry データ要素でJSONキーを検索します。

たとえば、Citrix Virtual Apps and Desktops テレメトリデータ要素でdatファイルからコピーしたEntitlementTypeを検索し、対応する説明と例を確認して詳細情報を取得します。

シトリックス ライセンシング テレメトリ データ要素

このセクションには、以下の製品のテレメトリデータ要素が含まれています。

- シトリックス バーチャルアプリおよびデスクトップ データ要素
- シトリックス セキュアプライベートアクセス データ要素
- Citrix Provisioning データ要素
- XenMobile Server データ要素
- XenServer データ要素
- Unicon データ要素
- uberAgent

注:

ユーザーID、デバイス名、VDA識別子（スクランブル済みとして言及されている項目）など、テレメトリデータの一部として収集される識別子は、一方向ハッシュアルゴリズムを使用してソースで安全にスクランブルされます。その結果、Citrixは元の値にアクセスしたり読み取ったりすることはできません。

スクランブルアルゴリズムは、SHA256を使用して元のクリアテキストデータをハッシュ化します。その後、256ビットのハッシュ化された出力の前半がbase64文字列に変換されました。

メタデータ要素

フィールド	説明	例
ClientTool	このフィールドは使用されていません。	該当なし
UploadUser	このフィールドは使用されていません。	該当なし
UTCDate	UTC形式でのレポート生成時刻。	2022-06-30T15:31:34Z
日付	アップロードバンドルの作成日を示します。	06/30/2022 11:31:34
製品	アップロードバンドルを識別します。	LicenseServer.OnPremUsage
ProductVersion	マニフェストスキーマのバージョンを示します。	1.0
ProductDeployUTCDate	ライセンスサーバーがインストールされた時刻を示します。	2022-03-21T00:00:00Z
GUID	インストール時に作成され、アップグレード中も保持される一意の識別子です。このフィールドは、どのアップロードが同じサーバーからのものであるかを識別するために使用されます。	a5ae17c9-8a4a-4318-938f-a8c6da2aa2ef
UploadType	ライセンスのアップロードが手動か自動かを示します。	自動
Ccid	Citrix CloudカスタマーIDを示します。登録済みのライセンスサーバーでのみ利用可能です。	エックスエーエックスディー デイリー1
OrgID	インストールされているライセンスが関連付けられている	23456123

フィールド	説明	例
	組織IDを示します。登録済みのライセンスサーバーでのみ利用可能です。	
TotalFiles	アップロードバンドル内のファイルの総数を示します。	6
シリアル番号 → シリアル → ID	インストールされているライセンスに関連付けられている製品コードを表します。	XDS_ADV_CCS
シリアル番号 → シリアル → SA日付	インストールされているライセンスに関連付けられているCSS日付を表します。	2023.1201
シリアル番号 → シリアル → SN	製品の権利を持つユーザーを識別します。	イーバル1
ファイル → 名前	アップロードされたファイルの名前。	ue_lt_1683864965.zip
ファイル → UI	ファイルの整合性を示すハッシュ。	4d14a58f98b1ae2e9d965b2980b67853cfcac7c76e655952bd056ad6dc7a80ae
ファイル → EventStartTS	バンドルデータの開始時間を示します。	1697417241680
ファイル → EventEndTS	バンドルデータの終了時間を示します。	1697430741834
ファイル → OfferingType → 名前	製品を示します。	ブローカー
FilesUI	バンドルの整合性を示すハッシュ。	4d14a58f98b1ae2e9d965b2980b67853cfcac7c76e655952bd056ad6dc7a80ff
ManifestUI	マニフェストの整合性を示すハッシュ。	4d14a58f98b1ae2e9d965b2980b67853cfcac7c76e655952bd056ad6dc7a8345

フィールド	説明	例
LSVersion	ライセンスサーバーのバージョンを識別します。	11.17.2.0 ビルド 48000
DiskFreeMB	メガバイト単位の空きディスク容量を識別します。	357821
DiskTotalMB	メガバイト単位の総ディスク容量を識別します。	383070
UI	このフィールドは、アップロードされたファイルの整合性を保証します。	8826d6ac8e1c8e68e471ae90c2bacbe1854f8281a6f5ae40cc7b74114e026abc
LasOrgId	LASサービスによって提供される組織IDを示します	23456123

ライセンスアクティベーション日次サマリー

キー	説明	例
イベントヘッダー		
バージョン	ヘッダーバージョン。ハードコード: "ver": "1.0"	1.0
id	一意のイベントID (GUID)	1fced2a0-52e7-4c48-bf4e-6f2e06136e11
タイプ	イベントの種類名	LicenseServer.DailySummary , LicenseServer.ActivationRecord
st	UTC形式のタイムスタンプ	2011-08-12T20:17:46.384Z
製品	製品名。ハードコードされています: "prod": "LicenseServer"	LicenseServer
prodVer	製品バージョン	11.17.2.0 ビルド 53000

キー	説明	例
ディー・ブイ・シー	ライセンスサーバーのGUID。ライセンスサーバー内で一意のGUID。	a391f1c8e6cb4948b45c58cd5189572f
テナント	組織（顧客）の識別情報。	"tenant": { "id": "", "orgid": "" }
イベントペイロード		
バージョン	イベントスキーマバージョン	1.0
タイプ	イベントタイプ	LicenseServer.DailySummary
エル・エス・ジー・ユー・アイ・ディー	ライセンスサーバーのGUID	8946c0bd-5247-4d7d-b84d-b79df0b4b32d
Isbuild (ビルド)	ライセンスサーバーのビルド	11.17.2.0 ビルド 53000
オンボーディングタイプ	LASオンボーディングタイプ	0
システムプロパティ → Isid	システムプロパティを使用して生成された一意のLSハッシュ識別子	AE8D3F84672E00BB4239B0D455C4038D4D081B991D91B3F061E59E325FDC6533
システムプロパティ → 公開鍵	ライセンスサーバーで 사용되는公開キー	-----BEGIN PUBLIC KEY----- MIIBIjANBgkqhkiG9w0BAQE FAAOCAQ8AMIIBCgKCAQE AvrY93YgyUehzeSCroE7B ZfnjH9P2fuxRdOPrO4Q55r35 z+PIQc5NI7H+9FKO/ bOoVjHOJsP/ OM1jDv6BW80F 41zQA3cGfI0j/ 1zZGG+Ap91eztMzm0qpNFh XkLJ/EOf9LY429slz/ 0xl4oRQP05F d8niv+0LeSTCGWDeCB2PD W4C2SBALEcdb6td+jkQRez FbRNCZwKcydirigASmSgT 9kYp3PslZfi3WubB/ nMzQbTC7iShKiH8QSIhw3T 88lvazE0BrpKPBRnYo8Qjvxa S

キー	説明	例
		mL0JgT0LNfxidmerEyp9cB+jl NldZ1iQLmdu4iBPnCqxvq6q abBWKfrnqvDWpkIX +QIDSVf5 -----END PUBLIC KEY-----
インストールUTC	LSインストール時刻	1749138309
ホスト名	LSのホスト名	micpvdipd1882
アクティベーションデータ		
PEM	アクティベートされた製品と 構成	XDT_PLT_CCS
バージョン	アクティベーションバージョ ン	1.0
アクティベーションID	アクティベーションID	プロブのアクティベーション ID
インスタンス	アクティブ化された製品のイ ンスタンス	10
laspedetails → lpeid	製品の一意のインスタンス	AE8D3F84672E00BB4239B0 D455C4038D4D081B991D91 B3F061E59E325FDC6522
ラプス詳細 → バーンイン日 付	製品バージョン	2025.0625
ラプス詳細 → 製品展開情報	製品展開プロパティ	バージョン:[1.0] 製品とバー ジョン: [XDT:PLT,XDT:PLT,CVAP:PR E,MPS:PLT,CVAP:PRE] 展開 ID:[90ab15fa- ae58-4e3c-8d9b- f6581e1020ce] インスタンス ID:[1e59adac-7ac6-4db5- a095-0567d1590fab] 展開の 詳細:[]

キー	説明	例
失効詳細 → リクエストUTC	LASアクティベーション要求時刻	1749138309
署名データ		
組織ID	LASにオンボードされたOrgid	int102cd6db
オンボーディングタイプ	LASのオンボーディングタイプ	0
ライセンスサーバーID	システムプロパティを使用して生成された一意のLSハッシュ識別子	AE8D3F84672E00BB4239B0D455C4038D4D081B991D91B3F061E59E325FDC6533
公開鍵	ライセンスサーバーで 사용되는公開鍵	-----BEGIN PUBLIC KEY----- MIIBIjANBgkqhkiG9w0BAQE FAAOCAQ8AMIIBCgKCAQE AvrY93YgyUehzeSCroE7B... -----END PUBLIC KEY-----
エンタイトルメントデータ	∧	∧
ライセンス有効期限日	有効期限日	2025-12-25
ペム	製品	XDT_PLT_CCS
ディスクデータ		
ディスク合計MB	総ディスクサイズ (MB)	1234567890
ディスク空き容量MB	ディスク空き容量合計 (MB)	1234567890
ライセンスディレクトリ	インストールディレクトリ	C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing

ライセンスアクティベーションの使用状況情報

キー	説明	例
イベントヘッダー		

キー	説明	例
バージョン	ヘッダーバージョン。ハードコードされています: "ver": "1.0"	1.0
id	一意のイベントID (GUID)	1fced2a0-52e7-4c48-bf4e-6f2e06136e11
タイプ	イベントタイプ名。 LicenseServer.ActivationRecord - LSから送信されるイベント	LicenseServer.ActivationRecord
st	UTC形式のタイムスタンプ	2011-08-12T20:17:46.384Z
製品	製品名。ハードコード: "prod": "LicenseServer"。 LicenseServer - LSから発生するイベント	LicenseServer
prodVer	製品バージョン。1.0 - イベントがLASから発生する場合。	11.17.2.0 ビルド 53100
デバイス	ライセンスサーバーGUID。 ライセンスサーバー内のユニークなGUID	a391f1c8e6cb4948b45c58cd5189572f
テナント	組織（顧客）識別情報。	"テナント": { "id": "abcdef123" }
∧	∧	∧
イベントペイロード		
オンボーディングタイプ	LAS オンボーディングタイプ	0
サインタイム	LAS オンボーディング時間	1234567890
アクティベーションリスト (各アクティベーションごとに構築)	∧	∧

キー	説明	例
activationId	一意のLASアクティベーションID	98f6e74c-4436-45e4-97dc-909ba57f5b9e
バージョン	製品アクティベーションのために作成されたLASリクエスト	1.0
タイプ	LASリクエストタイプ	LicenseServer.ActivationRequest
LS GUID	ライセンスサーバーGUID	8946c0bd-5247-4d7d-b84d-b79df0b4b32d
LSビルド	ライセンスサーバービルド	11.17.2.0 ビルド 53100
製品展開情報	製品展開情報。最新のすべてのLTSR DDCで利用可能になります。	バージョン:[1.0];pdi;製品とバージョン: [XDT:PLT,XDT:PLT,CVAP:PRE,MPS:PLT,CVAP:PRE];pdi; 展開ID:[90ab15fa-ae58-4e3c-8d9b-f6581e1020ce];pdi;インスタンスID: [1e59adac-7ac6-4db5-a095-0567d1590fab];pdi;展開詳細:[];pdi;
アップロードタイプ	テレメトリーアップロードタイプ	自動
リクエストUTC	アクティベーション要求時刻	[1717665765]
プロダクト → ペム	製品構成	XDT_PLT_CCS
プロダクト → バージョンイン日付	製品バージョン	2025.0624
アクティベーションリスト → バインディング		

キー	説明	例
licenseserver → Isid	LSプロパティから生成された一意のハッシュ	6d69724c-84ab-47bb-bba3-0f12393ff8ac
licenseserver → ホスト名	ライセンスサーバーのホスト名	マイデスクトップ
licenseclient → lpeid	製品マシンのプロパティから生成された一意のハッシュ	7e81924s-84fg-47qt-kbo3-0f12393ff8ac
licenseclient → ホスト名	ライセンスクライアントのホスト名	myclientdesktop
アクティベーションリスト → 顧客		
組織ID	組織ID	イント102cd6db
シーシーアイディー	シトリックス クラウド ID	シトリックス926070
シリアル番号	レガシーライセンスのシリアル番号	マイシリアル

LASオンボーディングの一部としてLASに保存されるデータ

Citrixが生成したデータ

キー	説明	例
エルシッド	システムプロパティを使用して生成された一意のライセンスサーバー識別子	11ccdb50a8014dec4ee8cfc12b4fd81098699ec560c9898020616e3cab9b209e
公開キー	認証用のライセンスサーバー生成ID	MIIBIjANBgqhkiG9w0BAQEFAAOCAQ8AMIIBCgKCAQEA... .
LSバージョン	ライセンスサーバーのバージョン	11.17.2 ビルド 53100

キー	説明	例
エルエスジーユーアイディー	ライセンスサーバー生成ID	a1b2c3d4-e5f6-7890-1234-56789abcdef0
リクエスト時刻	LASアクティベーションリクエスト時刻	2016-10-12T00:00:00Z
製品エディションとモデル	製品ID	XDT_PLT_CCS
エルピーイーアイディー	製品生成ID	af3357536b217012aaa125892dd2949ce93983d60ee12dfe70d7d451657a6134
サイトID	サイトの一意の識別子を示します	Site_Production_01
DDC ID	デリバリーコントローラーの一意の識別子を示します	C39A925064A3
組織ID	組織（顧客）識別情報	ORG123456789
顧客ID	顧客ID	CUST-ABC-12345
アップロードタイプ	アップロードの種類は自動または手動です	自動または手動
製品のバーンイン日	すべての製品バージョンおよびビルドに関連付けられた日付	2025.0514

お客様が提供したデータ

キー	説明	例
ホスト名 (LS)	ライセンスサーバーのホスト名	CITRIX-12T5MRV4
製品のホスト名	お客様が指定したマシンのホスト名	CITRIX-12T5MRV4

Citrix Licensing のシステム要件

ライセンスの要件

Citrix Licensing は、互換性のあるオペレーティングシステムをサポートするために必要なハードウェアと同じハードウェアと互換性があります。追加のハードウェアは必要ありません。

注：

- バージョン 11.17.2 ビルド 51000 以降、[License Activation Service](#) はクラスタープラットフォームをサポートしていません。
- Citrix License Server 上でのサードパーティベンダーデーモンの実行、またはサードパーティライセンスサーバー上でのCitrixベンダーデーモンの実行はサポートしていません。
- License Server はマルチホーミング（2つのネットワークカードが異なるネットワークに接続されている状態）をサポートしていません。
- Citrix Licensing Manager は、それがインストールされている License Server にのみライセンスをインストールします。
- License Server 同士は通信しません。

オペレーティングシステム:

以下の Microsoft オペレーティングシステムを実行しているサーバーに License Server をインストールできます。最新の Microsoft Service Pack と更新プログラムをインストールすることをお勧めします。

- Windows Server 2025 ファミリ
- Windows Server 2022 ファミリ
- Windows Server 2019 ファミリ
- Windows Server 2016 ファミリ

Server Core インストールはサポートされていません。

ディスク容量の要件:

- 最小 8 GB RAM
- ライセンスコンポーネント用に 500 MB
- ユーザー/デバイスライセンス用に 2 GB
- Citrix Licensing Manager で構成された履歴データの保持期間に基づいて、より多くのディスク容量が必要になる場合があります。詳細については、「[履歴の使用状況](#)」を参照してください。
- Citrix にコンプライアンスデータを手動でアップロードすることを選択した場合、より多くのディスク容量が必要になる場合があります。詳細については、「Citrix Licensing Telemetry」を参照してください。

Microsoft .NET Framework の最小要件:

- Microsoft .NET フレームワーク 4.7.2

クラスタープラットフォーム:

- Windows Server 2025 ファミリー
- Windows Server 2022 ファミリー
- Windows Server 2019 ファミリー
- Windows Server 2016 ファミリー

ブラウザ:

以下のブラウザでテストしました。他のブラウザでも動作する可能性がありますが、すべての機能が利用できるとは限りません。

- マイクロソフト Edge
- モジラ ファイアフォックス
- グーグル クローム
- サファリ

次のステップ

- ライセンスサーバーの開始、インストール、構成(/ja-jp/licensing/current-release/license-server-getting-started.html)

License Serverの開始、インストール、および構成

重要：

- Citrix License Serverでサードパーティベンダーデーモンを実行すること、またはサードパーティライセンスサーバーでCitrixベンダーデーモンを実行することはサポートしていません。
- 最新バージョンのLicense Serverを実行することをお勧めします。License Serverコンポーネントのホットフィックスは提供しておらず、新しい製品で古いLicense Serverをサポートしていません。最新バージョンのLicense Serverには、以前のバージョンで発生した問題の解決策が含まれていることがよくあります。新しいCitrix製品をアップグレードまたはインストールする際は、ライセンスコンポーネントもアップグレードしてください。新しいLicense Serverは下位互換性があり、古い製品やライセンスファイルをサポートします。ただし、新しい製品では、ライセンスを正しくチェックアウトするために最新のLicense Serverが必要となることがよくあります。最新バージョンは[Citrix Downloads](#)サイトで確認できます。

このリリースの新機能については、[新機能](#)を参照してください。

- UNCパス（`\\server\share`）からのLicense Serverのインストールはサポートしていません。License Serverはローカルコピーからインストールしてください。
- Citrix License ServerはNetScaler展開の管理をサポートしていません。NetScalerを管理するには、Console ServiceまたはConsole on-premを使用してください。

手順1 前提条件を確認する

License Serverをインストールして構成する前に、[システム要件](#)を確認してください。

手順2 製品のライセンスを付与する

製品のライセンスを付与するには、次の手順を実行します。

1. 最新のLicense Serverバージョンがあることを確認します。
2. システム要件を確認します。
3. ライセンスをインストールします。
4. **My Account**からライセンスファイルを取得するか、ライセンスコードがある場合はCitrix Licensing Managerを使用します。
5. Citrix製品をインストールします（または、すでにインストールされている場合は、新しいライセンスが認識されるようにCitrix製品を再起動します）。
6. 製品のインストール中に設定されなかった製品側のライセンス通信設定を、必要に応じて構成します。この構成には、製品で正しい製品エディションを設定することが含まれます。詳細については、「ライセンス要素」および「サービス」を参照してください。

製品側のエディション設定が、購入したライセンスと正しく一致していることを確認してください。たとえば、Premiumエディションのライセンスを購入した場合は、製品のエディション設定がAdvancedではなくPremiumであることを確認してください。

ライセンスコンポーネントとプロセスについては、「技術概要」および「ライセンス要素」を参照してください。

重要:

License Serverはドメインメンバーシップを必要としません。ワークグループにLicense Serverをインストールしても、Citrix製品のすべてのライセンス機能を実行できます。Active Directoryユーザーまたはグループを持つCitrix Licensing Managerユーザーを管理するには、ユーザーがドメインの一部である必要があります。そうでない場合は、ローカルのWindowsユーザーとグループを使用してください。

ステップ3 セキュリティとファイアウォールを確認する

セキュリティに関する考慮事項

新しいCitrix製品をアップグレードまたはインストールする際には、License Serverを最新バージョンにアップグレードすることをお勧めします。新しいLicense Serverは下位互換性があり、古い製品やライセンスファイルをサポートします。新しいLicense Serverがリリースされるたびに、以前のバージョンよりも優れたセキュリティ機能が含まれている可能性があります。環境を構成する際には、以下のセキュリティに関する考慮事項も推奨します。

- 信頼されたネットワーク上の承認された管理者のみがCitrix Licensing Managerにアクセスできるように、License Server環境を構成します。これは、適切に構成されたネットワークまたはホストベースのファイアウォールを使用することで実現できます。
- Citrix Licensing Managerを使用する際は、信頼できないWebサイトへのアクセスや、信頼できないURLのクリックを避けてください。

重要:

Citrix License Serverは認証にMicrosoft Active Directoryを使用します。Citrixは、Citrix License Serverを安全に展開するために、Microsoft Active Directoryで優れたセキュリティプラクティス（アカウントロックアウトやパスワード管理など）を実装することを強く推奨します。詳細については、「[アカウントロックアウトのしきい値](#)」および「[パスワードは複雑さの要件を満たす必要があります](#)」の記事を参照してください。

暗号スイートの順序と要件

サポートされている暗号スイートの完全なリストは次のとおりです。

- ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384
- ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384
- ECDHE-ECDSA-CHACHA20-POLY1305
- ECDHE-RSA-CHACHA20-POLY1305
- ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256
- ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256

サポートされていないSSLプロトコル:

- TLSv1.1
- ティーエルエス1
- エスエスエル2
- エスエスエル3

ファイアウォールの考慮事項

ライセンスをインストールする前に、ライセンスサーバーと製品サーバーの間にファイアウォールが必要かどうかを判断してください。ファイアウォールの考慮事項は、ライセンスサーバーをどこにインストールするかに影響を与える可能性があります。

環境にハードウェアファイアウォールがある場合は、必要なルールを手動で作成する必要があります。

製品とライセンスサーバーの間にファイアウォールがある場合は、ポート番号を設定します。この設定プロセスには以下が含まれます。

- **ポート番号の変更を決定する。**ポート番号は、インストールプロセス中またはインストール後に変更できます。
- **ファイアウォールポートを開く。**トラフィックが流れるように、変更したファイアウォールのポートを開きます。現在のリリースでは、組み込みのファイアウォールが自動的に構成されません。
- **製品側の設定を変更する。**Citrix製品がCitrix Licensing Managerと同じポート番号を使用するように構成します。製品で参照されているポート番号を変更しない場合、製品はライセンスサーバーに接続できません。製品のインストール中およびインストール後に、製品側の設定を変更できます。これらの設定については、製品ドキュメントを参照してください。

ファイアウォールを介した必要なURLとポートの許可、および開いているURLのリストの詳細については、「Citrix Cloudへの登録と登録解除」(</ja-jp/licensing/current-release/citrix-licensing-manager/register-remove-registration.html>)を参照してください。

テレメトリデータアップロードの許可の詳細については、「レポートオプション」(</ja-jp/licensing/current-release/license-server/licensing-data-collection-programs.html#reporting-options>)を参照してください。

ステップ4 ライセンスコンポーネント、サーバー、および証明書のインストール

注：

インストール中に、インストールパスにローカライズされた文字が含まれていると、インストールが失敗する可能性があります。デフォルトのインストールパスを受け入れるか、インストールディレクトリにASCII英字のみを入力してください。

ライセンスコンポーネントは、専用の別のサーバー、または別のアプリケーションと共有するサーバーにインストールできます。あるいは、Webサーバーまたはアプリケーションサーバーを使用することもできます。ただし、この記事の後半で説明する場所は、リソース消費が少なくなります。50台未満のサーバーまたは10,000ライセンス未満を実行している場合は、製品と同じサーバーにライセンスサーバーをインストールできます。ライセンスサーバーを別のシステムに再配置

する必要があるかどうかを判断するには、CPUとメモリの負荷（`lmgrd.exe` および `CITRIX.exe`）を監視してください。

重要：

Active Directory展開を除き、今後のすべてのインストールには `CitrixLicensing.exe` ファイルを使用してください。その場合は、`.msi`を使用します。インストールには、`.exe` ファイルと `.msi` ファイルの両方が存在することを確認してください。

グラフィカルインターフェイスを使用してライセンスサーバーとコンソールをインストールする

1. Citrixダウンロードからライセンスサーバーをダウンロードし、管理者またはAdministratorsグループのメンバーとしてライセンスサーバーインストーラー `CitrixLicensing.exe` を起動します。
2. GUIのインストーラーに従って、インストール先フォルダーを承認します。ライセンスコンポーネントは、32ビットコンピューターでは `C:\Program Files\Citrix\Licensing` に、64ビットコンピューターでは `C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing` にインストールされます。
3. 構成ページで、ライセンスコンポーネントが使用するデフォルトのポート番号を承認または変更します。インストーラーがWindowsファイアウォールの例外を構成することを許可するかどうかを選択します。必要に応じて、インストール後にポート番号を変更できます。ライセンスサーバーを構成せずにインストールを完了することを選択した場合は、`CitrixLicensing.exe` インストーラーを再起動します。インストール後にLicense Server Configurationツールを使用して設定を構成することもできます。構成ツールは `C:\Program Files\Citrix\Licensing\LS\resource\Licensing.Configuration.Tool.exe` から開きます。
 - ライセンスサーバーのポート番号は27000です。
 - ベンダーデーモンのポート番号は7279です。
 - Citrix Web Services for Licensing のポート番号は8083です。
4. ライセンスサーバーは、ログオン方法に基づいて、Citrix Licensing Manager のデフォルト管理者を追加します。ドメインにいる場合、ライセンスサーバーはインストールユーザー (`domain\user`) をデフォルトのライセンスサーバーまたは Citrix Licensing Manager の管理者として追加します。ローカルの Windows ユーザーの場合、ライセンスサーバーはインストールユーザー (`computer\user`) をデフォルトの管理者アカウントとして追加します。任意の管理者

がライセンスを管理できるようにする BUILTIN\administrator グループは、デフォルトで追加されます。特定のユーザーにライセンスを制限するために、BUILTIN\administrators を削除できます。

5. Citrix Licensing Manager を起動するかどうか、および Citrix Customer Experience Improvement Program に参加するかどうかを選択します。

Windows コマンドラインを使用してライセンスをインストールする

重要:

Citrix Service Provider プログラムでは、Customer Experience Improvement Program (CEIP) と Call Home が必要です。Citrix Service Provider の場合、CEIP または Call Home を無効にすることはできません。Citrix は、ライセンスコンプライアンスを含む正当な利益のために、必要に応じて基本的なライセンスデータを収集します。詳細については、「Citrix Licensing Compliance」を参照してください。

ライセンスをインストールするために `CitrixLicensing.exe` コマンドを使用する場合、オプションとその引数の間以外のコマンドラインの任意の場所に `Property=value` を追加してプロパティを設定します。

管理者権限でコマンドラインを実行していることを確認してください。管理者権限でコマンドプロンプトを起動するには、**【スタート】** を選択し、**【コマンドプロンプト】** を右クリックして、**【管理者として実行】** を選択します。次のサンプルコマンドラインは、サイレントモードでライセンスをインストールします。設定するプロパティを追加します。コマンドは改行せずに1行で入力してください。以下の例は、スペースの制約により複数行になっています。

```
CitrixLicensing.exe /quiet /l install.log INSTALLDIR=installdirectory  
WSLPORT=port_number LSPORT=port_number VDPOR=*port_number CEILOPTIN=value
```

各項目の意味は次のとおりです。

- **/quiet** はサイレント（静音）インストールを指定します。
- **/l** はログファイルの場所を指定します。
- **INSTALLDIR** は、ライセンスサーバーの実行可能ファイルが保存される場所です。オプションのパラメーターです。デフォルトは `c:\program files\citrix\licensing` または `c:\program files (x86)\citrix\licensing` です。

- **WSLPORT** は、Citrix Web Services for Licensing で使用されるポート番号です。オプションのパラメーターです。デフォルトは 8083 です。
- **LSPORT** は、ライセンスサーバーで使用されるポート番号です。オプションのパラメーターです。デフォルトは 27000 です。
- **VDPORT** は、ベンダーデーモンで使用されるポート番号です。オプションのパラメーターです。デフォルトは 7279 です。
- **CEILOPTIN** は、Citrix Customer Experience Improvement Program (CEIP) または Call Home にオプトインするかどうか、およびその方法を指定します。オプションのパラメーターです。デフォルトは **NONE** です。
 - 診断 - コールホーム
 - 未確認 - CEIP
 - **NONE**

Citrix Licensing Manager を使用して、CEIP および Call Home の選択を変更できます。

コマンドラインを使用して Active Directory 展開用のライセンスをインストールする

msiexec コマンドを使用してライセンスをインストールする場合、オプションとその引数の間以外のコマンドラインの任意の場所に Property="value" を追加してプロパティを設定します。クラスタリングは .msi ではサポートされていません。

注:

コマンドラインを管理者権限で実行していることを確認してください。管理者権限でコマンドプロンプトを起動するには、**スタート**を選択し、**コマンドプロンプト**を右クリックして、**管理者として実行**を選択します。

次のサンプルコマンドラインは、サイレントモードでライセンスをインストールし、この操作に関する情報をキャプチャするためのログファイルを作成します。スイッチの後に設定したいプロパティを追加してください。

コマンドは改行せずに1行で入力してください。以下の例は、スペースの制約により複数行になっています。

```
msiexec /I ctx_licensing.msi /l*v install.log /qn INSTALLDIR=installdirectory  
LICSERVERPORT=port_number VENDORDAEMONPORT=port_number  
MNGMTCONSOLEWEBPORT=port_number WEBSERVICESLICENSINGPORT=port_number  
CEILOPTIN=value
```

説明:

- /l*v はセットアップログの場所です。オプションのパラメーターです。
- /qn はサイレント（静音）インストールを指定します。
- INSTALLDIR はライセンスサーバーの実行可能ファイルが保存される場所です。オプションのパラメーターです。デフォルトは `c:\program files\citrix\licensing` または `c:\program files (x86)\citrix\licensing` です。
- LICSERVERPORT はライセンスサーバーに使用されるポート番号です。オプションのパラメーターです。デフォルトは 27000 です。
- VENDORDAEMONPORT はベンダーデーモンに使用されるポート番号です。オプションのパラメーターです。デフォルトは 7279 です。
- WEBSERVICESLICENSINGPORT は Citrix Web Services for Licensing に使用されるポート番号です。オプションのパラメーターです。デフォルトは 8083 です。
- CEILOPTIN は、Citrix Customer Experience Improvement Program (CEIP) または Call Home に参加するかどうか、またはその方法を指定します。オプションのパラメーターです。デフォルトは **NONE** です。
 - 診断 - コールホーム
 - 不明 - CEIP
 - NONE

Citrix Licensing Manager を使用して、CEIP および Call Home の選択を変更できます。

コマンドラインを使用してライセンス管理サービスを有効または無効にする

ライセンス管理サービスはライセンスサーバー内で自動的に動作し、基本的なライセンスデータの電子レポートを可能にします。インストール後にライセンス管理サービスを無効にすることで、手動レポートを選択できます。手動レポートの詳細については、レポートオプションを参照してください。

構文:

```
ctx_license_management_service.exe (-enable | -disable | -query)
```

説明:

- **-enable** は、基本的なライセンスデータの電子レポートを有効にします。Citrixへの最初のアップロードは、ライセンスサーバーのインストールから7日後に行われます。
- **-disable** は、基本的なライセンスデータの電子ライセンスレポートを無効にします。電子ライセンスレポートを無効にした場合、手動レポートに同意したことになります。
- **-query** は、現在の構成を表示します。

Citrix Licensing ManagerおよびWeb Services for Licensingで使用される証明書を手動でインストールする

注:

インストール中に生成される自己署名証明書を使用しない場合は、この手順を使用してください。

証明書をインストールするには、次の3つの手順があります。

1. 証明書と秘密キーを含む.pfxファイルを取得します。.pfxファイルを取得するには、2つの方法のいずれかを使用できます。
2. .pfxファイルから証明書と秘密キーを抽出します。
3. 証明書と秘密キーをライセンスサーバーにインストールします。

ドメイン証明書を使用して.pfxファイルを取得する方法 - 方法1

ドメイン内のサーバーにログオンし、**MMC**を開いて、次の手順を実行します。

1. エクスポートされた.pfxファイルを格納するために、ディレクトリ **c:\ls_cert** を作成します。
2. 「ファイル > スナップインの追加と削除 > 証明書 > コンピューターアカウント > ローカルコンピューター」を選択して、証明書スナップインを追加します。
3. 左ペインの「証明書」の下で、「個人」を右クリックし、「すべてのタスク > 新しい証明書の要求」を選択してから、「次へ」をクリックします。

4. 「**証明書の登録ポリシー**」ウィザードで、「**Active Directory登録ポリシー**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。「**コンピューター**」の横にあるチェックボックスをオンにし、右側の「**詳細**」を選択します。
5. 「**プロパティ**」を選択し、「**全般**」タブで、フレンドリ名と説明を入力します。
6. 「**サブジェクト**」タブの「**サブジェクトの種類**」で、「**種類**」メニューから「**共通名**」を選択します。テキストボックスにフレンドリ名を入力し、「**追加**」を選択してから、「**適用**」を選択します。
7. 「**拡張機能**」タブで、メニューから「**キー使用法**」を選択します。「**デジタル署名とキーの暗号化**」を「**選択されたオプション**」ボックスに追加します。
8. 「**拡張キー使用法**」メニューで、「**サーバー認証**」と「**クライアント認証**」を「**選択されたオプション**」ボックスに追加します。
9. 「**秘密キー**」タブの「**キーオプション**」メニューで、キーサイズが4096であることを確認します。「**キーのエクスポートを許可する**」チェックボックスをオンにして、「**適用**」をクリックします。
10. 「**証明機関**」タブで、CAチェックボックスが選択されていることを確認し、「**OK > 登録 > 完了**」をクリックします。
11. 「**証明書**」コンソールで、「**個人 > 証明書**」を選択し、作成した証明書を選択します。「**すべてのタスク > エクスポート > 次へ**」を選択し、「**はい、秘密キーをエクスポートします**」ラジオボタンを選択してから、「**次へ**」をクリックします。
12. 「**個人情報交換 - PKCS #12(.PFX)**」の下で、すべての証明書を含めるチェックボックスをオンにし、「**次へ**」を選択し、パスワードを作成して、「**次へ**」を選択します。
13. 「**参照**」をクリックし、`C:\ls_cert` に移動して `server.PFX` と入力し、ウィザードに従って完了します。

証明機関 (CA) に要求を送信して .pfx ファイルを取得する方法 – 方法 2

これらの手順は、証明機関によって異なる場合があります。

1. ライセンスサーバーにログオンし、MMC を開いて、次の手順を実行します。
 - a. 「**ファイル > スナップインの追加と削除 > 証明書 > コンピューターアカウント > ローカルコンピューター**」を選択して、証明書スナップインを追加します。
 - b. 左ペインの「**証明書**」の下で、「**個人**」を右クリックし、「**すべてのタスク > 高度な操作 > カスタム要求の作成**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。

- c. 「**証明書の登録ポリシー**」ウィザードで、「**カスタム要求**」の下にある「**登録ポリシーなしで続行**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。
 - d. 「**カスタム要求**」画面で、メニューから「**(テンプレートなし) CNG キー**」を選択し、要求形式に「**PKCS#10**」を選択して、「**次へ**」をクリックします。
 - e. 「**証明書情報**」画面で、「**詳細**」を選択し、次に「**プロパティ**」を選択します。
 - f. 「**全般**」タブで、フレンドリ名と説明を入力します。
 - g. 「**サブジェクト**」タブの「**サブジェクト名**」の下で、「**共通名**」を選択し、テキストボックスに値を入力します。
 - h. 「**拡張機能**」タブで、メニューから「**キー使用法**」を選択し、「**デジタル署名**」と「**キーの暗号化**」を追加します。
 - i. 「**拡張機能**」タブで、メニューから「**拡張キー使用法**」を選択し、「**サーバー認証**」と「**クライアント認証**」を追加します。
 - j. 「**秘密キー**」タブの「**暗号化サービスプロバイダー**」の下で、「**RSA, Microsoft Software Key Storage Provider**」(既定)を選択します。「**キー**」オプションメニューから、キーサイズが4096であることを確認し、「**キーをエクスポート可能にする**」チェックボックスを選択して、「**適用**」をクリックします。
 - k. ファイルを「**.req**」ファイルとして保存し、「**.req**」ファイルを証明機関 (CA) に提出して、「**.cer**」ファイルを保存します。
2. 「**MMC**」の「**証明書**」の下で、「**個人**」を右クリックし、「**すべてのタスク > インポート**」を選択します。インポートウィザードで、**.cer** ファイルを選択します。
 3. エクスポートされた **.pfx** ファイルを格納するために、ディレクトリ「**c:\ls_cert**」を作成します。
 4. 「**証明書**」コンソールで、「**個人 > 証明書**」を選択し、インポートした証明書を選択します。「**すべてのタスク > エクスポート > 次へ**」を選択し、「**はい、秘密キーをエクスポートします**」ラジオボタンを選択して、「**次へ**」をクリックします。
 5. 「**個人情報交換 - PKCS #12(.PFX)**」の下で、すべての証明書を含めるチェックボックスを選択し、「**次へ**」を選択してパスワードを作成し、次に「**次へ**」を選択します。
 6. 「**参照**」を選択し、「**C:\ls_cert**」に移動して「**server.PFX**」と入力し、ウィザードに従って完了します。

証明書と秘密キーを抽出する方法

この手順では、.pfxファイルから証明書と秘密キーを抽出できるOpenSSLまたは別のツールが必要です。ライセンスサーバーに付属のOpenSSLバージョンは、証明書と秘密キーの抽出をサポートしていません。OpenSSLのダウンロードについては、www.openssl.orgを参照してください。Citrixでは、これらの手順を実行するために、OpenSSLを別のワークステーションにインストールすることをお勧めします。

1. `<openssl directory>\bin` フォルダーに移動します。
2. `openssl pkcs12 -in C:\ls_cert\server.pfx -out server.crt -nokeys` を実行します。

注：

ライセンスサーバーは、`.crt` 証明書形式のみを使用します。

- ライセンスサーバーは、`.crt` 証明書形式のみを使用します。
 - ファイル名を `server.crt` から変更しないでください。
3. エクスポートプロセス中に作成したパスワード（password）を入力します。
 4. `openssl pkcs12 -in C:\ls_cert\server.pfx -out server.key -nocerts -nodes` を実行します。
 5. エクスポートプロセス中に作成したパスワード（password）を入力します。

ライセンスサーバーに `.crt` ファイルと `.key` ファイルをインストールする方法

Windows - ライセンス用Webサービス：

1. Citrixライセンス用Webサービスを停止します。
2. この手順の早い段階で作成したserver.crtとserver.keyを `c:\program files (x86)\citrix\licensing\WebServicesForLicensing\Apache\conf\` にコピーします。
3. Citrix Web Services for Licensingサービスを開始します。

Windows - ライセンス管理コンソール：

注:

- License Administration Consoleは、Windows License Server v11.16.6.0ビルド31000以降から削除されました。詳細については、[新機能](#)を参照してください。
- License Server VPXは引き続きLicense Administration Consoleを使用します。

1. Citrixライセンスサービスを停止します。
2. この手順の早い段階で作成したserver.crtとserver.keyを `c:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS\conf` にコピーします。
3. Citrixライセンスサービスを開始します。

ステップ5 プロキシサーバーを構成する

Citrix Licensing Manager、CEIP、およびCall Homeでプロキシを使用できます。プロキシサーバーを構成すると、ライセンスのダウンロードおよびテレメトリデータのアップロード要求はプロキシサーバー経由で送信されます。データの自動アップロードが失敗した場合は、ファイアウォール設定を確認するか、プロキシを構成してください。詳細については、Citrix Licensing Telemetryドキュメントを参照してください。

License Serverバージョン11.17.2.0ビルド43000以降では、Citrix Licensing Manager UIからプロキシサーバー設定を表示および構成できます。詳細については、[Citrix Licensing Manager内でプロキシサーバーを構成する](#)を参照してください。

重要:

- 外部Web通信を必要とするCitrix Licensingコンポーネントは、Windowsの自動プロキシ検出を使用してネットワークプロキシ設定を継承できます。認証済みプロキシはサポートしていません。Windowsの自動プロキシ検出の詳細については、[WinHTTP AutoProxy Functions](#)を参照してください。
- 特定のプロキシでSSLインターセプトを有効にすると、Citrix Licensing ManagerがCitrix Cloudに正常に接続できなくなる可能性があります

プロキシサーバーを手動で構成する方法

1. `<Citrix Licensing>\WebServicesForLicensing` ディレクトリにある `SimpleLicenseServiceConfig.xml` ファイルを編集します。
2. `<Proxy>proxy server name:port number</Proxy>` の形式でXMLの行をファイルに追加します。

重要:

.xml タグは大文字と小文字を区別します。

```
<Configurations>

  <EncoreConfiguration>

    <SamplingPeriod>15</SamplingPeriod>

    <RetentionTime>180</RetentionTime>

    <Enabled>true</Enabled>

  </EncoreConfiguration>

  <Proxy>10.211.55.5:808</Proxy>

</Configurations>
```

次の手順

- [シトリックス ライセンス マネージャー](#)
- [製品固有のライセンスガイド](#)

カスタマーサクセスサービス

新しいCitrix®製品をご購入いただくと、Customer Success Servicesの1年間のメンバーシップが含まれます。このメンバーシップにより、すべての製品アップデートとその他の特典をご利用いただけます。これらのアップデートには、メンバーシップ期間中のすべてのリリースが含まれます。

最初の1年間のメンバーシップ期間が終了した後、Citrixに更新料を支払うことでCustomer Success Servicesメンバーシップを更新してください。更新ライセンスをインストールするには、Citrix Licensing Managerを使用します。citrix.comにアクセスして、更新ライセンスを含むライセンスファイルをダウンロードできます。

重要：

Customer Success Servicesメンバーシップとそのライセンスは、製品を実行するためのライセンスとは異なります。Customer Success Servicesメンバーシップを更新しなくても、Citrix製品が動作を停止することはありません。ただし、有効期限が切れた後は、いかなるソフトウェアリリースも利用できません。

Customer Success Services更新ライセンス

Customer Success Services更新ライセンスファイルには、Customer Success Servicesメンバーシップを1年間延長する更新ライセンスと呼ばれるライセンスが含まれています。これらのライセンスは、メンバーシップ期間中にリリースされるすべての新しい製品リリース（ホットフィックスを除く）を実行するために必要です。

Customer Success Services更新ライセンスをすぐに適用しなくても、Citrix製品が動作を停止することはありません。ただし、更新ライセンスをライセンスサーバーに適用するまでは、更新されたメンバーシップ期間中にリリースされた新しいソフトウェアを実行することはできません。

Customer Success Servicesメンバーシップの終了後にCitrixが製品バージョンをリリースした場合、Customer Success Servicesメンバーシップを更新してください。新しい製品バージョンを使用する前に、更新ライセンスを取得してください。

例：

Citrix Virtual Apps and Desktopsのいずれかのリリースにアップグレードする前に、現在の Customer Success Servicesの有効期限が切れていないことを確認してください。Citrix Virtual Apps and Desktopsのリリースでは、年-月の日付形式（YYMM）が使用されます。ライセンスの日付が製品リリース日と同じか、それ以降であることを確認してください。リリース日の包括的なリストについては、「[Citrix製品のCustomer Success Servicesの対象となる日付](#)」を参照してください。

Customer Success Servicesメンバーシップを更新すると、Citrix Licensing Managerの更新ライセンス機能を使用できます。詳細については、「[ライセンスの更新](#)」を参照してください。

注：

追加のライセンスファイルをダウンロードする際、期限切れのCustomer Success Servicesライセンスを削除できます。ただし、これは必須ではありません。各ベースライセンスに関連付けられているアップグレードを識別しやすくするために、それらを保持しておくといでしょう。

[Citrix Licensing Manager](#)を使用してCustomer Success Servicesの有効期限を確認するか、テキストエディターでライセンスファイルを表示してください。

Citrix Licensing Manager を使用して Customer Success Services の更新ライセンスを確認およびインストールする

有効にすると、Citrix Licensing Manager は毎週 Citrix.com Web サービスに接続し、利用可能な Customer Success Services の更新ライセンスを確認します。

構成に基づいて、Citrix Licensing Manager は Customer Success Services の更新ライセンスを自動的に確認するか、手動で確認できるようにします。ライセンスが見つかったら、通知するか、ライセンスをインストールします。

1. Citrix Licensing Manager で、UI の右上にある **【設定】** をクリックします。
2. 通知方法と、更新ライセンスを自動的にインストールするかどうかを選択します。

Customer Success Services の更新ライセンスの自動確認が失敗した場合は、ファイアウォール設定を確認するか、プロキシを構成してください。この機能が動作するには、ライセンスサーバーが `<https://citrixservices.citrix.com>` にアクセスできる必要があります。詳しくは、「[プロキシサーバーを手動で構成する](#)」を参照してください。

注：

このページでは、ポート、ライセンスバーストモード、および言語も構成できます。

- **Customer Success Services の更新ライセンスを自動的に確認し、利用可能になったら通知する：** Citrix Licensing Manager に通知が表示されます。リンクをクリックして、利用可能な更新をダウンロードしてインストールします。この同じ通知は、Studio および Director がライセンスサーバーを管理するように構成されている場合にも表示されます。
- **Customer Success Services の更新ライセンスを自動的に確認し、利用可能になったらインストールする：** Citrix Licensing Manager は毎週確認し、利用可能な更新ライセンスを自動的にインストールします。更新がインストールされたことを示す通知が数日間表示されます。
- **Customer Success Services の更新ライセンスを手動で確認する：** **【ライセンスの更新】** タブを選択し、**【利用可能な更新を確認】** を選択します。**【ライセンスの更新】** タブはいつでも確認でき、過去 30 日間にインストールされたライセンスのリストを表示できます。

Citrix ライセンスマネージャー

Citrix Licensing Manager は、Citrix Licensing 用のウェブベースの管理コンソールです。シンプルなウェブインターフェイスを使用して、ライセンスサーバーの機能を有効にします。Citrix Licensing Manager を使用して実行できる機能の詳細については、Citrix ライセンスの技術概要を参照してください。

Citrix ライセンスマネージャーはライセンスサーバーにインストールされます。インストールされているライセンスサーバーの管理にのみ使用できます。Citrix Web Services は、**Licensing** Windows サービスに機能を提供します。

リンク `https://*LicenseServerName:WSLPort*` を使用して Citrix Licensing Manager にアクセスします。デフォルトの WSL ポートは 8083 です。

Citrix Licensing Manager

License Server Version
11.17.2.0 build 36000

Hello,

Dashboard

Historical Use

Install Licenses

Update Licenses

License Usage

PRODUCT-EDITION	MODEL	IN USE/INSTALLED	AVAILABLE	
Citrix Start-up License	Server	<div></div> 0/10000	10000(100%)	>
Citrix License Server Diagnostics License	Server	<div></div> 0/10000	10000(100%)	>

Citrix Licensing Manager 画面には、次の詳細が表示されます。

- 画面上部のバーにライセンスサーバーのバージョンが表示されます。タイトルバーのドロップダウンリストから、ホスト名、イーサネットアドレス、およびIPv4アドレスも表示できます。Citrix Licensing Manager画面の右上にある下矢印を選択することで。
- ライセンスの可用性、有効期限、その他の条件に関する重要な通知。これらの通知は、Citrix Licensing Manager 画面上部のベルアイコンを選択すると表示できます。

Citrix Licensing Manager では、次の操作も実行できます。

- Customer Success Services の更新ライセンスアクションを構成します。次のアクションを指定できます。

- 。ライセンスを自動的にダウンロードしてインストールする、
 - 。利用可能な更新を確認して通知する、または
 - 。ライセンスを手動でインストールする。この機能の構成の詳細については、「[Citrix Licensing Manager](#) を使用して Customer Success Services の更新ライセンスを確認してインストールする」を参照してください。
- ライセンスサーバーから過去の使用状況レポートを保存およびエクスポートします。過去の使用状況データの期間を指定し、CSVファイルにエクスポートできます。CSVファイルには、超過ライセンス数を含む日ごとの使用状況情報が記載されています。過去の使用状況データのエクスポートについては、「[過去の使用状況](#)」を参照してください。

新機能のモーダルウィンドウ

バージョン 11.17.2 ビルド 37000 以降、Citrix Licensing Manager を起動すると、以下の情報を提供するモーダルウィンドウが表示されます。

- Citrix Licensing Manager で利用可能な新機能
- 既に利用可能だが、現在 Citrix Licensing Manager で無効になっている機能。これらの機能はモーダルウィンドウから直接有効にできます。

例えば、Citrix Licensing Manager は、ライセンスサーバーが Citrix Cloud に登録されていないことを自動的に検出し、登録を促します。

Citrix は、プロンプトが表示されたときに無効になっている機能を有効にすることをお勧めします。そうすることで、ユーザーエクスペリエンスが向上し、ライセンス使用状況の監視方法が改善されます。

新機能(/en-us/licensing/current-release/media/lic_new_features.png)

Citrix Licensing Manager は、ネットワーク関連の問題に対するアラートメッセージも表示し、それらを軽減するための手順を推奨します。

ネットワークの問題(/en-us/licensing/current-release/media/lic_network_issue.png)

次のステップ

- **ダッシュボード**: インストール済み、使用中、利用可能なライセンス、ライセンスの有効期限、およびカスタマーサクセスサービスの日付に関する詳細を表示します。詳細については、[ダッシュボード](#)を参照してください。

- **履歴の使用状況:** 製品、ライセンスモデル、およびカスタマーサクセスサービス（Subscription Advantage）の日付に関連するデータをレビューおよびエクスポートします。詳細については、[履歴の使用状況](#)を参照してください。
- **ライセンスのインストール:** ライセンスアクセスコードまたはダウンロードしたファイルを使用して、ライセンスサーバーにライセンスファイルをインストールします。インストール後にライセンスの詳細を表示します。詳細については、[ライセンスのインストール](#)を参照してください。
- **ライセンスの更新:** 利用可能なカスタマーサクセスサービスの更新ライセンスを確認、ダウンロード、インストール、および更新します。詳細については、[ライセンスの更新](#)を参照してください。
- **設定:** ユーザーおよびグループアカウント、サーバー構成、使用状況および統計データに関連する設定を変更します。詳細については、[設定](#)を参照してください。

ダッシュボード

Citrix Licensing Manager の**ダッシュボード**には、利用可能なエンタイトルメントに関する情報が表示されます。エンタイトルメントに関する詳細情報を表示するには、特定のエンタイトルメントの「>」をクリックします。Citrix Licensing Manager には、以下のライセンス詳細を含むテーブルが表示されます。

- **契約終了日:** 組織のライセンス契約に固有の終了日。
- **種類:** エンタイトルメントの種類。

The screenshot shows the Citrix Licensing Manager interface. At the top, the header includes the title 'Citrix Licensing Manager', a user profile 'Hello, CITrixAdmin...', and a 'License Server Version 11.17.2.0 build 55100' dropdown menu. Below the header is a navigation bar with tabs: 'Dashboard', 'Historical Use', 'Install Licenses', 'Update Licenses', 'Product Information', and 'Settings'. Under 'Product Information', there are sub-tabs: 'License Activation Service', 'NEW', and 'Citrix Licenses(Legacy)'. The main content area is divided into two sections: 'Product' and 'Licenses'. The 'Product' section lists four products: 'Citrix Endpoint Management', 'XenServer Premium Edition', 'Citrix Provisioning Service', and 'Unicon Scout Server', each with a right-pointing arrow. The 'Licenses' section is expanded, showing a table with two columns: 'Contract End Date' and 'Type'. The table contains four rows of data, all with 'Expiring Retail' as the type. A green box highlights the 'Contract End Date' and 'Type' columns and the first two rows of data.

Contract End Date	Type
May 6, 2027	Expiring Retail
Mar 30, 2027	Expiring Retail
Feb 10, 2029	Expiring Retail
Oct 17, 2026	Expiring Retail

製品情報

Citrix Licensing Manager のこのリリースでは、製品情報に関する新しいセクションが追加されました。

Citrix Licensing Manager UI で、製品情報タブをクリックします。次のページが表示されます。

Citrix Licensing Manager
License Server Version
11.17.2.0 build 43000
Hello, 

Dashboard
Historical Use
Install Licenses
Update Licenses
Product Information

Product Information

License Server updates

You're up to date!

Your License Server is up to date with latest fixes and enhancements

About this release

License Server v11.17.2 Build 43000

Apache 2.4.57

OpenSSL 1.1.1t

jQuery 3.5.1

For information about new features, fixed issues, and known issues in this version of License Server, see [Licensing current release](#) documentation

製品情報ページには、次の2つのセクションがあります。

- License Server の更新
 - 最新の更新
 - 更新の最終成功試行

注：

License Server の更新セクションでは、最新の製品情報を表示するためにインターネットアクセスが必要です。

- このリリースについて
 - ダウンロード可能な最新バージョンの License Server

- 。特定のリリース向けの OpenSSL や Apache のバージョンなどのオープンソースソフトウェアの更新
- 。製品ドキュメントへのリンク

注：

「このリリースについて」セクションには静的テキストが記載されており、最新の製品情報を表示するためにインターネットアクセスは必要ありません。

設定

Citrix Licensing Managerで、以下の設定を変更および構成します。

- ・ **アカウント**: ユーザーアカウントとグループアカウントを構成します。
- ・ **サーバー構成**: ポートとCustomer Success Servicesの更新ライセンスアクションを構成します。
- ・ **使用状況と統計**: Citrix Cloudにライセンスサーバーを登録し、保持期間を選択して履歴データの保持を構成します。

これらの設定を構成するには、タイトルバーの右上隅にある設定アイコンをクリックします。

PRODUCT-EDITION	MODEL	IN USE/INSTALLED	AVAILABLE
Citrix Start-up License	Server	0/10000	10000(100%)
Citrix License Server Diagnostics License	Server	0/10000	10000(100%)

アカウント

アカウントタブで、ローカルのWindowsユーザーとグループ、およびActive Directoryユーザーとグループの両方に対して、ユーザーとグループのアクセスを構成します。

注：

Active Directoryユーザーとグループは、Active Directoryまたはネットワーク認証システムの一部です。それらをサポートするには、WindowsライセンスサーバーがMicrosoft Active Directoryドメインのメンバーであることを確認してください。

管理者とユーザーの役割

特定の役割を持つユーザーアカウントとグループアカウントを追加できます。管理者の役割で作成されたユーザーアカウントとグループアカウントは、次のことができます。

- コンソールの表示言語を選択します。
- システム情報を表示します。
- ユーザーの追加と削除。
- ライセンスサーバーポートの構成。
- ベンダーデーモンポートの構成。
- Web Services for Licensingポートの構成。
- ライセンスの構成と追加。

ユーザーとグループの追加(/en-us/licensing/current-release/media/clm-add-user-group.png)

Userロールで作成された**User**および**Group**アカウントは、Citrix Licensing Managerにログオンできません。これらのアカウントは、Citrix Studioを介してライセンスへの読み取り専用アクセスのみを持ちます。

注：

アカウントとしての**User**（赤色）は、前述の画像に示されているように、ロールとしての**User**（緑色）とは異なります。

ユーザーとグループを追加および削除するには

ユーザーまたはグループを追加するには、**追加**をクリックし、**ユーザーまたはグループ**を選択し、**Domain\Username**を入力して、**完了**をクリックします。

- コンソールの表示言語を選択します。
- システム情報を表示します。
- ユーザーの追加と削除。

- ライセンスサーバーポートを構成します。
- ベンダーデーモンポートを構成します。
- ライセンス用Webサービスポートを構成します。
- ライセンスを構成して追加します。

既存のユーザーまたはグループのロールを編集するには、編集ボタンをクリックし、ロールを選択して、**更新**をクリックします。

サーバー構成

サーバー構成設定を使用して、次の変更を行います。

- License Server、Citrixベンダーデーモン、およびWeb Services for Licensingのポートを設定します。
- プロキシサーバーを設定します。
- Customer Success Servicesの更新ライセンスアクションを設定します。
- ライセンスバーストモードを有効/無効にします。
- コンソール表示言語を選択します。

Settings

Account

Server Configuration

Usage and Statistics

Configured Ports

License Server Port	27000	
Vendor Daemon Port	7279	
Web Services for Licensing Port	8083	

Configure a Proxy Server

The proxy server isn't configured. Edit to configure a proxy server.

Customer Success Services Renewals

☒

 Automatically check for Customer Success Services renewal licenses and notify when available.

☐

 Automatically check for and install Customer Success Services renewal licenses when available.

☐

 Manually check for Customer Success Services renewal licenses.

Supplemental Grace Period

Start the 15-day supplemental grace period when the regular license consumption limit is reached.

ON

ポート番号を設定する

次のデフォルトポートを編集できます。

- **License Server**。このポート番号はCitrix Licensing Managerによって使用されます。License Server Managerは、製品間の初期通信を処理し、Citrixベンダーデーモンを起動し、チェックアウトおよびチェックイン要求をベンダーデーモンに中継します。デフォルトでは、このポート番号は27000です。
- **Citrixベンダーデーモン**。このポート番号はCitrixベンダーデーモンによって使用されます。ベンダーデーモンは、ライセンス割り当てを含むLicense Serverのコア操作を担当します。デフォルトでは、このポート番号は7279です。ただし、ファイアウォールがある場合、またはその番号がすでに使用されている場合は、ポート番号を変更する必要があります。
- **Web Services for Licensing**。Web Services for Licensingによって使用されるポート。**Web Services for Licensing**はCitrix Licensing Managerをホストするため、Citrix Licensing Managerに接続するユーザーはこのポートを使用します。DirectorおよびStudioは、**Web Services for Licensing**を使用してLicense Serverと通信するためにこのポートを使用します。デフォルトでは、このポート番号は8083です。

Citrix Licensing Managerでプロキシサーバーを設定する

License Serverバージョン11.17.2.0ビルド43000以降、Citrix Licensing Manager UIからプロキシサーバー設定を表示および構成できます。必要に応じて、設定を編集してプロキシサーバーを追加、変更、または削除できます。

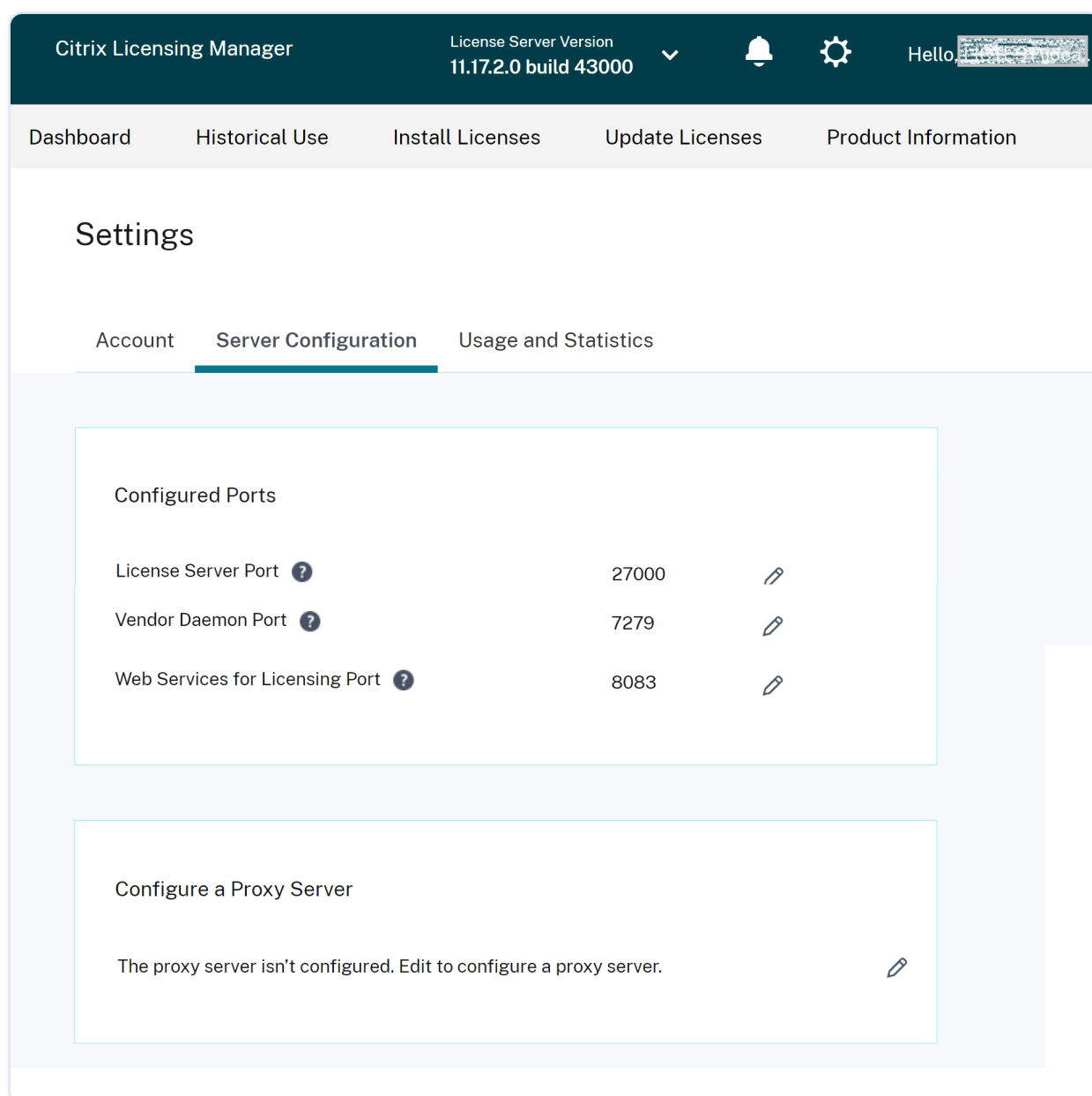
プロキシサーバーを構成するには、以下を実行します。

1. Citrix Licensing Managerで、UIの右上にある**設定**



をクリックします。

2. 「**サーバー構成**」をクリックします。
3. 「**プロキシサーバーの構成**」セクションに移動します。



Citrix Licensing Manager License Server Version 11.17.2.0 build 43000

Dashboard Historical Use Install Licenses Update Licenses Product Information

Settings

Account **Server Configuration** Usage and Statistics

Configured Ports

License Server Port ?	27000	
Vendor Daemon Port ?	7279	
Web Services for Licensing Port ?	8083	

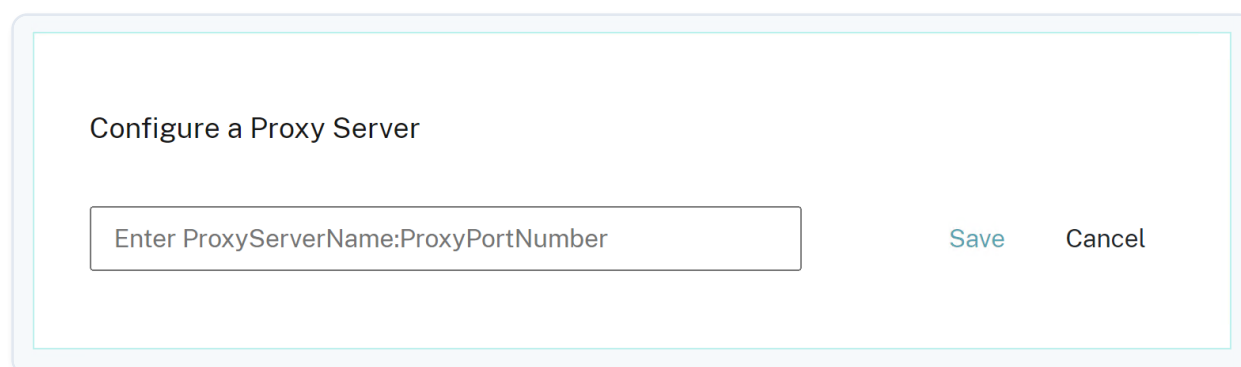
Configure a Proxy Server

The proxy server isn't configured. Edit to configure a proxy server. 

4. 新しいプロキシサーバーを構成するか、既存のプロキシサーバーを更新するには、「編集」



をクリックします。



Configure a Proxy Server

Enter ProxyServerName:ProxyPortNumber

Save Cancel

5. プロキシサーバー名とプロキシポート番号を次の形式で入力します。

プロキシサーバー名:ポート番号

例: 10.211.55.5:808。 (このポートは `IPAddress:Port` または `Hostname:Port` にできます。)

6. 「保存」をクリックします。プロキシサーバーの構成が正常に保存されました。

注:

SSLインターセプトを使用するプロキシを使用している場合は、プロキシの証明書がライセンスサーバー上のローカルWindows証明書ストアにインポートされていることを確認してください。

カスタマーサクセスサービスの更新

カスタマーサクセスサービス更新

Customer Success Servicesライセンスを更新するには、次のオプションがあります。

- **Customer Success Services更新ライセンスを自動的にチェックし、利用可能になったときに通知する**
- **利用可能な場合は、Customer Success Servicesの更新ライセンスを自動的に確認してインストールする**
- **Customer Success Servicesの更新ライセンスを手動で確認する**

利用可能な更新の確認は毎週実行されます。ライセンスを手動で更新するには、**Update License > Check for Available Renewals**をクリックします。いつでも**Update License**タブを確認して、過去30日間にインストールされたライセンスのリストを表示できます。

構成に基づいて、Citrix Licensing Managerは次のいずれかを実行します。

- Customer Success Servicesの更新ライセンスを確認し、見つかった場合は通知してインストールします。
- Customer Success Servicesの更新ライセンスを確認し、インストール可能であることを通知します。
- 手動で確認できます。

Customer Success Servicesの更新ライセンスの自動確認が失敗した場合は、ファイアウォール設定を確認するか、プロキシを構成してください。この機能が動作するには、ライセンスサーバーが `<https://citrixservices.citrix.com>` にアクセスできる必要があります。

ライセンスバーストモード

通常のライセンス消費制限に達した場合、ライセンスバーストモード機能を使用して15日間のライセンスバーストモードを開始できます。ライセンスバーストモード中は、製品は15日間無制限の接続を許可し、問題の解決を可能にします。ご使用の製品がライセンスバーストモードをサポートしているかどうかを確認するには、製品ドキュメントを確認してください。

言語

Citrix Licensing Managerの表示のデフォルト言語を変更できます。これはすべてのコンソールユーザーに適用されます。利用可能な言語は次のとおりです。

- 中国語 (簡体字)
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- スペイン語

サポートバンドル

サポートバンドルは、Citrixサポートチームがライセンスサーバーの問題をトラブルシューティングおよびデバッグするために必要な情報を含む.zipファイルです。このファイルを使用して、Citrixサポートコールを開始したり、ライセンスコンプライアンスの目的でCitrixまたはそのエージェントにドキュメントを提供したりできます。生成される.zipファイルには、ライセンスアクティビティと過去の使用状況情報、構成情報、ライセンスディレクトリのコピー、ライセンスファイル、サーバーログ、およびCall Home、CEIP、またはCitrix License Management Serviceのいずれか、あるいは両方からの使用状況および分析データ（それぞれ該当する場合）が含まれます。

サポートバンドルを生成してダウンロードするには、**Citrix Licensing Manager > 設定 > サーバー構成 > サポートバンドル**に移動します。生成してダウンロードをクリックして、バンドル（.zipファイル）をダウンロードします。

サポートバンドルにはさまざまなファイルが含まれています。バンドル内で特に重要なファイルのリストについては、次の表を参照してください。

ファイル名	説明
LS\conf	サーバー構成と証明書が含まれます。

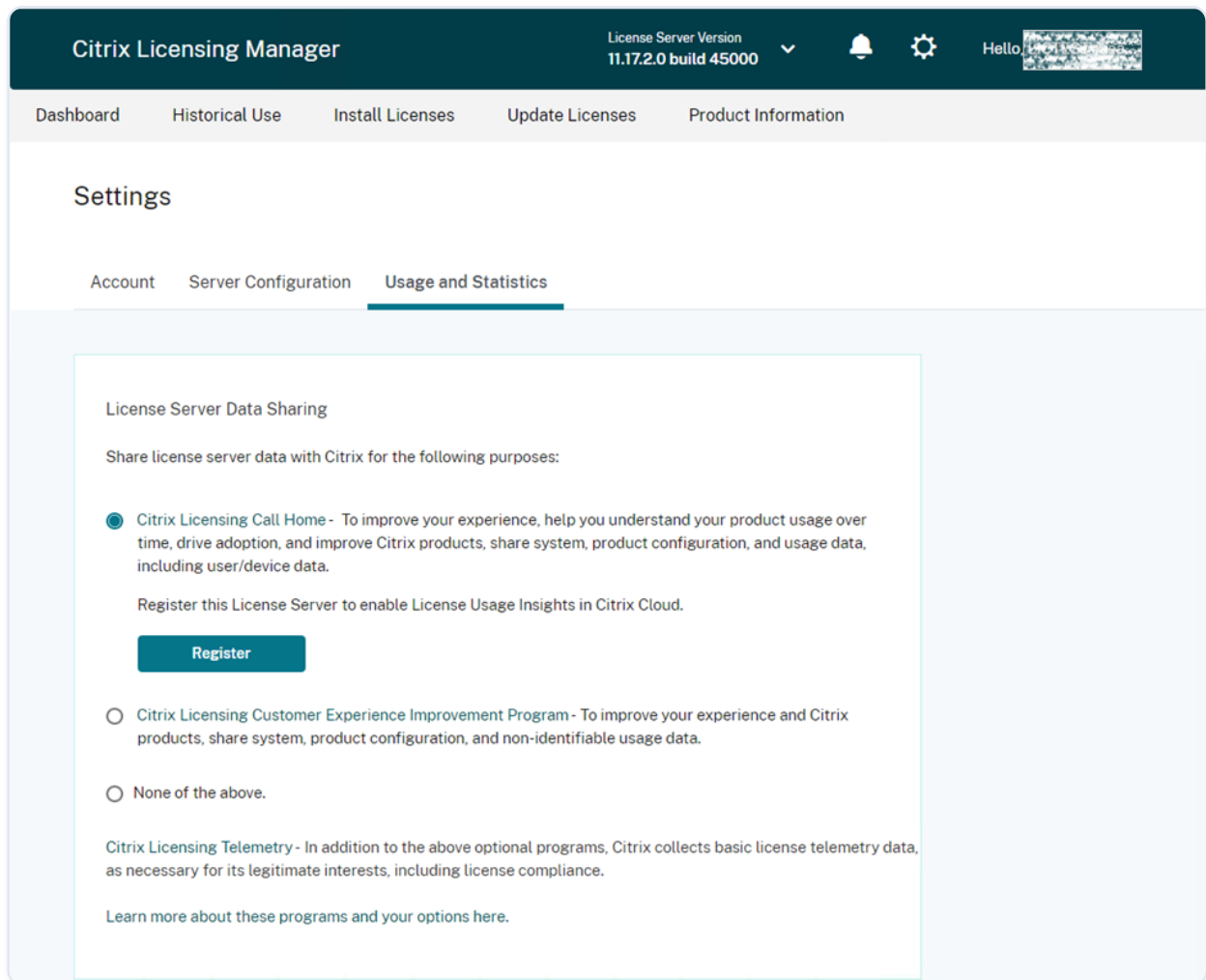
ファイル名	説明
LS\logs	ライセンスサーバーのログが含まれています。
LS\resource\cache	ユーザー/デバイスデータ、更新データベース、およびベンダーデーモン拡張データが含まれています。また、最後のテレメトリ転送のステータスを含むアップロード結果ファイルもあります。
LS\resource\Historical	Web Services for Licensing/Citrix Licensing Manager の分析および履歴使用データベースが含まれています。
LS\resource\usage	最新のコンプライアンスおよび/またはCEIP/Call Homeアップロードバンドルに含まれるファイルと、各プログラムに対応する.zipファイルが含まれています。
LS\MyFiles	インストールされているすべての顧客ライセンスファイルと、CITRIX.opt (オプションファイル – LS構成を含む) が含まれています。
WebServicesForLicensing	<code>SimpleLicenseServiceConfig.xml</code> Web Services for Licensing 構成ファイル。
WebServicesForLicensing\Apache\conf	Web Services for Licensing Webサーバーの構成と証明書が含まれています。
WebServicesForLicensing\Logs	Web Services for Licensing Webサーバーのログが含まれています。

使用状況と統計

使用状況と統計設定を使用して、次の操作を行います。

- Citrix Cloud と使用状況統計を共有する方法を構成します。詳細については、「[使用状況統計の共有](#)」を参照してください。
- ライセンスサーバーが登録されているか確認するか、[Citrix Cloud にライセンスサーバーを登録する](#)。
- アップロードのステータスを確認し、失敗したアップロードを修正します。
- Citrix へのデータアップロードを強制します。

- 履歴使用状況情報を保持する期間を設定します。



使用状況統計を共有する

Citrix Licensing Customer Experience Improvement Program (CEIP) および Call Home の使用状況および分析プログラムは、製品エクスペリエンスを向上させるために設計された任意のデータ収集プログラムです。Call Home および CEIP は任意のプログラムです。

収集される統計の詳細については、Citrix データ収集プログラムを参照してください。

Citrix ライセンスサーバーを登録する

使用状況と統計セクションの登録オプションを使用して、Citrix ライセンスサーバーを Citrix Cloud に登録します。登録が完了すると、画面に登録済みであることが表示されます。ライセンスサーバーの登録を解除する場合は、登録解除オプションを使用します。詳細については、Citrix Cloud に Citrix ライセンスサーバーを登録するを参照してください。

登録を解除する

Citrix Cloud へのライセンスサーバー登録を解除したい理由はいくつかあります。たとえば、ライセンスサーバーを CompanyA に登録したが、その会社が別の組織に統合された場合などです。ライセンス使用状況データを 1 つの Citrix お客様アカウントに統合したいとします。そのためには、登録を解除してから、新しい Citrix Cloud アカウントで登録します。詳細については、[ライセンスサーバーの登録を解除する](#)を参照してください。

ライセンスサーバーイベントデータを収集する

Citrix Cloud にライセンスサーバーを登録した後、ライセンスサーバーのイベントデータを Citrix に送信することを選択できます。このオプションはデフォルトで有効になっており、登録後にのみ利用可能です。このデータは、顧客向けダッシュボードに情報を表示するために使用されます。また、ライセンスの有効期限、ライセンスの更新、およびライセンスバーストモードに関するアラートと通知を提供するためにも使用されます。Citrix Cloud に送信されるデータ要素の詳細については、[ライセンスサーバーイベントデータを参照してください](#)。

Citrix Licensing Manager License Server Version 11.17.2.0 build 45000

Dashboard Historical Use Install Licenses Update Licenses Product Information

Settings

Account Server Configuration **Usage and Statistics**

License Server Data Sharing

Share license server data with Citrix for the following purposes:

- ☒ **Citrix Licensing Call Home** - To improve your experience, help you understand your product usage over time, drive adoption, and improve Citrix products, share system, product configuration, and usage data, including user/device data.
✓ Registered to Citrix Cloud Customer Name: **Shared Entitled Customer**. Visit [Citrix Cloud](#) to view License Usage Insights.
[Remove Registration](#)
- ☒ **Send your License Server's event data to Citrix**. Data from License Server will be used to display information in customer facing dashboards, provide alerts and notifications about license expiry, license renewals, and supplemental grace period. [Learn more](#)
- ☐ **Citrix Licensing Customer Experience Improvement Program** - To improve your experience and Citrix products, share system, product configuration, and non-identifiable usage data.
- ☐ None of the above.

Citrix Licensing Telemetry - In addition to the above optional programs, Citrix collects basic license telemetry data, as necessary for its legitimate interests, including license compliance.

[Learn more about these programs and your options here.](#)

アップロード情報

アップロード情報(/en-us/licensing/current-release/media/clm-upload-info.png)

このアップロード情報機能は、最後のCEIP、Call Home、またはCitrix Service Provider™のアップロードのステータスを提供します。日次アップロードを待たずに、Citrixへのデータアップロードを強制できます。CEIPが有効な場合、**今すぐアップロード**をクリックしてCitrixへのデータアップロードを強制します。アップロードを成功させるには、アップロード間に5分間隔を空けてください。

アップロードが失敗した場合、Citrix Licensing Managerはトラブルシューティング情報を表示します。

履歴の使用状況

履歴の使用状況機能を使用して、ライセンスサーバーの使用状況情報を保持する期間を選択します。履歴の使用状況の既定の保持期間は1年です。

インプレースのライセンスサーバーアップグレードがある場合、履歴データはバックアップされます。

履歴の使用状況(/en-us/licensing/current-release/media/clm-historical-use.png)

Citrix License Server の登録と登録解除

Citrix License Server を登録する

Citrix License Server を Citrix Cloud に登録するには、**Settings** の **Usage and Statistics** セクションにある **Register** オプションを使用して、ショートコードによるアクティベーションプロセスを実行します。

登録が完了すると、画面に登録済みであることが表示され、**Remove Registration** オプションを使用して License Server の登録を解除できます。

License Server を Citrix Cloud に登録することで、License Server は Call Home ライセンス使用状況情報を収集および保存できるようになります。また、この情報を定期的に Citrix Cloud に送信することも許可します。

オンプレミスの License Server を登録する手順については、「[オンプレミス製品を Citrix Cloud に登録する](#)」を参照してください。

Citrix License Server のステータスを表示して、どのサーバーが正常に使用状況を報告しているか、およびいつ Citrix Cloud に最後に使用状況を報告したかを把握します。詳細については、「[オンプレミス展開のライセンスと使用状況を監視する](#)」を参照してください。

License Server が Citrix Cloud に正常に登録されると、Citrix Cloud UI で詳細を表示できます。

重要:

License Server を Citrix Cloud に登録する前に、ファイアウォール規則を使用して次の URL を開いてください。

`https://las.cloud.com:443`

`https://customers.citrixworkspacesapi.net:443`

`https://trust.citrixnetworkapi.net:443`

`https://trust.citrixworkspacesapi.net:443`

`https://cis.citrix.com:443`

`https://core.citrixworkspacesapi.net:443`

If your OS certificates are up to date, ignore the following URLs.

`http://ocsp.digicert.com:80`

`http://crl3.digicert.com:80`

`http://crl4.digicert.com:80`

`http://ocsp.entrust.net:80`

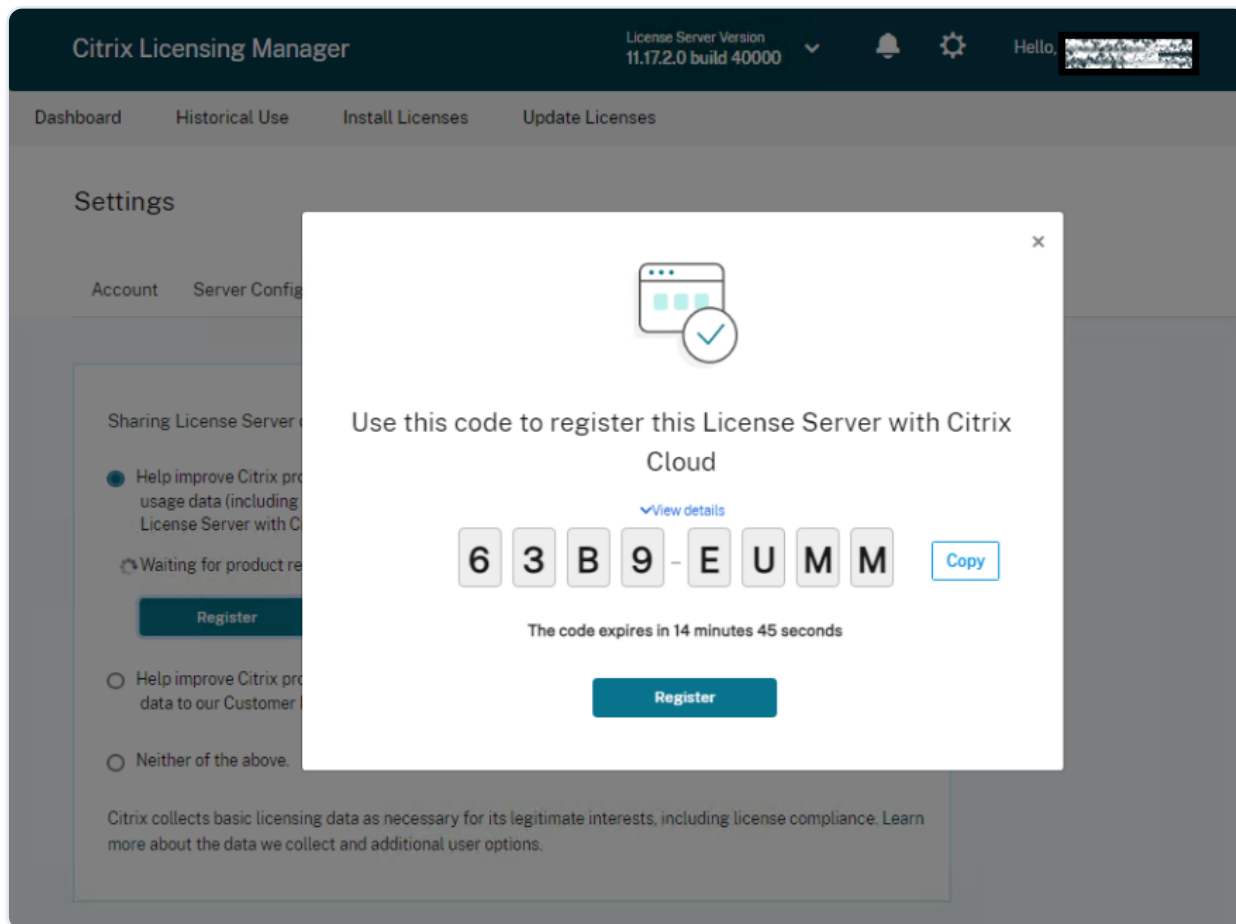
`http://crl.entrust.net:80`

License Server を登録する手順

License Server を登録するには、次の手順を実行します。

1. **Settings > Usage and Statistics** に移動します。

2. **Register** をクリックして、8文字の英数字コードを生成します。



3. ライセンスサーバーのバージョン、MAC ID、ホスト名、IPアドレスを表示するには、「**詳細の表示**」を選択します。
4. 「**登録**」をクリックします。Citrix Cloud™サインインページに移動します。
5. Citrix Cloudアカウントの資格情報を入力し、「**製品登録 > 登録**」に移動します。8文字の英数字コードを入力し、「**続行**」をクリックします。
6. 登録の詳細を確認し、「**登録**」をクリックします。詳細については、「[オンプレミス製品をCitrix Cloudに登録する](#)」を参照してください。

「

注：

製品登録エクスペリエンスにリダイレクトされない場合は、次の手順を実行します。

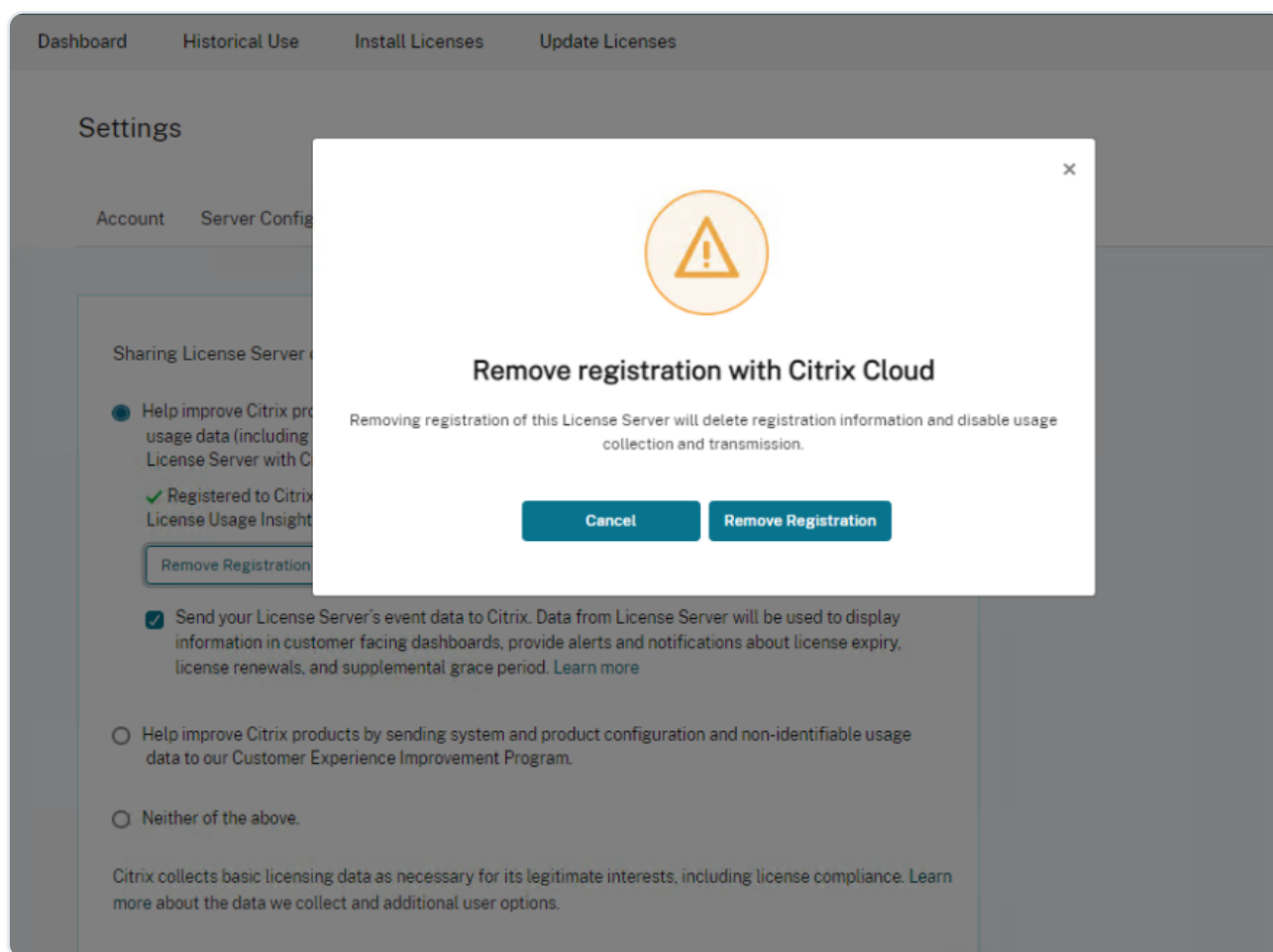
1. citrix.cloud.comにアクセスし、Citrix Cloudにサインインします。

2. 会社を選択し、選択メニューからIDおよびアクセス管理 > APIアクセス タブ > 製品登録を選択します。

ライセンスサーバーからライセンスサーバーの登録を削除する

ライセンスサーバーを別のCitrix Cloudアカウントまたは新しいCitrix Cloudアカウントに登録する場合は、登録を削除してライセンスサーバーを再登録します。

ライセンスサーバーの登録を削除するには、「設定 > 使用状況と統計」に移動し、「登録の削除」をクリックします。確認メッセージを確認して確定します。



ライセンスサーバーの登録がCitrix Cloudから削除されます。

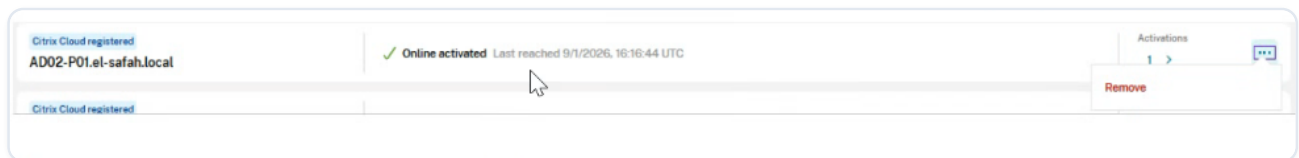
- 「既存のアクティベーション：」既にアクティブな製品インスタンスは引き続き機能します。
- 「新規アクティベーション：」LASへの接続が復元されるまで、新しい製品インスタンスは拒否されます。
- 時間枠: アクティベーションが無効になる前に、ライセンスサーバーはLASに再接続するために30日間の猶予があります。

これで、ライセンスサーバーを登録し、新しいCitrix Cloudアカウントで登録する手順に従うことができます。

Citrix Cloudからライセンスサーバーの登録を削除する

ライセンスサーバーを別のCitrix Cloudアカウントまたは新しいCitrix Cloudアカウントに登録したい場合は、登録を削除してライセンスサーバーを再登録してください。

ライセンスサーバーの登録を削除するには、**Licensing > Licensed deployment > License Servers** に移動します。表示されているライセンスサーバーで、3つの点をクリックし、**Remove** をクリックします。



ライセンスサーバーの登録がCitrix Cloudから削除されました。

- **既存のアクティベーション:** 既にアクティブな製品インスタンスは引き続き機能します。
- **新規アクティベーション:** LASへの接続が復元されるまで、新しい製品インスタンスは拒否されます。
- **時間枠:** アクティベーションが無効になる前に、ライセンスサーバーはLASに再接続するために30日間の猶予があります。

これで、ライセンスサーバーを登録し、新しいCitrix Cloudアカウントで登録する手順に従うことができます。

追加情報

- [ライセンス使用状況インサイトLUIを有効にする方法](#)

ライセンスアクティベーションサービス

ライセンスアクティベーションサービス (LAS) は、オンプレミスのCitrixライセンスサーバー向けの最新のクラウドベースのライセンスソリューションです。従来のCitrixレガシーライセンスに代わる合理化されたソリューションとして設計されたLASは、製品アクティベーション用の新しいモジュールを導入し、ライセンス管理へのシームレスなアプローチを保証します。

ライセンスファイルのライフサイクルを手動で管理する代わりに、ライセンスサーバーをCitrix Cloud™に接続してオンラインアクティベーションを行うことができます。登録されると、ライセンスサーバーはLASエンドポイントと定期的に通信し、アクティベーションが最新の状態に保たれ、エンタイトルメントの有効期限または契約終了日に合わせて調整されるようにします。

LASの主な利点

- **運用オーバーヘッドの削減:** LASは、ライセンスアクティベーションコードや製品固有のライセンスファイルをダウンロード、アップロード、または管理する必要をなくすことで、ライセンスエクスペリエンスを簡素化します。
- **自動アクティベーション:** ライセンスサーバーをアップグレードし、Citrix Cloudに登録するだけで済みます。サーバーを指す互換性のある製品は自動的にアクティベートされ、LAS用に構成されます。
- **ハイブリッド互換性:** ライセンスサーバーは、ライセンスアクティベーションサービスとCitrix レガシーライセンス（ライセンスファイル）の両方を同時にサポートし、柔軟な移行を可能にします。

注:

レガシーライセンスファイルはサポート終了 (EOL) になります。サービスの中断を避けるため、ライセンスアクティベーションサービス (LAS) への移行をお勧めします。詳細については、[お知らせ](#)を参照してください。

- **パフォーマンスとスケーラビリティ:** このサービスは、ライセンスのチェックインおよびチェックアウト操作が不要になるため、このテクノロジーを利用する製品のパフォーマンスとスケーラビリティを向上させるように設計されています。

- **エアギャップ環境のサポート:** ライセンスサーバーがCitrix Cloudに接続できない環境向けに、LASはオフラインアクティベーションオプションを提供します。お客様はこのオプションについてCitrix担当者にお問い合わせください。
- **マルチサーバーサポート:** 環境内でLAS用に複数のライセンスサーバーを構成できます。これは、サーバーが登録されているCitrix Cloudテナントに関連付けられた有効なライセンス購入がある限りサポートされます。
- **容量制限:** LASは製品の容量や使用を制限しません。そのような制限は、関連製品に適用されるライセンス条項に従って適用されます。LASは個々のライセンスを追跡するための**チェックアウト**操作を必要としないため、ライセンスサーバーまたはCitrix Cloud内でリアルタイムの使用状況メトリックは利用できません。アプリケーションの使用状況の詳細は、個々の製品コンソールで引き続き表示できます。
- **プレミアム機能:** LASは、すべてのCVADのお客様にプレミアム機能をデフォルトで提供します。
- **シームレスな更新:** お客様は更新時に運用活動を行う必要はありません。エンタイトルメントと新しい有効期限は自動的に更新されます。

オンラインアクティベーションのためにライセンスサーバーを登録する

前提条件: オンラインアクティベーションのためにライセンスサーバーを登録する前に、以下の要件が満たされていることを確認してください。

1. 環境が以下のバージョンマトリックスに準拠していることを確認してください。

CITRIX LICENSE SERVERのバージョン	LASでサポートされている製品	LTSRバージョン（記載されているものおよび将来のリリース）	CRリリース（記載されているものおよび将来のリリース）	製品固有のバージョン（記載されているものおよび将来のリリース）
11.17.2 ビルド 51000	CVAD	NA	CVAD 2411	NA
11.17.2 ビルド 52100	CVAD	NA	CVAD 2503	NA
11.17.2 build 53100, 54100, 55100 以降	シーバッド、ピーブイエス、ゼノサーバー、ウェ	CVAD 2203 CU7、CVAD 2402 CU3、CVAD 2507、	PVS 2203 CU7 LTSR、PVS 2402 CU3 LTSR、PVS	XenServer 8.4、XenCenter バージョン

CITRIX LICENSE SERVERのバージョン	LASでサポート されている製品	LTSRバージョン（記載されているものおよび将来のリリース）	CRリリース（記載されているものおよび将来のリリース）	製品固有のバージョン（記載されているものおよび将来のリリース）
	ム、ユニコン スカウト、ゼ ノモバイル	CVAD 2507 CU1	2507 LTSR、 CVAD 2511	2025.3 以降、 WEM 2507、 Scout 15 2508 LTSR、 XenMobile 10.16 Rolling Patch 7 および 10.15 Rolling Patch 13

詳細については、[LAS FAQ](#)を参照してください。

2. Citrix Cloud アカウントとエンタイトルメント

- **アカウント:** 有効なCitrix Cloudアカウントが必要です。既存のクラウドアカウントを確認するか、新しいクラウドアカウントをオンボードしてください。詳細については、[アカウント管理](#)を参照してください。
- **エンタイトルメント:** 登録に使用されるCitrix Cloudアカウントにリンクされている組織ID (Org ID) は、有効な購入済みエンタイトルメントを所有している必要があります。現在のエンタイトルメントを表示するには、ライセンスの検索を参照してください。
- **登録制限:** ライセンスサーバーは、**1つ**のCitrix Cloud ID (CCID) にのみ登録できます。

重要:

後で組織IDを変更する必要がある場合は、既存の登録を削除し、新しいアカウントで再登録する必要があります。

3. ファイアウォールの構成:

ファイアウォールを設定して、**ポート443**での送信トラフィックを以下のエンドポイントに許可します。

Citrix Cloud商用エンドポイント

- <https://las.cloud.com:443> (デフォルトのエンドポイント)

- <https://api-eu.cloud.com> (Citrix Cloud EUテナント専用のEU固有のエンドポイント)
- <https://api-ap-s.cloud.com> (Citrix Cloud APSテナント専用のAPS固有のエンドポイント)
- <https://customers.citrixworkspacesapi.net:443>
- <https://trust.citrixnetworkapi.net:443>
- <https://trust.citrixworkspacesapi.net:443>
- https://api.analytics*.cloud.com
- https://*.servicebus.windows.net
- <https://core.citrixworkspacesapi.net:443>

Citrix Cloud Japanエンドポイント:(Citrix Cloud Japanテナントのみ)

- <https://las.citrixcloud.jp>
- <https://trust.citrixnetworkapi.jp:443>
- <https://trust.citrixworkspacesapi.jp:443>
- <https://customers.citrixworkspacesapi.jp:443>
- https://api.analytics*.cloud.com
- https://*.servicebus.windows.net

Citrix Cloud Government エンドポイント:(Citrix Cloud Government テナントのみ)

- <https://las.cloud.us>
- <https://trust.citrixnetworkapi.us:443>
- <https://trust.citrixworkspacesapi.us:443>
- <https://customers.citrixworkspacesapi.us:443>
- <https://cis.citrix.com:443>

OS証明書が最新である場合、以下のURLは無視してください

- <http://ocsp.digicert.com:80>
- <http://crl3.digicert.com:80>
- <http://crl4.digicert.com:80>
- <http://ocsp.entrust.net:80>

- `http://crl.entrust.net:80`

注:

上記のいずれかのエンドポイントに到達できない場合、Citrix Cloudへの登録は成功しません。詳細については、[ファイアウォールの考慮事項](#)を参照してください。

Citrix Cloud Japan固有の構成変更

- `<LS-Installation-Folder>\WebServicesForLicensing\SimpleLicenseServiceConfig.xml` にある `SimpleLicenseServiceConfig.xml`を開きます。
- 以下の構成を複製します（新しい構成行をコピーして貼り付けます）。

```
<Configurations>

  <EncoreConfiguration>

    <SamplingPeriod>15</SamplingPeriod>

    <RetentionTime>365</RetentionTime>

    <Enabled>true</Enabled>

  </EncoreConfiguration>

  <SARenewalConfigOptions>Notify</SARenewalConfigOptions>

  <CloudRegistrationServerPort>trust.citrixnetworkapi.jp:443</CloudRegistrationServerPort>

  <CloudTrustServerPort>trust.citrixworkspacesapi.jp:443</CloudTrustServerPort>

  <LASServer>las.citrixcloud.jp</LASServer>

  <CloudCoreServerPort>customers.citrixworkspacesapi.jp:443</CloudCoreServerPort>

</Configurations>
```

- Citrix Web Services for Licensing Serviceを再起動します。

Citrix Cloud Government固有の構成変更

- `<LS-Installation-Folder>\WebServicesForLicensing\SimpleLicenseServiceConfig.xml` にある `SimpleLicenseServiceConfig.xml`を開きます。
- 以下の構成を複製します（新しい構成行をコピーして貼り付けます）。

```
<Configurations>

  <EncoreConfiguration>

    <SamplingPeriod>15</SamplingPeriod>

    <RetentionTime>365</RetentionTime>

    <Enabled>true</Enabled>

  </EncoreConfiguration>

  <SARenewalConfigOptions>Notify</SARenewalConfigOptions>

  <CloudRegistrationServerPort>trust.citrixnetworkapi.us:443</CloudRegistrationServerPort>

  <CloudTrustServerPort>trust.citrixworkspacesapi.us:443</CloudTrustServerPort>

  <LASServer>las.cloud.us</LASServer>

  <CloudCoreServerPort>customers.citrixworkspacesapi.us:443</CloudCoreServerPort>

</Configurations>
```

- Citrix Web Services for Licensing Serviceを再起動します。

Citrix Cloud EU固有の構成変更

- `<LS-Installation-Folder>\WebServicesForLicensing\SimpleLicenseServiceConfig.xml` にある `SimpleLicenseServiceConfig.xml`を開きます。
- 以下の構成を複製します（新しい構成行をコピーして貼り付けます）。

```
<Configurations>

  <EncoreConfiguration>

    <SamplingPeriod>15</SamplingPeriod>

    <RetentionTime>365</RetentionTime>

    <Enabled>true</Enabled>

  </EncoreConfiguration>

  <SARenewalConfigOptions>Notify</SARenewalConfigOptions>

  <LASServer>api-eu.cloud.com</LASServer>

</Configurations>
```

- Citrix Web Services for Licensing Serviceを再起動します。

米国リージョンを指すライセンスサーバーをEUリージョンに移行する

- EUテナントに米国リージョンのLASエンドポイントを指すライセンスサーバーがある場合、Citrixは2つのタブ（米国リージョン用とEUリージョン用）を表示します。ライセンスサーバーは以下に示すように分離されます。EUテナントにライセンスサーバーがない場合、タブは表示されません。

米国からEUリージョンを指す(/en-us/licensing/current-release/media/pointing-us-to-eu-region.png)

- **Citrix Cloud EU固有の構成**に記載されている手順に従ってください。
- 構成を更新すると、ライセンスサーバーは米国リージョンではなくLAS EUリージョンを指すようになります。
- 24時間後、このライセンスサーバーを通じてアクティブ化された製品がCitrix Cloudに表示されます。この間、LASアクティベーションに問題はなく、毎日更新が継続されます。

- 米国リージョンタブからライセンスサーバーを削除します。サーバーの横にある3つの点をクリックし、以下に示すように**削除**をクリックします。
- 米国リージョンを指すすべてのライセンスサーバーをEUリージョンに移行すると、**米国リージョン**タブと**EUリージョン**タブの両方が消えます。その後、EUリージョンのすべてのライセンスサーバーがデフォルト画面に表示されます。

LAS米国リージョンの削除(/en-us/licensing/current-release/media/las-us-region-remove.png)

注:

Citrix Cloud EUテナントに米国リージョンを指すライセンスサーバーがなく、最初のライセンスサーバーを登録する場合は、上記の**Citrix Cloud EU固有の構成変更**セクションに従うことをお勧めします。これにより、将来の追加の移行手順を回避できます。

Citrix Cloud APS固有の構成変更

- `<LS-Installation-Folder>\WebServicesForLicensing\SimpleLicenseServiceConfig.xml` にある `SimpleLicenseServiceConfig.xml`を開きます。
- 以下の構成を複製します（新しい構成行をコピーして貼り付けます）。

```
<Configurations>

  <EncoreConfiguration>

    <SamplingPeriod>15</SamplingPeriod>

    <RetentionTime>365</RetentionTime>

    <Enabled>true</Enabled>

  </EncoreConfiguration>

  <SARenewalConfigOptions>Notify</SARenewalConfigOptions>

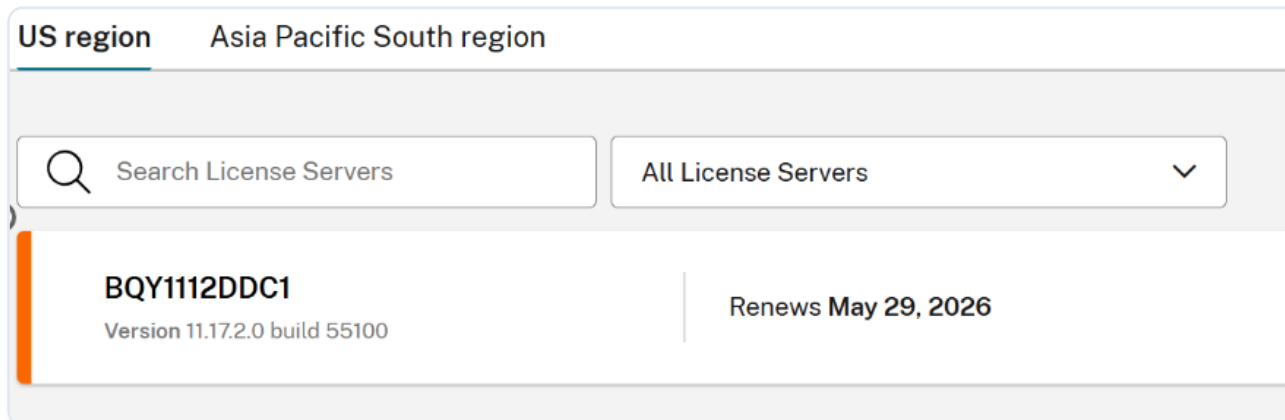
  <LASServer>api-ap-s.cloud.com</LASServer>

</Configurations>
```

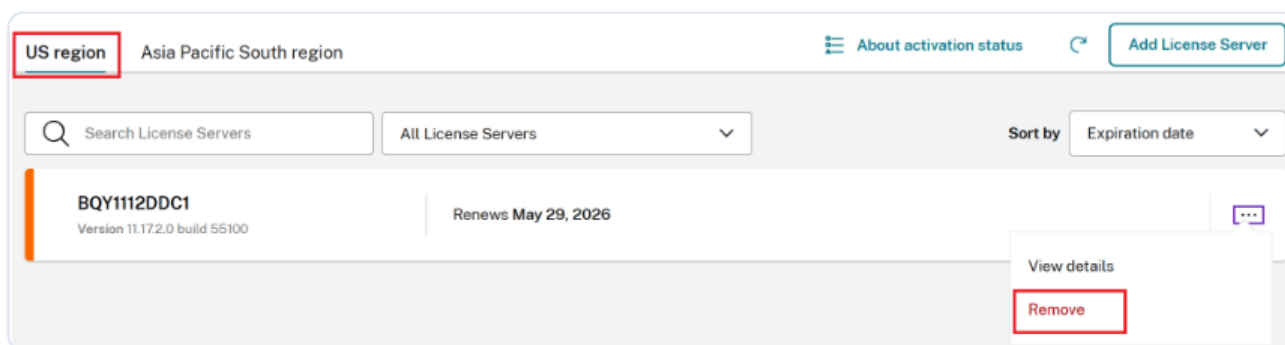
- ライセンスサービス用のCitrix Web Servicesを再起動します。

米国リージョンを指すライセンスサーバーをAPSリージョンに移行する

- お使いのAPSテナントに米国リージョンのLASエンドポイントを指すライセンスサーバーがある場合、Citrixは2つのタブを表示します。米国リージョン用とAPSリージョン用です。ライセンスサーバーは以下に示すように分離されます。

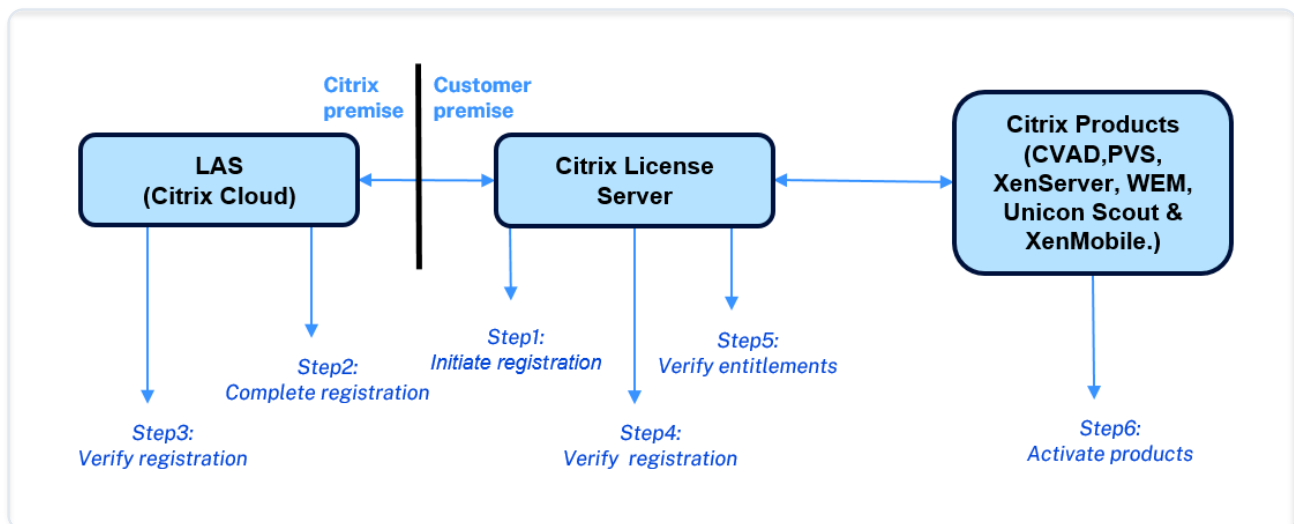


- **Citrix Cloud APS固有の構成**に記載されている手順に従ってください。
- 構成を更新すると、ライセンスサーバーは米国リージョンではなくLAS APSリージョンを指すようになります。
- 24時間後、このライセンスサーバーを通じてアクティベートされた製品はCitrix Cloudに表示されます。この間、LASアクティベーションに問題はなく、毎日更新が継続されます。それまでは、ライセンスサーバーのステータスは**未アクティベート**（青色）と表示されます。
- 製品のアクティベーションが表示された後、以下に示すように、3つの点をクリックし、**削除**をクリックして、米国リージョンからライセンスサーバーを削除できます。（ライセンスサーバーからの登録は削除しないでください。）



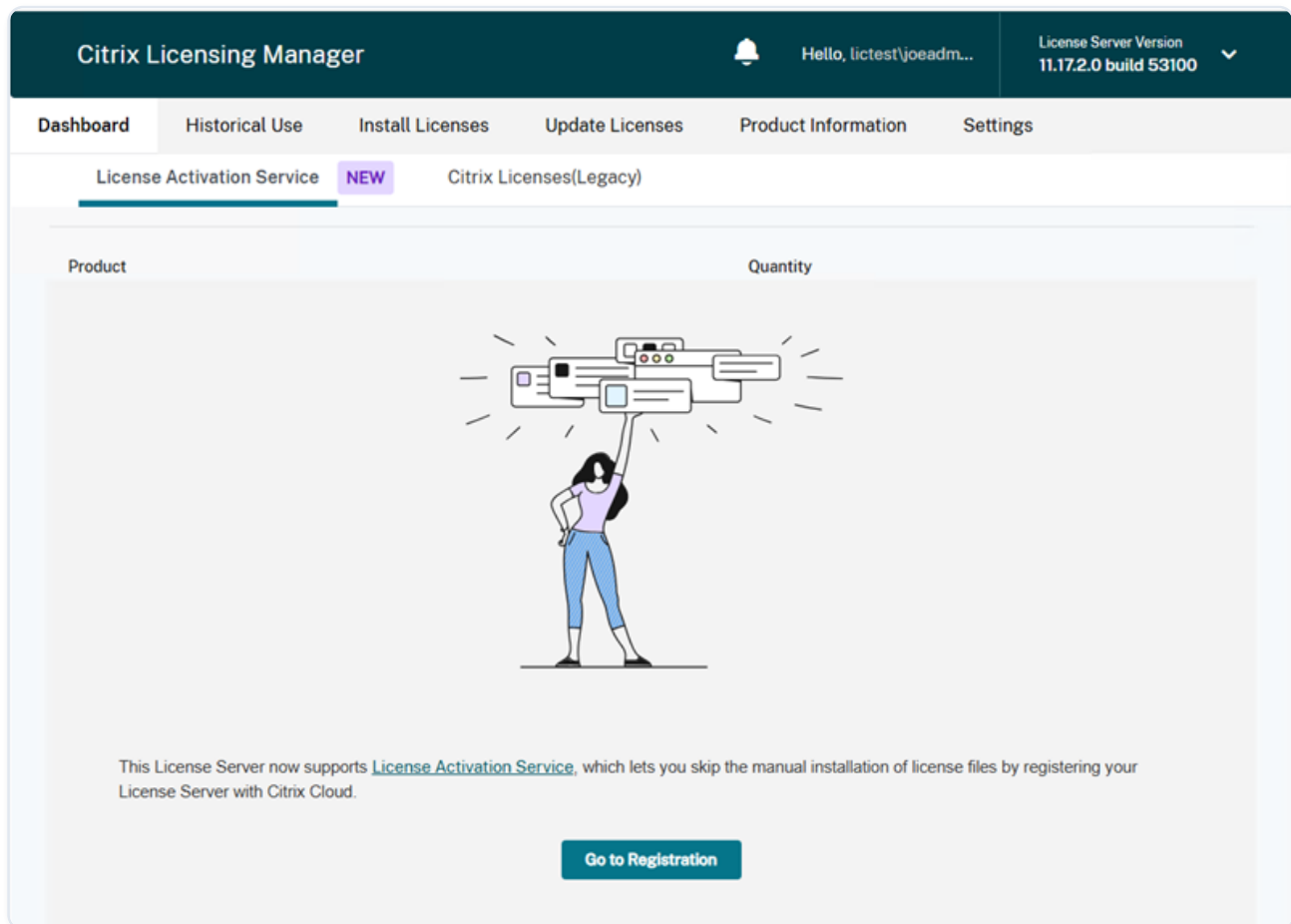
ステップバイステップの登録とアクティベーション

オンラインアクティベーションのためにライセンスサーバーを登録するには、以下の必須手順に従ってください。



ステップ1: ライセンスサーバーから登録を開始する

1. [Citrix Licensing Manager](#) (ライセンスサーバー GUI) にログインします。
2. **ダッシュボード > License Activation Service** タブに移動します。
3. **登録に進む** をクリックします。



1. 「登録」をクリックし、表示された8文字の英数字コードをコピーします。

ステップ2：Citrix Cloudでの登録を完了する

1. Citrix Cloudにログインします。
2. ライセンス > ライセンス済みデプロイメント > ライセンスサーバー > ライセンスサーバーの追加 に移動します。

または：Identity and Access Management > API Access > Product Registrations > Register の順に移動します。

1. 以前にコピーした8文字の英数字コードを貼り付けます。
2. 登録の詳細を確認し、「登録」をクリックします。

ステップ3：ライセンスサーバーでCitrix Cloudの登録ステータスを確認する

Citrix Licensing Managerダッシュボードで直接、以下のステータスを使用してCitrix Cloudとの現在の登録状態を表示できます。

ステータス	説明
未登録	ライセンスサーバーが現在Citrix Cloudに登録されていないことを示します。
Citrix Cloudに登録済み	ライセンスサーバーがCitrix Cloudに正常に登録されたことを示します。
オンラインライセンスアクティベーションサービス	ライセンスサーバーが登録され、LAS向けにオンラインで正常にアクティブ化されたことを示します。

Dashboard

Historical Use

Install Licenses

Update Licenses

Product Information

Settings

Settings

Account

Server Configuration

Usage and Statistics

Register

Register

Register this License Server with Citrix Cloud to enable License Activation Service and License Usage Insights. [Learn more](#)

Registered with Citrix Cloud

Online License Activation Service

Hostname GUP-6VIVP37BH

Product type License Server

MAC Address 1698830196cf

IP Address 10.61.44.47

Cloud Customer name Vivek's New Entitled Customer

☒ Send your License Server's event data to Citrix. Data from License Server will be used to display information in customer facing dashboards, provide alerts and notifications about license expiry, license renewals, and License burst mode. [Learn more](#)

Remove registration

ステップ4：Citrix Cloudで登録済みライセンスサーバーのステータスを確認する

Citrix Cloudで、** [ライセンス] > [ライセンス済み展開] > [ライセンスサーバー] **の順に移動して、登録されているすべてのライセンスサーバーを表示します。このコンソールには、Citrix Cloudへの登録ステータスとアクティベーションの種類が表示されます。さらに、LASへのライセンスサーバーの到達可能性（最終到達タイムスタンプを含む）、および各ライセンスサーバーによって提供されたアクティベーションの合計数が表示されます。

License Servers

About activation status

Collapse all

Add License Server

Search License Servers

Registration state

Sort by A to Z

Citrix Cloud registered	Online activated Last reached 5/18/2026, 20:36:00 UTC	Activations 1 > ...
Citrix Cloud registered	Online activated Last reached 5/19/2026, 01:15:18 UTC	Activations 2 > ...
Citrix Cloud registered	Online activated Last reached 5/19/2026, 05:58:33 UTC	Activations 3 > ...
Citrix Cloud registered	Online activated Last reached 5/19/2026, 06:51:50 UTC	Activations 2 > ...
Citrix Cloud registered	Online activated Last reached 5/19/2026, 06:39:19 UTC	Activations 19 > ...

注：

ここに表示される日付は、LASのアクティベーションまたは更新日であり、実際のエンタイトルメントの有効期限または更新日ではありません。

登録済みのライセンスサーバーは、アクティベーションステータスを示すために色分けされています。

ステータスカラー	意味	アクション
緑	すべてのLAS製品がアクティブであり、期限内に更新されています。	NA
青	登録済みですが、LASエンドポイントに到達できません。 または、製品がアクティベートされていません（画面に「アクティベートされていません」と表示されます）。	下記のステップ6を完了してください
オレンジ	1つ以上の製品が30日以内に期限切れになります。	ライセンスサーバーで構成されているすべての製品が接続されていることを確認してください
赤	1つ以上の製品が期限切れになっているか、または7日以内に期限切れになります。	ライセンスサーバーで構成されているすべての製品が接続されていることを確認してください
グレー	すべての製品アクティベーションの有効期限が切れました。	ステップ6を実行してください

ステップ5：ライセンスサーバーでエンタイトルメントを確認する**

登録が完了したら、**Citrix Licensing Manager**ダッシュボードに戻り、**License Activation Service**タブを選択します。購入したエンタイトルメントが表示されていることを確認します。これは、エンタイトルメントがCitrix Cloudから正常に同期されたことを示します。

License Server は LAS と通信し、エンタイトルメントは 12～24 時間ごとに更新されます。

ダッシュボードのライセンス詳細(/en-us/licensing/current-release/media/clm-dashboard-license-details.png)

ステップ6: LAS で製品をアクティブ化する

Citrix Cloud または LAS への License Server の登録が成功し、License Server でエンタイトルメントが確認されたら、LAS で製品のアクティブ化に進みます。License Activation Service の使用を開始するには、各製品の LAS 記事を参照してください。

- [Citrix Virtual Apps and Desktops 2411](#) または LTSR リリース (CVAD 2203 CU7 または CVAD 2402 CU3 または CVAD 2507) 以降。
- [シトリックス プロビジョニング \(PVS\)](#)
- [ユニコン スカウト](#)
- [ワークスペース環境管理](#)
- [XenServer](#)
- [XenMobileサーバー](#)

注:

License Server は、License Activation Service と Citrix レガシーライセンス (ライセンスファイル) の両方を同時にサポートします。

LAS 接続通知

システムは、License Server とクラウド間の接続を監視します。

アラートメッセージ(/en-us/licensing/current-release/media/las-alert.png)

- **アラート条件:** ライセンスサーバーがライセンスアクティベーションサービス (LAS) に到達できない場合、Citrix Licensing Manager は LAS に到達できないことを示すアラートメッセージを表示します。
- **エラーの詳細:** 通知には通常、最後に正常に接続されたときのタイムスタンプと、最後に失敗した試行の時刻が含まれます。
- **推奨されるアクション:** このアラートが表示された場合は、ネットワーク接続を確認し、Citrix Web Services for Licensing サービスを再起動してください。

自動更新とアクティベーションの有効性

登録されると、ライセンスサーバーとLASは連携して、環境のライセンスを自動的に維持します。

- **同期頻度:** ライセンスサーバーがオンラインの場合、エンタイトルメントは12～24時間ごとにLASから更新されます。
- **アクティベーション期間:** 各製品インスタンスは、最大30日間のアクティベーション期間を受け取ります。
 - **ローリング更新:** ライセンスサーバーがLASに接続されている限り、アクティベーションは30日間のローリング期間で自動的に延長されます。
 - **短期エンタイトルメント:** エンタイトルメントの有効期間が30日未満の場合、アクティベーション期間は特定のエンタイトルメントの有効期限と一致します。
- **接続要件:** これらの自動更新が行われるように、ライセンスサーバーとLAS間の接続を維持する必要があります。
- **アクティベーション保証:** アクティベーションプロセスは、特定のエンタイトルメントが有効である限り、成功するように設計されています。

テレメトリ

完全な機能性を確保するには、テレメトリプログラムへの準拠が必要です。詳細については、[Citrix Licensing Data Collection Programs](#)を参照してください。

重要なシステム依存関係

オンラインアクティベーションは、ライセンスサーバーがインストールされているオペレーティングシステムの特定のプロパティに関連付けられています。これらのオペレーティングシステムのプロパティまたはインストール構成が変更されると、アクティベーションは無効になります。

重要:

ライセンスサーバーのシステムプロパティが変更された場合、インストール構成が変更された場合、またはサーバーが移行された場合（例えば、VM設定の調整など）、既存のアクティベーションは直ちに無効になります。そのような場合、LASはこのサーバーを通じて以前に認証されたすべての製品に対して、自動的に新しいアクティベーションを発行します。

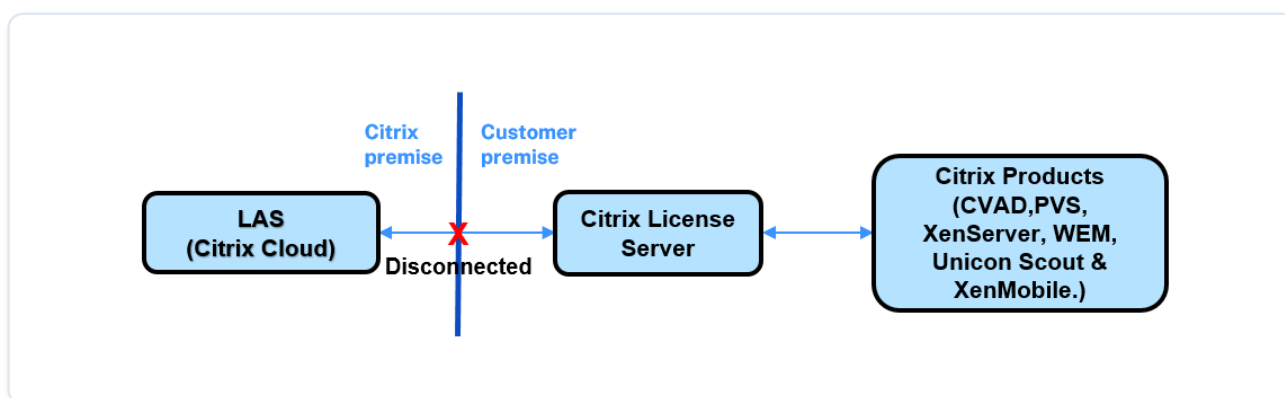
- **完全修飾ドメイン名 (FQDN)** (このみが保存されます。以下のプロパティは保存されません)
- **MACアドレス**

- CPU ID
- マザーボードのシリアル番号
- ハードドライブのシリアル番号
- BIOSのシリアル番号
- ライセンスサーバーのインストール時刻

ライセンスキャッシュモード

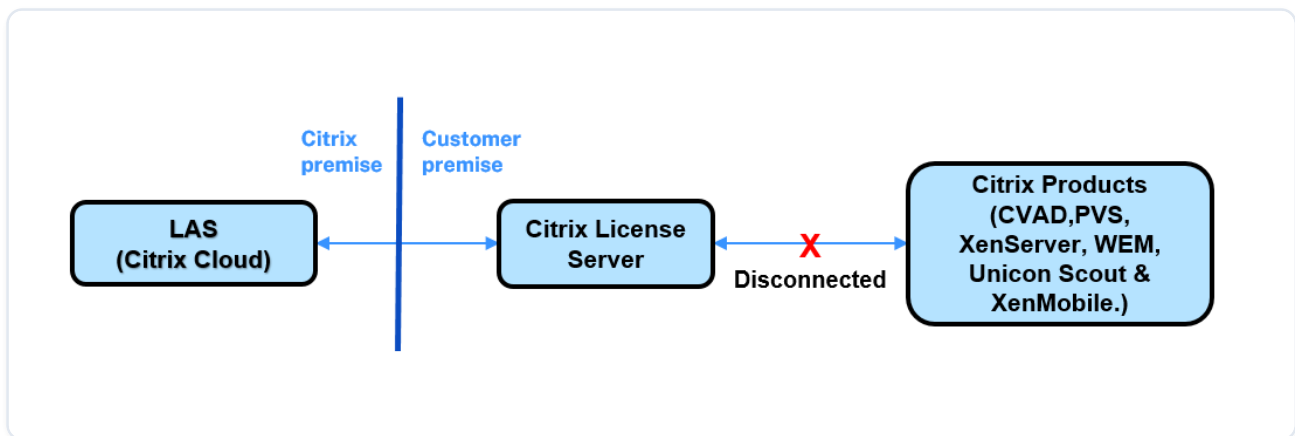
アクティベーションの問題が発生した場合、システムはライセンスキャッシュモードに入ります。これは、製品のアクティベーションに関する問題による顧客のサービス停止を防ぐために設計されています。

シナリオ 1: ライセンスサーバーからLASクラウドサービスに到達できない場合:



- ライセンスサーバーがCitrix Cloud (LAS) に接続できない場合:
 - **既存のアクティベーション:** 既にアクティブな製品インスタンスは引き続き機能します。
 - **新規アクティベーション:** LASへの接続が復元されるまで、新しい製品インスタンスは拒否されます。
 - **期間:** アクティベーションが無効になる前に、ライセンスサーバーはLASに再接続するために30日間の猶予があります。
 - **ハードウェアの変更:** キャッシュモード中にシステムプロパティが変更された場合、すべてのアクティベーション（新規および既存）は直ちに拒否されます。

シナリオ2: 製品がライセンスサーバーに接続できない場合:



- Citrix製品（Citrix Virtual Apps and Desktopsなど）がライセンスサーバーに接続できない場合：
 - **動作:** 製品はキャッシュモードに入り、現在のアクティベーションデータを使用して動作します。
 - **期間:** 製品はライセンスサーバーへの接続を復元するために30日間の猶予があります。

アクティベーションは、ライセンスサーバーのシステムプロパティと製品インスタンスのプロパティに基づいてライセンスサーバーにバインドされます。LASへの継続的な接続がある限り、ソフトウェアのアクティベーションは保証されます。この接続は、アクティベーションステータスを監視および維持するために必要です。

サービスへの影響を避けるため、ライセンスサーバーとLAS間の接続を維持する必要があります。さらに、継続的な機能を確保するため、製品とライセンスサーバー間の接続も維持する必要があります。

LASステータスアラートを無効にする

ライセンスサーバーをCitrixレガシーライセンスのみに使用している場合、LASへの到達不能性に関するアラートを抑制できます。

注：

LASアラートを無効にすると、LAS関連のエラーも抑制されます。これは、後でLASアクティベーションが必要になった場合に、サービス停止につながる可能性があります。

アラートを無効にするには：

1. 設定ファイル `%installation path%/WebServicesForLicensing/SimpleLicenseServiceConfig.xml` を開きます。

- XMLファイルの**Configurations**セクション内に、目的のアラート設定を追加します。以下のコマンドが含まれていない場合、アラートはデフォルトで有効になります。

```
<NoLASStatusAlert>0</NoLASStatusAlert>
```

または

```
<NoLASStatusAlert>1</NoLASStatusAlert>
```

- 変更を保存し、Citrix Web Services for Licensing (WSL) を再起動して、新しい構成を適用します。

トラブルシューティング

ライセンスサーバーのステータスが緑色以外で表示される場合は、以下の手順に従って、問題が発生している可能性のあるアクティベーションの詳細を確認してください。

- Citrix Cloudで、**ライセンス > ライセンス済み展開 > ライセンスサーバー**に移動します。
- ライセンスサーバーの「>」をクリックしてアクティベートされた製品を表示し、DDCレベルのアクティベーション（Citrix Virtual Apps and Desktopsの場合）の「>」をクリックします（図に示すとおり）。
- 図に示すように、ライセンスサーバーの**「View Details」**をクリックして、このライセンスサーバーを通じてアクティベートされた製品を表示します。

The screenshot displays the 'License Servers' management page in Citrix Cloud. At the top, there are filters for 'Search License Servers', 'Registration state', and 'Sort by'. Below this, a list of license servers is shown. The third server is selected, and its 'Activations' column is highlighted with a red box, showing '3' and a dropdown arrow. Below the list, a table for 'Citrix Virtual Apps and Desktops' is displayed. The table has columns for ID, License Server connection status, Last successful connection, and Activation expiry. The first row shows 'Lost connection' and the second row shows 'Connected'. A red box highlights the 'View details' link in the 'Activations' column of the 'Connected' row.

トラブルシューティングおよび特定のライセンスアクティベーションシナリオの詳細については、以下の製品ドキュメントを参照してください。

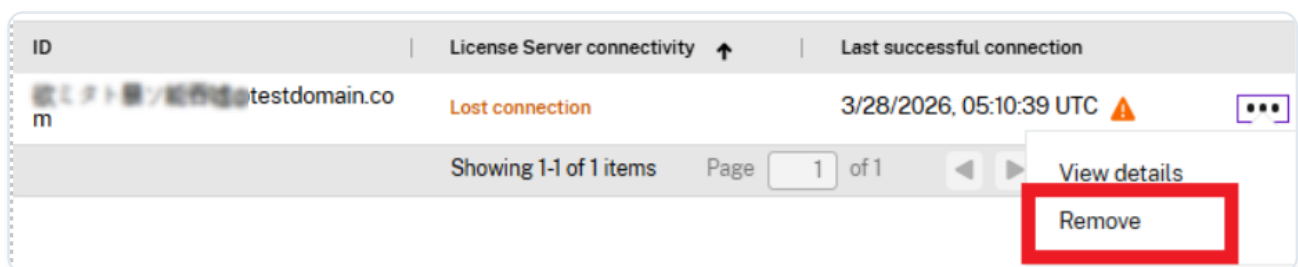
- シトリックス バーチャル アプリケーションズ アンド デスクトップ

- シトリックス プロビジョニング (PVS)
- ユニコン スカウト
- ワークスペース環境管理
- XenServer
- XenMobile サーバー

アクティベーションエントリの削除

製品アクティベーションページからアクティベーションエントリを削除するには、そのエントリの** [削除] **をクリックします。この操作を使用して、関連性がなくなったエントリ（「接続が失われました」と表示されているものなど）をクリーンアップします。

この操作は、リストからアクティベーションを削除するだけで、その機能には影響しません。ライセンスサーバーがLASに再接続し、アクティベーションが有効な場合、そのアクティベーションはリストに再度表示されます。



ライセンスサーバーをアップグレードする

アップグレードする前に

以下の情報は、アップグレードを開始する前の準備に役立ちます。

- Citrix製品をアップグレードするたびに、Citrix License Serverもアップグレードしてください。新しいLicense Serverがリリースされるたびに、セキュリティの向上、既知の問題の修正などが含まれている可能性があります。
- Citrix製品の新しいバージョンが、License Serverの古いバージョンと互換性がない場合があります。License Serverの新しいバージョンは、製品の古いバージョンおよび古いライセンスと互換性があります。
- バージョンアップグレードとは、以前のバージョンから製品の最新バージョンに移行することです。たとえば、XenDesktop 7.18からCitrix Virtual Desktops 7 1909への移行などです。
- エディションアップグレードとは、製品のより上位のエディションレベルを購入することです。たとえば、現在Advanced Editionをお持ちで、Premium Editionへのアップグレードを購入する場合などです。

前提条件と注意事項

- システム要件については、[システム要件](#)を参照してください。
- 最新バージョンのLicense Serverをダウンロードするには、[Citrixダウンロード](#)にアクセスしてください。
- UNCパス (\\server\share) からLicense Serverをインストールすることはサポートされていません。そのため、License Serverはローカルコピーからインストールしてください。
- 必要に応じて、製品をアップグレードする前にライセンスコンポーネントをアップグレードしてください。
- このバージョンをインストールする前に、バージョン11.12.1より古いCitrix Licensingのバージョンをすべてアンインストールしてください。

- その後のLicense Serverアップグレードの失敗を避けるため：License Serverをインストールした際に、インストール後のLicense Server構成ツールで正常に構成したか、または以前のLicense Serverをアンインストールしたことを確認してください。

注：

- サーバーのディスク容量が不足している場合、ライセンスサーバーのアップグレードが失敗する可能性があります。
- コンプライアンスのためにCitrixテレメトリデータを手動でアップロードすることを選択したユーザーの場合、サーバーに保存されているテレメトリデータが多いと、License Serverバージョン11.17.2ビルド45000から最新バージョンへのアップグレードに時間がかかることがあります。アップグレードする前に、これらのデータをCitrixにアップロードし、迅速なアップグレードのために削除してください。Citrixテレメトリデータの手動アップロードの詳細については、「[レポートオプション](#)」を参照してください。
- ライセンスサーバーをアンインストールすると、Citrixテレメトリデータは削除されます。License Serverバージョン11.17.2ビルド45000以降をアンインストールする前に、コンプライアンスのためにCitrixにテレメトリデータを報告する必要があります。Citrixテレメトリデータの手動アップロードの詳細については、「[レポートオプション](#)」を参照してください。

ライセンスサーバーをアップグレードする方法

Citrixは、最新のライセンスサーバーをインストールすることを推奨します。新しいライセンスサーバーは下位互換性があり、古い製品やライセンスファイルをサポートします。ただし、新しい製品では、ライセンスを正しくチェックアウトするために最新のライセンスサーバーが必要です。ライセンスサーバーをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Citrixの[ダウンロードページ](#)にアクセスし、インストーラーをダウンロードして最新バージョンをインストールまたはアップグレードします。
2. ライセンスサーバーインストーラー (CitrixLicensing.exe) を管理者として起動し、グラフィカルインターフェイスに従います。

製品メディアからライセンスサーバーをアップグレードするには：

インストールに製品メディアを使用する場合、インストール後にCitrix Licensing Managerを使用して一部の機能を有効にする必要がある場合があります。たとえば、Citrix Licensing Managerを使用してCustomer Success Servicesの更新を有効にします。

1. ライセンスサーバーから、製品のメディアを開きます。
2. セットアップが表示されない場合は、Windowsエクスプローラーを使用してAutorun.exeまたはAutoSelect.exeを開きます。
3. セットアップ画面からCitrix Licensingに移動し、指示に従います。

コマンドラインからLicense Serverをアップグレードするには：

コマンドラインを管理者権限で実行していることを確認してください。管理者権限でコマンドプロンプトを起動するには、**「スタート」を選択し、「コマンドプロンプト」を右クリックして、「管理者として実行」**を選択します。

コマンドラインアップグレード中にポートを変更することはできません。

以下のコマンドラインの例は、サイレントモードでライセンスをインストールします。

**CitrixLicensing.exe /quiet // install.log INSTALLDIR=インストールディレクトリ
CEILOPTIN=ANON**

- /quiet はサイレント（静止）インストールを指定します。
- // はログファイルの場所を指定します。
- INSTALLDIR は、License Server の実行可能ファイルが保存される場所です。オプションのパラメーターです。デフォルトは c:\program files\citrix licensing または c:\program files (x86)\citrix\licensing です。
- CEILOPTIN は、Citrix Customer Experience Improvement Program (CEIP) または Call Home に参加するかどうか、およびその方法を指定します。オプションのパラメーターです。デフォルトは **NONE** です。
 - 診断 - コールホーム
 - 不明 - CEIP
 - NONE

Citrix Licensing Manager を使用して、CEIP および Call Home の選択を変更できます。

重要

Citrix Service Provider™ プログラムでは、Customer Experience Improvement Program (CEIP) および Call Home が必要です。Citrix Service Provider の場合、CEIP または Call Home を無効にすることはできません。

License Server のアップグレード中のイベント

License Server のアップグレードの一環として、サービスを停止し、License Server をアップグレードしてから、サービスを再起動します。アップグレード中、製品はライセンスキャッシュモードに入り、自己ライセンス認証を行います。License Server が再びオンラインになると、すべての製品サーバーはライセンスキャッシュモードから戻り、ライセンス数を調整します。このライセンスキャッシュモードは、通常のライセンスキャッシュモード機能と同じように機能します。

エディションのライセンスをアップグレードする方法

メンテナンスの特典としてバージョンアップグレードの対象となる場合は、CSS Renewalライセンスをダウンロードして、ライセンスサーバーに追加できます。また、製品のユーザーインターフェイスで製品エディションの設定を変更してください。影響を受けるサーバーへの接続が少ないとき、または接続を別のコンピューターにリダイレクトするときに、製品エディションの設定を変更することをお勧めします。製品エディションの設定を変更したら、変更を有効にするために製品サーバーを再起動してください。エディション設定の変更については、製品ドキュメントを参照してください。エディションを新しいエディションに設定する前にアップグレードライセンスをライセンスサーバーに追加すると、Citrix製品は新しい接続を受け入れなくなります。

エディションライセンスをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Webブラウザから [<http://www.citrix.com>](http://www.citrix.com) にアクセスします。
2. を選択し、ユーザーIDとパスワードを入力します。
3. を選択します。
4. ランディングページの下部にある を選択します。
5. 製品エディションライセンスをアップグレードするためのサイトオプションと指示に従います。
6. 新しいメディアをダウンロードするか、注文します。電子メールメッセージには、citrix.comに戻ってより多くの機能ライセンスを割り当てたり受け取ったりするための指示が記載されています。
7. [<https://www.citrix.com/>](https://www.citrix.com/) にログオンして、ライセンスを割り当て、ライセンスファイルを生成し、ライセンスファイルをライセンスサーバーにダウンロードして、ファイルを再読み込みします。

ライセンスサーバーをアンインストールする

サーバーからライセンスサーバーを完全にアンインストールしたい場合、または現在のバージョンに問題がありクリーンインストールを希望する場合は、アンインストールを選択できます。アンインストールプロセスには、GUIまたはWindowsコマンドラインのいずれかを使用できます。

注

- ライセンスサーバーをアンインストールすると、Citrixテレメトリデータは削除されます。ライセンスサーバーバージョン11.17.2ビルド45000以降をアンインストールする前に、Citrixへのコンプライアンスのためにテレメトリデータを報告する必要があります。Citrixテレメトリデータの手動アップロードの詳細については、「レポートオプション」を参照してください。
- `C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\MyFiles` のファイルパスにある `Myfiles` フォルダーは、アンインストールが正常に完了した後も保持されます。これは、Citrix製品に中断がないことを確認するためです。

GUIを使用してライセンスサーバーをアンインストールする

ライセンスサーバーをアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. タスクバーの検索で、「コントロールパネル」と入力し、結果から選択します。
2. プログラム > プログラムと機能を選択します。
3. **Citrix Licensing**をドラッグ（または右クリック）し、**アンインストール**または**アンインストール/変更**を選択します。**Citrix Licensing**ウィザードが表示されます。
4. ****削除しますか？****というプロンプトが表示されたら、**削除**をクリックし、**はい**をクリックします。
5. **完了**をクリックします。ライセンスサーバーが正常に削除されました。

Windowsコマンドラインを使用してライセンスサーバーをアンインストールする

ライセンスサーバーをアンインストールするには、Windowsコマンドラインで次のコマンドを実行します。

```
CitrixLicensing.exe /quiet /uninstall /l uninstall.log
```

再インストールするには、[ダウンロード](#) から License Server をダウンロードし、[インストール](#) してください。

ライセンスに関するFAQ

以下は、お客様のライセンス環境についてよく寄せられる質問です。

ライセンスアクティベーションサービス

LAS が指す Org ID を別の Org ID に変更する方法?

LAS が指す Org ID を変更するには、新しい Citrix Cloud アカウントでライセンスサーバーを再登録します。

- 現在の Org ID にリンクされている既存の Citrix Cloud アカウントからライセンスサーバーの登録を解除します。
- 新しい Org ID に関連付けられている新しい Citrix Cloud アカウントにライセンスサーバーを登録します。
- ライセンスサーバーは、24 時間以内に（バックグラウンドジョブ経由で）LAS アクティベーション用の新しい Org ID に自動的に切り替わります。それまでは、サイトはディスク上の古いアクティベーションを使用し、UI のエンタイトルメントは更新されません。
- お客様は、新しい Org ID でライセンスサーバーを登録した後、「Citrix WebServices for Licensing」Windows サービスを再起動することで、新しい Org ID への切り替えを強制できます。これにより、ライセンスサーバーは新しい Org ID に即座に同期され、エンタイトルメントが反映されます。

LAS がある Org ID から別の Org ID に切り替わると、すでにアクティブ化されている製品とサイトはどうなりますか?

LAS への接続が維持されている限り、ライセンスサーバーで LAS がある Org ID から別の Org ID に切り替わっても、サイトへの影響はありません。

ライセンスサーバーが LAS への Org 切り替えをトリガーします。ライセンスサーバーが新しい Org ID に切り替わるまで、製品のアクティベーションはライセンスサーバーで利用可能な古いアクティベーションを引き続き使用します。新しいサイトはアクティブ化されません。

ライセンス

Windows 2025 でライセンスサーバーのインストールまたはアップグレードが失敗した場合、どうすればよいですか？

Microsoft Visual C++ 2015–2022 再頒布可能パッケージがインストールされていない場合、Windows 2025 でライセンスサーバーのインストールまたはアップグレードが失敗する可能性があります。Microsoft Visual C++ 2015–2022 再頒布可能パッケージをインストールし、ライセンスサーバーのインストールまたはアップグレードを再試行してください。

ライセンスファイルとは何ですか。また、どのように使用しますか？

ライセンスファイルは、以下の情報を含むテキストファイルです。

- 製品ライセンス情報
- ライセンスサーバー名（またはその他のバインディング識別子）
- Customer Success Servicesメンバーシップ更新日
- ライセンスの有効期限（該当する場合）
- その他のシステム情報

Citrix製品を購入し、[ライセンス](#)を割り当てると、ライセンスファイルが生成されます。ライセンスサーバーは、このファイルを使用して、Citrix製品にライセンスを付与するかどうかを決定します。詳細については、[ライセンスファイル](#)を参照してください。

ライセンスを返却する理由は何ですか？

たとえば、ライセンスサーバーを廃止するが、既存のライセンスを他の場所に展開する準備ができていない場合などです。詳細については、[割り当ての返却](#)を参照してください。

返却されたライセンスはどうなりますか？

返却されたライセンスは、ライセンスプールに戻されます。これらのライセンスは、いつでも任意の数量で割り当てることができます。ライセンスを返却したら、ライセンスサーバーから古いライセンスファイルを削除してください。詳細については、[割り当ての返却](#)と[ライセンスの変更](#)を参照してください。

ライセンスを非表示にするとどうなりますか？

非表示（以前はアーカイブと呼ばれていました）にしても、アカウントからライセンスが削除されるわけではありません。非表示にすると、表示されなくなります。ライセンスの非表示と非表示解除を表示するには、[ライセンスの非表示](#)と[非表示解除](#)を参照してください。

ライセンスファイルのコピーを入手するにはどうすればよいですか？

ライセンスファイルは、License Server から取得できます。または、購入済みのすべてのライセンスと割り当て済みのライセンスファイルは、www.citrix.com の安全な [My Account > Manage Licenses](#) ポータルから入手できます。

ライセンスの割り当て

ライセンスの割り当ての詳細については、「[ライセンスの割り当て](#)」を参照してください。

ライセンスの割り当てとは何ですか？

ライセンスを割り当てると、購入したライセンスを製品と License Server ごとに配分し、複数の環境やユースケースに分割できます。たとえば、組織が同じ製品のライセンスを1,000個所有しているとします。そのうち800個を1つの場所で、200個を別の場所で使用したい場合があります。今日、最初の場所にある License Server に800個のライセンスを割り当て、残りの200個は後で別の License Server に割り当てることができます。

ホストIDタイプとホストIDの違いは何ですか？

ホストIDタイプは、ライセンスを割り当てるために指定する必要があるバインディングタイプです。ホストIDは、ライセンスを割り当てるために必要なLicense Serverのホスト名、MACアドレス、またはその他のバインディングIDです。

一部のライセンスを部分的に割り当てられないのはなぜですか？

一部のライセンスでは、部分的な割り当ては許可されていません。

ライセンスサーバー

License Serverの名前を変更できますか？

ライセンスファイルは、ライセンス割り当て時に含まれるLicense Serverでのみ実行されます。ライセンスファイルには、ライセンスを割り当てる際に指定したLicense Serverのホスト名またはバインディング識別子が含まれています。特定のLicense ServerまたはMACアドレス（アプライアンスの場合）用に生成したライセンスファイルを、別のLicense Serverまたはアプライアンスで使用することはできません。

新しいサーバー名またはMACアドレスを参照するライセンスファイルを作成するには、[割り当てを返却](#)し、citrix.com で新しいファイルを生成します。詳細については、「[citrix.comでライセンスを管理](#)」を参照してください。

License Serverをアップグレードすると、ライセンスファイルに影響しますか？

いいえ。License Serverとすべての製品ライセンスは完全に下位互換性があり、環境に問題を引き起こすことはありません。License Serverのアップグレードの詳細については、「[License Serverのアップグレード](#)」を参照してください。

インプレースアップグレードを実行する場合、履歴データはバックアップされますか？

はい。

単一のライセンスサーバーで、異なる製品エディションを使用している異なるサーバーから接続するユーザーにライセンスを供給できますか？

はい。単一のライセンスサーバーは、異なるエディションまたはライセンスタイプを含む複数のCitrix製品展開をサポートできます。1つのライセンスサーバーには、Citrix製品の複数のエディションのライセンスを含めることができます。チェックアウトされるライセンスの種類は、製品サーバーで構成されているエディションに対応します。製品サーバーは、特定のライセンスエディションを使用するように構成されており、そのライセンスエディションをチェックアウトします。

詳細と例については、「単一のライセンスサーバーと異なる製品エディションを使用する異なるサーバー」を参照してください。

ライセンス管理コンソール

ライセンス管理コンソールはどこにありますか？

ライセンス管理コンソールは、License Server 11.16.6以降では利用できません。弊社では、ライセンスサーバーを管理するために[Citrix Licensing Manager](#)を使用することをお勧めします。

ライセンス管理コンソールをサポートしない11.16.6ビルド34000を使用しているときに、ベンダーデーモンログ (CITRIX.log) が上書きされないように構成する方法？

詳細については、「[ベンダーデーモンログ \(CITRIX.log\) が上書きされないように構成する](#)」を参照してください。

ディザスタリカバリとメンテナンス

ディザスタリカバリサイトのライセンスはどのように取得しますか？

ディザスタリカバリには、本番環境で使用するのと同じライセンスを使用できます。

- ディザスタリカバリ環境は、本番環境とは独立して構成および管理します。
- 本番ライセンスサーバーとバックアップライセンスサーバーの両方を同時に使用してライセンスチェックアウトを処理しないでください。
- 一度に1つのライセンスサーバーのみにアクセス可能にする
- ディザスタリカバリ環境のライセンスサーバーは、本番環境のライセンスサーバーと同一のホスト名である必要があります。

詳細については、[ディザスタリカバリ - バックアップと冗長性](#)を参照してください。

index

- [ダッシュボード](#)
- [使用履歴](#)
- [ライセンスサービス](#)
- [コンソールなしでのライセンスサーバー管理](#)
- [災害復旧のバックアップと冗長性](#)
- [履歴の使用状況](#)
- [Transition and Trade-Up \(TTU\) と Citrix Universal™ サブスクリプション](#)
- [ライセンスをインストールする](#)
- [ライセンスサーバー](#)
- [ライセンスファイル](#)
- [ライセンスの種類](#)
- [citrix.com でライセンスを管理する](#)
- [ライセンスを更新する](#)
- [ライセンスファイル](#)
- [ライセンスサーバーの要素](#)
- [Citrixライセンスサーバーの技術概要](#)

ダッシュボード

ライセンスの次の情報がCitrix Licensing Managerダッシュボードに表示されます:

- [製品エディション](#)
- [モデル](#)
- [使用中/インストール済み](#)
- [利用可能](#)

特定の製品のライセンスの詳しい情報を取得するには、画面の右側の「>」をクリックします。
Citrix Licensing Managerで、次の情報が含まれた表が表示されます:

- カスタマーサクセスサービス（CSS）日
- インストールされているライセンス数合計
- 超過使用保護
- 使用中のライセンス
- 使用可能なライセンス数
- 有効期限
- 種類

ダッシュボードデータは5分ごとに更新されます。



使用履歴

Citrix Licensing Managerは、ツールがインストールされたライセンスサーバーで、使用状況履歴レポートを保存してエクスポートできます。使用状況履歴データの日付の範囲を指定し、CSVファイルにエクスポートできます。CSVファイルにより、超過使用のライセンス数を含む日単位での使用状況情報が提供されます。

また、データを保持する期間を表示して指定することもできます。



使用状況履歴データのエクスポート

1. ライセンスサーバーでホストされているCitrix Licensing Managerにログオンします。ライセンスサーバーにアクセスできるシステムのブラウザーにこのURLを入力します。実際のライセンスサーバーのホスト名を使用します。

`http://License-Server-Hostname:8083/`

2. メニューを使用して、製品とエディション、ライセンスモデル、データ範囲（より広範囲であるほど望ましい）を選択し、履歴を収集します。

【すべて】がカスタマーサクセスサービス日のデフォルトオプションです。複数のカスタマーサクセスサービスの日付がある場合、【すべて】を選択できます。カスタマーサクセスサービス日を選択すると、エクスポートされるデータが特定のライセンスプールに限定され、使用中のライセンスの総数が正確に反映されません。



3. 選択後、**[Export]** をクリックすると、ダウンロードダイアログボックスが開きます。

4. **[Save]** メニューを使用して、**[Save As]** を選択し、エクスポートされた.CSVファイルを保存します。
5. 保存期間を変更するには、**[Change]** を選択し、メニューで変更を加えます。

このデータの保有期間は、デフォルトで1年です。

ライセンスサービス

ここでは次のことについて説明します：

- Web Services for Licensing
- Citrixライセンス管理サービス
- Citrixライセンスサーバー
- Citrix Licensing Windows Management Instrumentation (WMI)

Web Services for Licensing

Studio、Director、ライセンス管理PowerShellスナップインは、次の操作のためにWeb Services for Licensingを使用します：

- ライセンスサーバーと通信し、ユーザーを管理する
- ライセンスを割り当ててインストールする
- ライセンスサーバーの正常性、ライセンスの使用状況、他のアラートメッセージを表示。

Citrix Licensing Managerもこれを使用します。

Citrixライセンス管理サービス

ライセンス管理サービスによって、より適切に容量を計画しライセンスを管理できます。このサービスで、以下の禁止された状況を回避することもできます：

- 障害回復（DR：Disaster Recovery）環境外でのライセンスの重複
- 新しい製品バージョンで以前のライセンスを使用
- 破棄されたライセンスの使用

このサービスは、Citrix Insight Servicesの管理者に、障害回復（DR：Disaster Recovery）環境の重複ライセンスについてもアラートを送ります。Citrix Insight Servicesについて詳しくは、「[Citrix Insight Services](#)」を参照してください。

ライセンス管理サービスは、ライセンスサーバーに組み込まれた製品テレメトリを使用して、データをCitrix Insight Servicesに送信します。ライセンス管理サービスは、Windowsサービスではありません。最初のアップロードは、ライセンスサーバーを最初に起動または再起動した約5分後に実行され、以降、アップロードは日に一度実行されます。ライセンスサーバーを再インストールすると、スケジュールがリセットされます。アップロードに失敗した場合、アップロードが成功するまで、またはライセンス管理サービスが無効になるまで、24時間以内に再試行されます。シトリックスは、ユーザーにライセンス環境情報を提供し、サポートするために、アップロードを使用することがあります。「[コマンドラインを使用したライセンス管理サービスの無効化または有効化](#)」を参照してください。

重要

ライセンスサーバーのインストールには、ユーザーがライセンス管理サービスを承認し、ライセンス管理サービスの使用に同意する必要があります。インストール後、いつでもライセンス管理サービスを無効にできます。

ライセンス管理サービスは、以下の情報を収集します：

- ライセンスのシリアル番号
- ライセンスのサーバーGUID
- 使用ライセンス数
- 機能名
- 製品バージョン

収集されるデータについて詳しくは、「[コンプライアンスのアップロード](#)」を参照してください。

Citrixライセンスサーバー

Citrix Licensingサービスは、コアライセンス機能を担うWindowsサービスです。Citrix Licensingサービスはシトリックス製品にライセンスを与え、CITRIXベンダーデーモン、ライセンスサーバーポート27000（デフォルト）の管理を担います。

Citrix Licensing WMI

WMIサービス経由で、Citrix Licensing WMIクラスにアクセスできます。名前空間

（ROOT\CitrixLicensing）のクラス（特に**Citrix_GT_License_Pool**）が、ライセンス使用状況および使用可能な数の情報を提供します。ライセンスサーバーに頻繁に（15分ごとを超えて）クエリを実行すると、パフォーマンスにマイナスの影響を及ぼすことがあります。

コンソールなしでのライセンスサーバー管理

Citrix Licensing Managerを使用せずに実行できる管理手順がいくつかあります。可能な限りコンソールを使用することをお勧めします。この記事では、コンソールを使用できない場合に必要となる手順について説明します。

- ベンダーデーモンログ (CITRIX.log) が上書きされないように構成する
- Customer Success Servicesの更新ファイル
- ライセンスファイルを削除する
- Windowsでのドメイン名切り捨てを無効にする
- 更新日とメンテナンスの有効期限を見つける

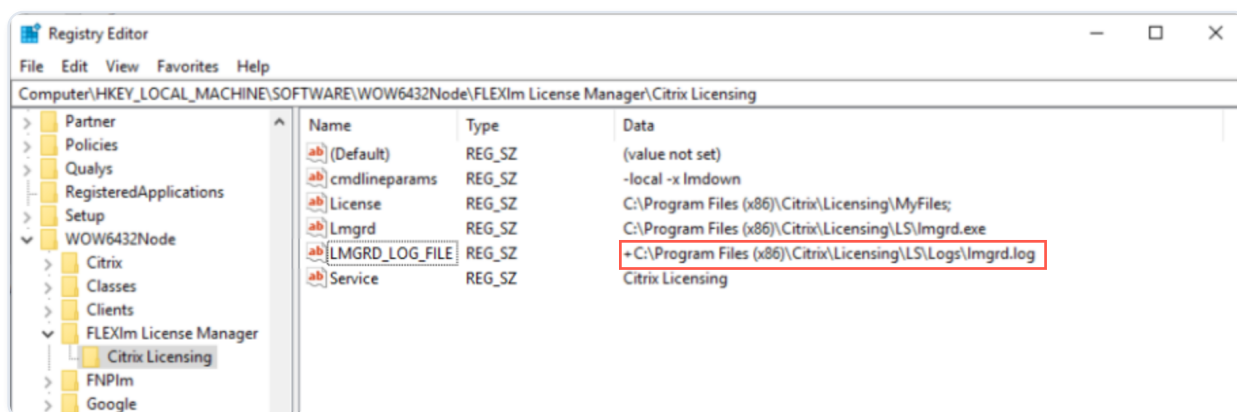
citrix.comのライセンス管理ツールを使用して、ライセンスのダウンロード、割り当て、インストール、割り当ての変更、返却、非表示を行うことができます。詳細については、「citrix.comマイアカウントでのライセンス管理」を参照してください。

ライセンスコマンドを使用して、ライセンス関連のタスクを実行できます。詳細については、「ライセンスコマンド」を参照してください。

ベンダーデーモンログ (CITRIX.log) が上書きされないように構成する

License Administration ConsoleをサポートしないLicense Serverバージョン11.16.6ビルド34000では、ベンダーデーモンログ (CITRIX.log) が上書きされないように、次のように構成できます。

- システムの `LMGRD_LOG_FILE` の場所
(`HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432Node\FLEXlm License Manager\Citrix Licensing\LMGRD_LOG_FILE`) に移動します。
- パスの前に `+` を追加します。たとえば、次の画像に示すように、`C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS\Log\lmgrd.log` は `+C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS\Log\lmgrd.log` に変更されます。



カスタマーサクセスサービス

citrix.com から Customer Success Services 更新ライセンスファイルをダウンロードしたら、それをライセンスサーバーに追加する必要があります。Customer Success Services 更新ライセンスファイルを既存のライセンスファイルと同じディレクトリにコピーし、(`lmreread`) を使用してライセンスファイルを再読み込みします。 `lmreread` コマンドの詳細については、ライセンスファイルとオプションファイルの再読み込み を参照してください。

デフォルトでは、この場所は次のとおりです。

- 32ビットサーバー上の `C:\Program Files\Citrix\Licensing\MyFiles`
- 64ビットサーバー上の `C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\MyFiles`

更新ライセンスをライセンスサーバーに追加すると、そのライセンスは Customer Success Services 期間中にリリースされた製品の以降のバージョンを自動的にロック解除します。

ライセンスを分離するには (2つの異なるサーバーで2つの異なるライセンスを使用する場合):

1. 2台目のサーバーを選択し、ライセンスサーバーソフトウェアをインストールします。
2. citrix.com にアクセスして、元のライセンスを2つの新しいファイルに修正および割り当てます。これらの元のライセンスは、元のライセンスサーバー上の現在のライセンスファイルに含まれています。
 - 最初の展開用に、最初のライセンスサーバーにライセンスを割り当てます。
 - 2番目の展開用に、2番目のライセンスサーバー用の別のライセンスファイルを作成するためにライセンスを割り当てます。
3. Customer Success Services ファイルを生成してダウンロードし、それらを適用したいサーバーにコピーします。
4. すべてのコンピューターを、使用したいバージョンのCitrix製品を実行しているライセンスサーバーにポイントします。Citrix製品サーバーをライセンスサーバーにポイントする方法については、Citrix製品の管理者ガイドを参照してください。

ライセンスファイルの削除

エディションをアップグレードする際 (たとえば、Standard から Advanced、または Advanced から Premium へ)、新しいCitrix製品ライセンスを受け取ります。これらのライセンスは、citrix.com で作成されたライセンスファイルを通じて、1つまたは複数のCitrixライセンスサーバーに割り当てることができます。取り消されたライセンスは、新しいライセンス購入後90日以内にライセンスサーバーから削除する必要があります。ライセンスを削除すると、次のことが可能になります。

- ライセンス資産管理
- ライセンスコンプライアンス
- 管理コンソールに表示される不要なアラートを削除する

ファイルを削除する際の考慮事項:

- ライセンスファイルを誤って削除すると、利用可能なライセンスの総数が意図せず減少する可能性があります。
- ライセンスを削除する前に、新しいライセンスファイルをすべてライセンスサーバーに配置してください。
- ファイル内のすべてのINCREMENT行が廃止または不要になった場合にのみ、ライセンスファイルを削除してください。たとえば、アップグレードによりすべてのINCREMENT行が新しいライセンスに置き換えられた場合などです。

重要

オプションファイル (citrix.opt) または起動ライセンス (`citrix_startup.lic`) は絶対に削除しないでください。

1. ライセンスサーバーで、サービスパネルを開き、Citrix Licensingサービスを停止します。
2. Windowsエクスプローラーを開き、ライセンスファイルが保存されている場所に移動します。
デフォルトでは、ライセンスファイルは次の場所に保存されています。
 - 32ビットサーバー上の `C: \Program Files\Citrix\Licensing\MyFiles`
 - 64ビットサーバー上の `C: \Program Files(x86)\Citrix\Licensing\MyFiles`
3. すべてのライセンス (.lic) ファイルをバックアップします。
4. テキストエディター (Microsoft WordPadを推奨) を使用して、各ライセンス (.lic) ファイルを開き、1つ以上の廃止されたライセンス機能INCREMENT行を特定します。
5. すべてのINCREMENT行が廃止または不要であることを確認してください。INCREMENT行の詳細については、ライセンスファイル形式を参照してください。
6. ファイルを閉じて、ファイル名拡張子を `.lic` から `.old` に変更します。
7. サービスパネルで、Citrix Licensingサービスを再起動します。
8. 名前を変更した `.old` ファイルを削除します。

ドメイン名の切り捨てを無効にする

警告

レジストリを誤って編集すると、オペレーティングシステムの再インストールが必要になるような深刻な問題が発生する可能性があります。Citrixは、レジストリエディターの誤った使用によって生じる問題が解決されることを保証できません。レジストリエディターは自己責任で使用してください。編集する前に必ずレジストリをバックアップしてください。

複数のドメインと、異なるドメインで同じユーザー名を持つ複数のユーザーをホストしている場合、ドメイン名の切り捨てを有効にしたままにすることができます。たとえば、**jack@mycompany.com** と **jack@newplace.com** の場合です。さまざまなドメインに固有のユーザーがいる場合は、License Serverが**@domain.com**を切り捨てないようにしてください。

License ServerはCitrix Service Providerライセンスを検出し、この機能を有効にします。

1. レジストリキーを見つけます。

32ビットマシン用: `HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\licenseserver`

64ビットマシン用:

`HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Citrix\licenseserver`

名前: UDUseDomain

2. レジストリキーを1に設定します。

データ	説明
0	ドメインフィールドは切り捨てられます。 (デフォルト)
1	ドメインフィールドは切り捨てられません。

更新およびメンテナンスの有効期限を検索する

マイアカウントへの無制限のアクセス権が必要です。

1. Webブラウザから、www.citrix.comにアクセスします。
2. サインイン > マイアカウントを選択し、ユーザーIDとパスワードを入力します。
3. 更新とメンテナンスプログラムの管理を選択します。

4. ページ上部の**更新連絡先の管理**を選択します。
5. 更新日は、**現在の有効期限**の下にある各ライセンスの横に表示されます。

災害復旧のバックアップと冗長性

ライセンスに関連付けられているアプリケーションの重要度に応じて、バックアップのLicense Serverを作成することをお勧めします。Citrixはライセンスのバックアップコピーを保存していますが、多数の代替ライセンスをダウンロードするには時間がかかる場合があります。License Serverが故障した場合、バックアップライセンスをネットワークファイル共有に保存するか、構成済みのバックアップLicense Serverを用意しておくことができます。

災害復旧サイトには、本番環境で使用しているものと同じライセンスを使用できます。

- 災害復旧環境は、本番環境とは独立して構成および管理します。
- 本番用とバックアップ用の両方のLicense Serverを同時に使用して、ライセンスのチェックアウトを処理しないでください。
- 一度にアクセスできるLicense Serverは1つだけにしてください。
- 災害復旧環境のLicense Serverは、本番環境のLicense Serverと同一のホスト名である必要があります。

License Serverがメンテナンス活動のためにオフラインの場合

標準の30日間ライセンスキャッシュモードを使用すると、パフォーマンスの低下やサービス拒否なしにシステムが機能し続け、License Serverのメンテナンス要件をサポートできます。

License Serverが回復不能な場合はどうすればよいですか？

ライセンスファイルのバックアップコピーが利用可能な場合、以下の操作を行うために30日間の猶予があります。

1. 環境内の既存のサーバーの名前を、元のLicense Serverと同一のホスト名に変更します。
2. License Serverコンポーネントとバックアップライセンスファイルをインストールして、環境を再ライセンスします。

License Serverが回復不能で、ライセンスファイルのバックアップコピーがすぐに利用できない場合はどうすればよいですか？

ライセンスファイルのバックアップコピーがすぐに利用できない場合、www.citrix.comにあるManage Licensesポータルにアクセスするために30日間の猶予があります。環境を再ライセンスするには、以下の操作を行います。

1. ライセンスファイルをダウンロードします。
2. 環境内の既存のサーバーの名前を、元のライセンスサーバーと同じホスト名に変更します。
3. ライセンスサーバーコンポーネントと、ダウンロードしたライセンスファイルをインストールします。

ライセンスサーバーが回復不能で、環境内の既存のサーバーの名前を変更できない場合、どうすればよいですか？

環境内の既存のサーバーの名前を変更できない場合、環境を再ライセンスするまでに30日間の猶予があります。次の手順を実行します。

1. 環境内の別のサーバーを特定します。
2. ライセンスサーバーコンポーネントをインストールします。
3. Manage Licenses ポータルに www.citrix.com でアクセスします。
4. 選択した新しいサーバーのホスト名を使用して、ライセンスファイルを返却し、再割り当てします。
5. これらのライセンスファイルをダウンロードしてインストールします。

ライセンスサーバーの障害によって、パフォーマンスが低下したり、ユーザーへのサービスが拒否されたりすることはありますか？

いいえ。30日間のLicense caching modeにより、パフォーマンスの低下やユーザーへのサービス拒否が発生することはありません。

冗長性ソリューション

冗長性ソリューションの設定は、ミッションクリティカルな環境でのみ必要となる場合があります。小規模またはミッションクリティカル性の低い展開の場合、ライセンスサーバーの複製を作成し、ネットワーク上またはネットワーク外に保存することで、ライセンスサーバーをバックアップできます。

ミッションクリティカルな環境の冗長性を確保するには、次の方法があります。

- クラスター化されたライセンスサーバーを作成する。クラスタリングとライセンスの詳細については、「Microsoft クラスターでのライセンスサーバーのセットアップ」を参照してください。
- XenServer の最小リリースバージョン 5.6 で高可用性機能を使用する。
- ライセンスサーバーとそのコンテンツを複製する。複製したコンピューターには、アクティブなライセンスサーバーと同じ名前を付け、ネットワークから切り離して保管します。

- ネットワーク上に別のサーバー名を持つ別のライセンスサーバーを保管する。この場合、アクティブなライセンスサーバーが故障したときは、バックアップサーバー名を変更して、アクティブなライセンスサーバーとして使用を開始する必要があります。
- サーバーまたはネットワークの停止を検出し、トラフィックをバックアップサーバーにルーティングするネットワークアプライアンスを使用する。一度に1つのライセンスサーバーのみを使用してライセンス要求を処理している場合は、ネットワークアプライアンスを使用して、停止中にトラフィックをバックアップサーバーにルーティングできます。すべての方法で、**ライセンスキャッシュモード**内で交換が行われる限り、サービスを中断することなく、あるサーバーライセンスを別のサーバーライセンスと交換できます。詳細については、「**ライセンスキャッシュモード**」を参照してください。

次の重要な点に注意してください。

- ライセンスファイルは割り当て時に指定されたサーバーを参照するため、ファイルは同じバイインディング情報を持つサーバーでのみ使用できます。つまり、元のライセンスサーバーと同じサーバー名、FQDN、またはMACアドレス（ポータルではイーサネットアドレスとして表示される場合があります）を持つサーバーです。
- ネットワーク上で同じ名前を持つ2つのライセンスサーバーを同時にアクティブにすることはできません。
- ダウンロードした他のライセンスはすべて、アクティブなライセンスサーバーとバックアップライセンスサーバーの両方に追加してください。

履歴の使用状況

Citrix Licensing Manager の **履歴の使用状況** 機能を使用すると、ライセンスサーバーから履歴使用状況レポートを保存およびエクスポートできます。デフォルトの保持期間は1年です。**変更** を選択して、データ保持期間を表示および指定できます。フィルターを使用して、ライセンスサーバー製品の使用状況レポートを CSV ファイルとしてエクスポートします。

Citrix Licensing Manager

License Server Version
11.17.2.0 build 36000

Hello,

DashboardHistorical UseInstall LicensesUpdate Licenses

Historical Use

Use these filters to export a License Server Product usage report for the specified time period as a .csv file.

Product & Edition

Model

Citrix Start-up License (CITRIX)

Server

Customer Success Services Date

Start Date

End Date

2038.0101

08/23/2021

08/23/2021

Export

Historical data is retained 1 Year [Change](#)

履歴使用状況データのエクスポート

以下の手順を実行して、履歴使用状況を表示およびエクスポートできます。

1. ライセンスサーバーでホストされている Citrix Licensing Manager にログインします。ライセンスサーバーにアクセスできるシステムにインストールされているブラウザに、次の URL を入力します。URL 内のホスト名を実際のライセンスサーバーのホスト名に置き換えてください。`http://License-Server-Hostname:8083/`
2. 製品とエディション、モデル、および カスタマーサクセスサービス日付 を選択します。履歴を収集する日付範囲を入力します。

注:

カスタマーサクセスサービス日付を選択すると、エクスポートされるデータは特定のライセンスプールに限定され、使用中のライセンスの総数を正確に反映しません。

3. **エクスポート** を選択します。

4. ブラウザのダウンロードダイアログで **保存 > 名前を付けて保存** を選択して、エクスポートされた CSV ファイルを保存します。CSV ファイルには、超過ライセンス数を含む日次使用状況情報が提供されます。

注:

データベースの使用状況スナップショットは15分ごとに保存されます。

Transition and Trade-Up (TTU) と Citrix Universal™ サブスクリプション

移行とトレードアップ

- **トランジション**は、現在のオンプレミスライセンスを、同じ製品またはエディションのクラウド版またはUniversal版に移行することです。例えば、Citrix Virtual Apps and Desktops™ Advanced オンプレミスからCitrix Universal Advanced Plusに移行する場合などです。
- **トレードアップ**は、現在のオンプレミスライセンスまたはクラウドサブスクリプションを、新しい製品またはより上位の製品エディションに交換することです。例えば、Citrix Virtual Apps and Desktops Advanced オンプレミスからCitrix Universal Advanced Plusに移行する場合などです。

注:

Citrix®ライセンスにおける**Transition**と**Trade Up**の主な違いは、**Transition**では、現在のオンプレミスライセンスを同じ製品またはエディションのクラウド版またはUniversal版に移行できるのに対し、**Trade Up**では、現在のオンプレミスライセンスまたはクラウドサブスクリプションを**新しい製品または上位の製品エディション**に交換できる点です。

例:

- **トランジション**: 現在、Citrix Virtual Apps and Desktopsをオンプレミスで実行しており、Citrix Virtual Apps and Desktops on Azureに移行したいとします。**トランジション**を使用すると、新しいライセンスを購入することなく、既存のライセンスをクラウドに移行できます。
- **トレードアップ**: 現在、Citrix Virtual Apps and Desktops Advancedをオンプレミスで実行しており、Citrix Virtual Apps and Desktops Premiumにアップグレードしたいとします。**トレードアップ**を使用すると、既存のライセンスを割引価格で新しいライセンスに交換できます。

- ****トランジションおよびトレードアップ (TTU)****は、トランジションとトレードアップの両方を組み合わせたもので、現在のオンプレミスライセンスをクラウドに移行し、これらのライセンスをより上位の製品エディションに交換します。例えば、Citrix Virtual Apps and Desktops Advanced オンプレミスからCitrix Universal Premium Plusに移行する場合などです。

オンプレミスのお客様は、対象となるCitrix製品の既存の展開を、トランジションおよびトレードアップ (TTU) を通じてCitrix DaaS™またはCitrix Universalサブスクリプションに移行できます。

トランジションおよびトレードアップの条件と制限

- アカウントには、最低250 U/Dまたは100 CCUのライセンスが必要です。
- トランジション、トレードアップ、またはTTUトランザクションの時点で、有効なCustomer Success Servicesエンタイトルメントを保持している必要があります。
- トランジション、トレードアップ、またはTTUの対象となるオンプレミスライセンスは、購入時に取り消されます。取り消されたライセンスは、クラウドまたはUniversalライセンス (移行先) の製品、エディション、およびライセンスモデルに対応する期間ベースのオンプレミスライセンスに置き換えられます。
- Transition and Trade-Up に特化した製品については、詳細についてCitrixの営業担当者またはパートナーにお問い合わせください。
- オンプレミスからクラウドまたはUniversalへの移行を開始する方法の詳細については、アカウントのカスタマーサポートマネージャーにお問い合わせください。

Citrix Universal サブスクリプションライセンス

Universal サブスクリプションライセンスにより、従来のオンプレミスCitrixソフトウェアとCitrix Cloud™サービスの両方で同時にライセンス供与とサポートを受けることができます。Citrix Universal サブスクリプションを使用すると、オンプレミスインフラストラクチャなしでオンプレミス展開を並行して実行しながら、段階的にクラウドに移行したり、ハイブリッド展開を構成したりできます。

Citrixの永続ライセンスをお持ちで、Citrix Universal サブスクリプションライセンスに移行またはアップグレードする場合、Citrixはオンプレミスの永続ライセンスを取り消します。オンプレミスの永続ライセンスは、Citrix DaaSサービスの製品、エディション、ライセンスモデル、および期間に対応する期間ベースのオンプレミスライセンスに置き換えられます。取り消されたライセンスは、ライセンスサーバーから削除する必要があります。詳細については、「[ライセンスファイルの削除](#)」を参照してください。

Citrix Universal ライセンスサブスクリプションの対象となるユーザーまたはデバイスは、オンプレミスの期間ライセンスとCitrix Cloud サブスクリプションライセンスの両方を同時に使用できま

す。たとえば、Citrix Virtual Apps and Desktops Advanced (CCU) のオンプレミスライセンスをお持ちで、Citrix Universal Premium (ユーザー/デバイス) にアップグレードする場合、各ユーザーに対してオンプレミスのCitrix Virtual Apps and Desktops Advanced エンタイトルメント (ユーザー/デバイス) とCitrix DaaS Premium サブスクリプションライセンスが提供されます。

Universal サブスクリプションライセンスは、期間の終了までに環境をオンプレミスからクラウドに移行することを要求しません。サブスクリプション期間中、ハイブリッド容量で運用することができます。カスタマーサクセスサービス (サポートとメンテナンス) は、期間中サブスクリプションに含まれます。

ハイブリッド権限の更新

Citrix Universal ライセンスが利用可能になる前は、お客様はオンプレミスライセンスとCitrix Cloud ライセンスの両方へのアクセスを可能にするハイブリッド権限を購入できました。ハイブリッド権限は、期間ベースのオンプレミスサブスクリプションライセンスでした。これらのライセンスは、オンプレミスのお客様がオンプレミスライセンスからクラウドサービスサブスクリプションに移行またはアップグレードした際に、クラウドサービスサブスクリプションに加えて提供されました。Citrixはオンプレミスの永続ライセンスを取り消し、期間ベースのオンプレミスライセンスに置き換えました。この置き換えは、クラウドサービスの製品、エディション、ライセンスモデルに対応して行われます。これは、該当するクラウドまたはハイブリッド権限SKUで定義された期間にわたります。ハイブリッド権限サブスクリプションは、オンプレミスとクラウドの両方のリソースへの同時アクセスを提供しました。Citrix Cloud サブスクリプションの対象となるユーザーまたはデバイスのみが、ハイブリッド権限のオンプレミス期間ライセンスを使用してCitrix Cloud Servicesに接続できます。

注:

Citrix Virtual Apps and Desktopsは、単一サイトでのエディションの混在はサポートしていませんが、製品とモデルの混在はサポートしています。詳細については、「[複数タイプのライセンス](#)」を参照してください。

ライセンスをインストールする

Citrix Licensing Managerでは、ライセンスを取得するために以下のオプションが提供されます。

- ライセンスアクセスコードを使用する
- ダウンロードしたライセンスファイルを使用する

スタートメニューで、**すべてのプログラム > Citrix > Citrix Licensing Manager**を選択するか、リモートマシンからLicense Server名とともに `https://licenseservername:8083` URLを使用します。

Citrix Licensing Manager License Server Version 11.17.2.0 build 36000

Dashboard Historical Use **Install Licenses** Update Licenses

Install Licenses

Choose the method to install licenses on the License Server.

License Server Information

Hostname: WIN-ES004-LVHVEDGUPACTR01	IP Address: 10.88.40.255
-------------------------------------	--------------------------

You can choose to install licenses by using the license access code or a license file (.lic).

☒ Use license access code ☐ Use downloaded license file

License Access Code

KEY-ENT-USE ?

Display Licenses

ライセンスアクセスコードを使用する

1. **ライセンスアクセスコードを使用する**を選択し、Citrixから提供されたライセンスアクセスコードを入力します。
2. **ライセンスの表示**をクリックして、ライセンスの権利を確認します。

インストールするライセンスと数量を選択します。

3. 表示されたリストから製品を選択し、インストールするライセンス数を入力して、**インストール**をクリックします。複数の製品を選択するには、製品を選択するたびに**インストール**をクリックします。製品は選択された順に処理されます。
4. 新しくダウンロードされたライセンスを表示するには、**ダッシュボード**をクリックします。

☒ Use license access code
 ☐ Use downloaded license file

License Access Code

?

Display Licenses

License Entitlements			
Product Name	Quantity/Available	Already Used	Action/Progress
Citrix Access Gateway and Advanced Access Control - With Subscription Advantage	3 / 11	89	✓ Installed
Product-Type	CSS Date	Available	Expiry Date
▶ Citrix Access Gateway - Advanced Edition Concurrent-Retail			
▶ Citrix Access Gateway - Standard Edition Concurrent-Retail			

ダウンロードしたライセンスファイルを使用する

☐ Use license access code
 ☒ Use downloaded license file

License File

Choose File

?

Installed License Details			
Product-Type	CSS Date	Available	Expiry Date
▼ Citrix XenDesktop VDI Concurrent (Legacy)-Retail			
	2022.1201	100	01-dec-2022
	2022.1202	100	01-dec-2022
	2022.1203	100	01-dec-2022
	2022.1204	100	01-dec-2022
	2022.1205	100	01-dec-2022
	2022.1206	100	01-dec-2022
	2022.1207	100	01-dec-2022
	2022.1208	100	01-dec-2022
	2022.1209	100	01-dec-2022
	2022.1210	100	01-dec-2022

1. 「ダウンロードしたライセンスファイルを使用」を選択します。
2. ファイルを選択します。

3. 同じ名前の古いファイルを置き換えるためのチェックボックスを選択します。
4. 「インポート」をクリックします。

Citrix Licensing Managerは、ライセンスに関する情報を表示します。

5. ライセンスファイルがライセンスサーバーに正常にアップロードされると、メッセージが表示されます。新しくダウンロードされたライセンスを表示するには、「ダッシュボード」をクリックします。

「

注:

」:

\>

ファイル名から特殊文字を削除して、ライセンスファイルのアップロード時の問題を回避してください。ファイルが `.lic` 拡張子（すべて小文字）を使用していることを確認してください。

\>

将来の開始日を持つライセンスファイルをアップロードすると、上部にアラートメッセージが表示されます。お客様のライセンスには将来の開始日があり、開始日まではライセンスサーバーのインベントリに表示されません。

ライセンスの割り当てとダウンロード

Citrix Licensing Managerを使用してライセンスを割り当ててダウンロードする際には、次の点に注意してください。

- 前提条件として、インターネットアクセスまたはプロキシサーバー構成があることを確認してください。
- 「割り当て > ダウンロード」をクリックすると、キャンセルできません。この操作が失敗した場合は、citrix.comの「マイアカウント」を使用してください。
- Citrix Licensing Managerは、ライセンスファイルの再ダウンロードまたは再割り当てをサポートしていません。citrix.comでライセンスを返却し、Citrix Licensing Managerを使用して再度割り当てることができます。再ダウンロードには、「マイアカウント」を使用してください。
- ライセンスサーバーの名前を変更した場合、古いライセンスサーバー名で割り当てられたすべてのライセンスファイルを再割り当てする必要があります。

ライセンスサーバー

ライセンスサーバーは、ライセンスの保存と管理に部分的または完全に特化したコンピューターです。デバイスへの接続を試みると、Citrix製品はライセンスサーバーからライセンスを要求します。すべてのCitrix製品環境には、少なくとも1つの共有または専用のライセンスサーバーが必要です。Citrix製品を実行しているサーバーは、ライセンスを取得するためにライセンスサーバーに接続します。

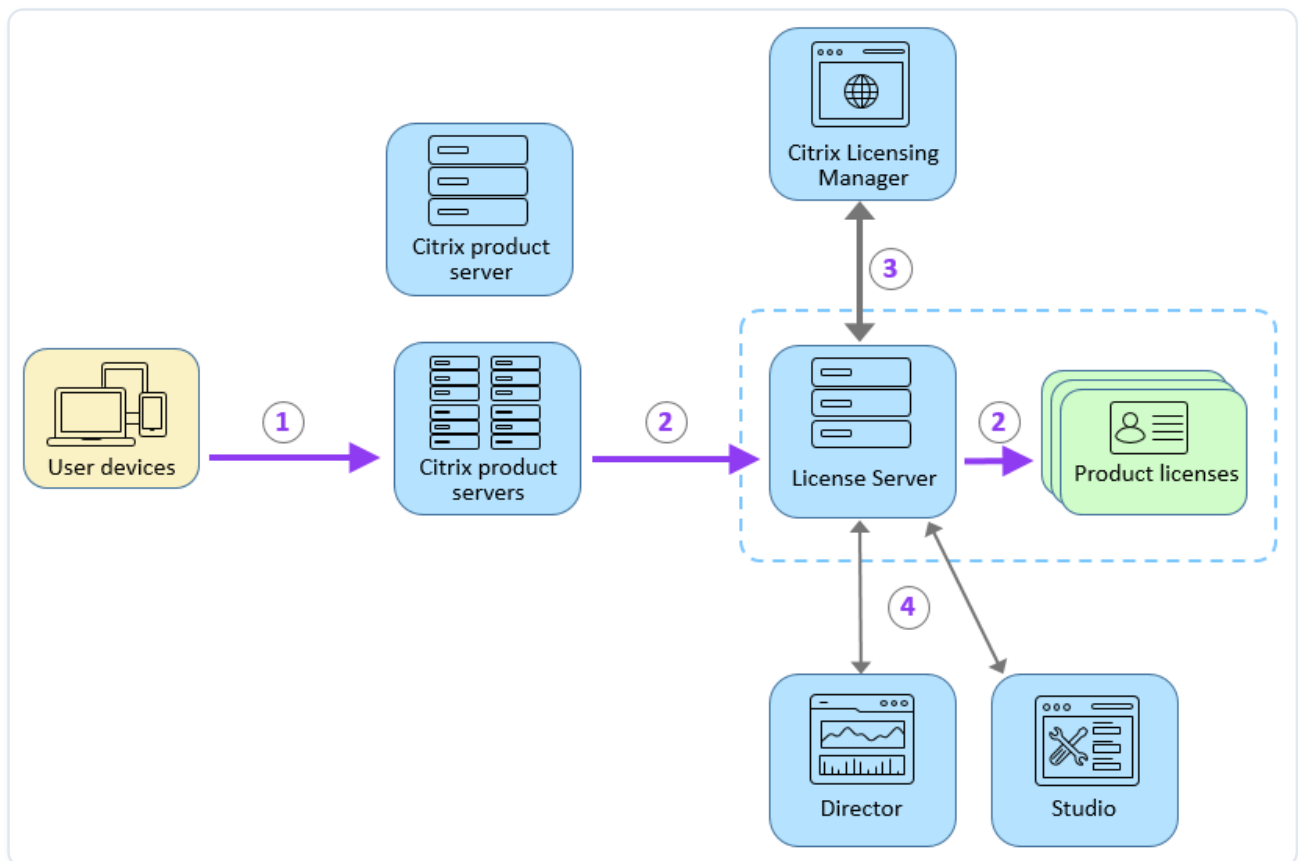
Citrix製品に接続すると、ライセンスサーバーからライセンスが引き出されます。Citrix製品は、ユーザーまたはクライアントデバイスに代わって、ライセンスサーバーからライセンスをチェックアウトするよう要求します。ライセンスがチェックアウトされると、ライセンスの種類とエディションに基づいて、製品の機能にアクセスできるようになります。

注：

Citrix ADCおよびCitrix Gatewayは、Citrixライセンスサーバーからライセンスを取得しません。製品固有のライセンスの詳細については、「[製品固有のライセンス情報](#)」を参照してください。

次の図は、Citrix製品、ライセンスサーバー、Citrix Licensing Manager、およびコンソールのワークフローを示しています。

- 1-ユーザーデバイスがCitrix®製品に接続します。
- 2-Citrix製品は、ユーザーまたはクライアントデバイスのためにライセンスサーバーからライセンスをチェックアウトするよう要求します。
- 3-Citrix Licensing Managerは、ライセンスサーバーを管理するために使用される管理Webインターフェイスです。
- 4-コンソール（StudioやDirectorなど）は、ライセンスサーバーに接続して、ライセンスの使用状況を監視し、アラートやその他のライセンス構成を確認できます。



製品展開の規模と構成に応じて、他のアプリケーションと共有するサーバー、専用のライセンスサーバー、または複数のライセンスサーバーにライセンスを導入する場合があります。詳細については、「[ライセンスの最適化](#)」を参照してください。

ライセンスを付与する製品に関連付けられているライセンスサーバーにライセンスファイルが存在する必要があります。製品は、その特定のライセンスサーバーと通信するように構成されている必要があります。Citrix Licensing Managerを使用すると、ライセンスサーバーへのユーザーインターフェイスを提供することで、Citrixライセンスを管理および監視できます。ライセンスとアラートの表示、ライセンスファイルのインポート、履歴使用状況レポートの作成、ライセンスサーバー設定の管理が可能です。

関連リンク

- [技術概要](#)
- [ライセンス要素](#)
- [はじめに](#)

ライセンスファイル

製品ライセンスのインストールを開始する前に、ライセンスファイルを入手するための前提条件を参照してください。

License Serverをインストールすると、Citrixスタートアップライセンス（citrix_startup.lic）とオプションファイル（CITRIX.opt）がデフォルトでインストールされます。Citrix製品をライセンスするには、1つ以上のライセンスファイルを追加します。製品ライセンスの追加については、「ライセンスのインストール」を参照してください。

License Server上のライセンスファイルの場所を変更することはできません。ライセンスファイルはデフォルトの場所に配置する必要があります。

Citrixスタートアップライセンス

スタートアップライセンスファイル（citrix_startup.lic）は、Citrix製品が継続的なオープン接続を使用してLicense Serverと通信するために使用するテキストファイルです。5分ごとに、License Serverと製品はハートビートメッセージを相互に送信し、互いに通信していることを確認します。製品とLicense Serverがハートビートメッセージを交換し、その交換が中断されると、製品はライセンスキャッシュモードになります。停電は中断の一例です。スタートアップライセンスファイルは、ライセンス数に影響しません。

Citrix License Server診断ライセンス

License Serverは、Citrix StudioおよびDirectorに表示される内部診断およびアラートメッセージ通知に**Citrix License Server Diagnostics License**を使用します。これは、

`citrix\_startup.lic` ファイル内のスタートアップライセンスとともにデフォルトで利用可能です。

警告

スタートアップライセンスファイル、またはその他のライセンスファイルを編集しないでください。

ライセンスファイル

ライセンスファイルは、以下の情報を含むテキストファイルです。

- 製品ライセンス情報
- License Server名（またはその他のバインディング識別子）
- Customer Success Servicesメンバーシップ更新日（Customer Success Services有効期限日とも呼ばれます）
- ライセンスの有効期限（該当する場合）およびその他のシステム情報
- SaaS属性（ハイブリッド権限ライセンスの場合のみ）

ハイブリッド権限ライセンス(/en-us/licensing/current-release/media/lic-file-hybrid-rights.png)

これらの情報はすべてデジタル署名を使用して暗号化されています。Citrix製品を購入したら、citrix.com Webサイトにアクセスしてライセンスファイルをダウンロードしてください。詳細については、「Citrix.comでライセンスを管理する」を参照してください。ライセンスサーバーごとに複数のライセンスファイルを持つことができます。ライセンスファイルは、ライセンスサーバーが参照する次のディレクトリにあります。

- 32ビットサーバー上のC:\Program Files\Citrix\Licensing\MyFilesディレクトリ
- 64ビットサーバー上のC:\Program Files(x86)\Citrix\Licensing\MyFilesディレクトリ

ライセンスサーバーは、このファイルを使用して、Citrix製品にライセンスを付与するかどうかを決定します。

ライセンスの超過は、すべてのユーザー/デバイス、ユーザー単位、およびデバイス単位のライセンスに含まれています。ライセンスの超過の詳細については、「[ライセンスの超過](#)」を参照してください。

ライセンスを別のホストに移動する

以前のライセンスサーバー用にダウンロードしたライセンスファイルは、ホスト名またはMACアドレスが異なるサーバーに移動できません。ライセンスファイルを返却してから割り当てることで、新しいサーバー名を参照するライセンスファイルを作成してください。

詳細については、「[ライセンスの変更](#)」を参照してください。

ライセンスファイルの形式

重要

ライセンスファイルに変更を加えると、ライセンスファイルが使用できなくなる可能性があります。Citrix Licensing for Windows 11.6.1以降を使用している場合、ライセンスファイルを編集する必要はありません。Citrix Licensing Managerおよびcitrix.comのマイアカウントサイトを通じてライセンスを管理できます。詳細については、「[citrix.comのマイアカウントでライセンスを管理する](#)」を参照してください。

ライセンスファイルの名前は変更できますが、拡張子は`**.lic**`（小文字）である必要があります。

Citrix ライセンスファイルは、以下の命名規則を使用します。

`FID_fulfillmentID.lic`

例: FID_30d0000_0000_xxxx_c800_00xyy000zz7.lic

ライセンスファイルは、サーバー名 (SERVER) やライセンス数 (INCREMENT) などの特定の情報をリストする行で構成されています。これらの行は、VENDOR、SERVER、INCREMENT、USE_SERVER のように、その目的を示す単語を大文字で記述することから始まります。

以下のセクションでは、ライセンスファイルの構文の以下の要素について詳細な情報を提供します: SERVER 行、VENDOR 行、USE_SERVER 行、および INCREMENT 行。

次の画像はライセンスファイルの例です:

1. **SERVER 行** は、ライセンスをライセンスサーバーにバインドするために必要な識別子を示します。
2. **VENDOR 行** は、Citrix ベンダーデーモン名を指定します。

- **SaaS 属性** (ハイブリッド権限ライセンスの場合のみ)

```
INCREMENT XDT_PLT_CCS CITRIX 2022.1201 01-dec-2022 5 \
VENDOR_STRING=;LT=Retail;GP=720;PSL=10;CL=VDS,VDA,VDE,VDP,SaaS;SA=0;ODP=0;NUDURMIN=2880;NUDURMAX=525600;AP=ADMIN/INT/14
OVERDRAFT=1 DUP_GROUP=V ISSUED=18-dec-2005 NOTICE="Citrix \
Systems Inc." SN=RetailSSaaS SIGN="..."
```

3. **INCREMENT 行** は、製品を使用するために必要なライセンスを指定します。
4. ライセンスサーバーがライセンスの FEATURES (PRODUCT_EDITION_LICENSEMODEL) を Citrix 製品名に変換するために使用するコメント。

```
# This file is in UTF-8 format.
#
SERVER this_host HOSTNAME=license_server1 ①
VENDOR CITRIX ②
USE_SERVER
INCREMENT MPS_ENT_CCU CITRIX 2006.0428 01-may-2006 1000 \
VENDOR_STRING=;LT=Retail;GP=720;CL=ENT,ADV,STD;SA=0;ODP=0 \
DUP_GROUP=V ISSUED=12-Mar-2004 NOTICE="eMail Test - Citrix" \
SN=LA-0000150712-86261:872 START=11-mar-2004 SIGN="0885 F320 \
0AE2 EE72 68A4 92FC 86C2 3648 A2CF 346D A88F BD44 TS111\
D790 1830 7535 553C B774 DE8C 1F5D A5D3 D5F6 D078 217B BH050 \
A14C 2893 7756 ACF5" ③

#
#[English] ④
#CITRIXTERM FEATURE 2.0 MPS_STD_CCU EN Citrix Presentation Server Standard|Concurrent User
#CITRIXTERM FEATURE 2.0 MPS_ADV_CCU EN Citrix Presentation Server Advanced|Concurrent User
#CITRIXTERM FEATURE 2.0 MPS_ENT_CCU EN Citrix Presentation Server Enterprise|Concurrent User
#
```

SERVER 行

SERVER 行は、ライセンスサーバーのバインディング識別子 (ホスト名とも呼ばれる) を指定します。

注意:

SERVER行のバインディング識別子を変更しないでください。変更すると、ライセンスファイルは機能しません。

構文:

```
SERVER this_host ether
```

または

```
SERVER this_host HOSTNAME=hostname
```

パラメータ	説明
ether	ライセンスサーバーが稼働しているアプライアンスのMACアドレス。このテキスト文字列は編集しないでください。
hostname	ライセンスサーバーが稼働しているコンピュータの名前。このテキスト文字列は編集しないでください。

例

```
SERVER this_host HOSTNAME=license_server1
```

VENDOR 行

VENDOR行は、Citrixベンダーデーモン名を指定します。

構文:

VENDOR CITRIX

項目	説明
VENDOR CITRIX	Citrix ベンダーデーモンの名前。この名前は編集しないでください。

項目	説明
vendor_daemon_path	Citrix ベンダーデーモンの実行可能ファイルへのパス。Citrix は、このパスを変更しないことを推奨します。

INCREMENT 行

INCREMENT 行は、製品を使用するために必要なライセンスを記述します。ライセンスファイル (*.lic) には、1 つ以上の INCREMENT 行が含まれています。各 INCREMENT 行は、製品およびライセンス（ユーザー、接続）の数に対するユーザー指定の割り当てを構成します。

各 INCREMENT 行には、以下が含まれます。

- その行のデータに基づく署名
- 1 つ以上の SERVER 行で指定された `hostids`
- Citrix によって選択されたデータ

INCREMENT 行では、長いテキスト行を折り返すためにバックスラッシュ (\) を使用します。

構文:

INCREMENT 機能 ベンダー css_expiry_date 有効期限 ライセンス数

SIGN=sign

注意:

INCREMENT行キーワードの後の6つのフィールドは変更しないでください。これらのフィールドは必須であり、固定された順序を持っています。

以下の表は、これらのフィールドを表示される順序で説明します。

フィールド	説明
機能	製品ライセンス。この行は編集しないでください。
ベンダー	このライセンスがCitrixベンダーデーモン用であることを示します。この行は編集しないでください。

フィールド	説明
CSS_expiry_date exp_date	<p>製品バージョンのアップグレードを受ける権利がある日付を示します。Customer Success Servicesのメンバーシップをお持ちでない場合、またはこのライセンスがCustomer Success Servicesライセンスでない場合、この日付はライセンスを注文または引き換えた時期を示します。この行は編集しないでください。注: Customer Success Servicesのメンバーシップを更新し、アップグレードライセンスを受け取った場合、CSS_expiry_dateが記載されます。例: INCREMENT MPS_ENT_CCU CITRIX 2019.0311 permanent 1000</p> <p>ライセンスの有効期限をdd-mmm-yyyy形式（例：07-may-2006）で示します。この行は編集しないでください。注: exp_dateフィールドにテキスト文字列permanentが含まれている場合、ライセンスは期限切れになりません。</p>
num_lic	この製品ライセンスの同時実行ライセンス数。この行を編集しないでください。
SIGN=署名	このINCREMENT行を認証するための署名。この行を編集しないでください。
SUPERSEDE_SIGN=署名	<p>ライセンス機能と署名、または無効にするINCREMENT行に基づいて、特定のライセンスを戦略的に無効にします。Customer Success Servicesまたはメンテナンスアップグレードライセンスには、SUPERSEDE_SIGNが含まれます。例:</p> <p>SUPERSEDE_SIGN={"CBR_100_SSERVER: 0F76 2946 4790 6B67 08E0 65BC 302B E1B6 6ECE 41D6 8AB6 E9C6 FE44 4EB3 9A83 01E4 D405 3E95 74B8 9BC8 7791 BDD3 1385 33F8 9533 95FF A3E4 F461 35B4 251E"}</p>

INCREMENT行は、管理コンソールでのライセンスのグループ化も決定します。これらのグループはライセンスプールとして知られています。Citrixベンダーデーモンは、製品ライセンスやバージョンなどの共通属性に基づいてライセンスプールを作成します。コンソールは、新しく作成されたプールを他のライセンスプールとは独立して表示および追跡します。Citrixベンダーデーモンは、2つ以上の属性が異なる場合にライセンスプールを作成します。

INCREMENT行のCitrix属性:

INCREMENT行には、Citrixからの追加属性を含めることもできます。これらの属性は、発行日やアップグレードライセンスであるかどうかなど、ライセンスに関する情報を提供します。

注意:

これらの属性を変更または削除しないでください。

例:

```
INCREMENT MPS_ENT_CCU CITRIX 2008.0606 permanent 10 \
VENDOR_STRING=;LT=Retail;GP=720;CL=ENT,ADV,STD,AST;SA=1;ODP=0 \ DUP_GROUP=V
ISSUED=06-Jun-2007 NOTICE="Citrix" \ SN=12345:67890 START=6-jun-2007 SIGN="18F8 1546
F605 E3BD 010E 7E4F A4B3 9DE3 B90E 7937 3337 0180 1FFB C6EB D491"
```

前の例では、重要な項目が強調表示されています。

- 製品（ライセンス機能）は青色で表示されます
- Customer Success Servicesの有効期限は赤色で表示されます（形式：YYYY.MMDD）
- ライセンス（ユーザー、接続）数は緑色で表示されます

構文:

キーワード=値

次の表はCitrix属性について説明しています。属性の大文字は、この属性が編集できないことを示します。

属性	説明
DUP_GROUP=V	この属性により、同じクライアントデバイスでのライセンス共有が可能になります。
発行日=dd-mmm-yyyy	発行日。

属性	説明
ISSUER="..."	ライセンスの発行元。
NOTICE="..."	会社名。
SN=serial_num	シリアル番号は、ライセンスアクセスコードと、そのライセンスのフルフィルメントIDです。
開始= dd-mmm-yyyy	ライセンスの使用を開始できる日付です。ライセンスサーバーは、開始日より前のライセンスを使用できません。START 日より前にライセンスをインストールすることはできますが、実際の START 日まではライセンスサーバーのインベントリに表示されません。
SUPERSEDE="MPS_ADV_CCU MPS_STD_CCU ..."	この属性は、上位の製品エディションに移行する際に、アップグレードライセンスファイルに表示されます。この属性が表示される場合、この行は ISSUED= で指定された日付より前に発行されたすべてのライセンスを無効にし、それらは効力を失います。
VENDOR_STRING="..."	Citrixによって定義されたテキスト文字列。

ベースライセンスの例:

```
INCREMENT CBR\_100\_SSERVER CITRIX 2016.1201 permanent 10 \\\
```

```
VENDOR\_STRING=;LT=Retail;GP=720;MAXBW=1;MLC=0;HA=0;CL=BRSE;SA=1;ODP=0  
\\
```

```
DUP\_GROUP=V ISSUED=18-dec-2005 NOTICE="Citrix" \\\
```

```
SN=100se200seB SIGN="1B19 C213 7517 CC62 756F 864C 9C93 06FC \\\
```

```
E1DE B5D5 D793"
```

SUPERSEDE_SIGN を含む Customer Success Services 更新ライセンスの例:

```
INCREMENT CBR\_100\_SSERVER CITRIX 2017.1201 permanent 10 \\  
  
VENDOR\_STRING=;LT=Retail;GP=720;MAXBW=2;MLC=0;HA=0;CL=BRSE;SA=1;ODP=0  
\\  
  
DUP\_GROUP=V ISSUED=18-dec-2007 NOTICE="Citrix" \\  
  
SN=100se200seU SUPERSEDE\_SIGN={"CBR\_100\_SSERVER:1B19 C213 7517 \\  
  
CC62 756F 864C 9C93 06FC E1DE B5D5 D793"} SIGN="1D5D 869A 40BE \\  
  
D4DB 361D 7897 AFA5 FF8B E52A 20BA 5525 01AA F241 6919
```

ライセンスの種類

Citrix製品は、このドキュメントに記載されているライセンスタイプのいずれかを使用します。一部の製品では、複数の種類のライセンスを選択できます。購入したライセンスと、それらがどのように消費されるかを把握してください。一部のライセンスタイプでは、[ライセンスオーバードラフト](#)と[ライセンスバーストモード](#)が機能として提供されます。

重要

ライセンスの有効期限が切れると、ライセンスキャッシュモードとライセンスバーストモードの機能は適用されません。

ライセンスキャッシュモードの詳細については、ライセンスキャッシュモードを参照してください。

ユーザー/デバイスライセンス

概要

ユーザー/デバイスタイプのライセンスでは、ライセンスサーバーは使用状況に基づいてユーザーまたはデバイスにライセンスを動的に割り当て、ライセンス消費を監視します。デフォルトの割り当てはユーザーライセンスです。ライセンスサーバーは、各接続とその最適化エンジンを考慮します。これにより、userIDとdeviceIdに基づいて最小数のライセンスが使用されるようにします。

ライセンスサーバーは、デフォルトでドメインを切り結めるため、`abc@eng.com`と`abc@citrite.com`は同じユーザーとして扱われます。詳細については、ドメイン名の切り結めを無効にするを参照してください。

注：

ドメインメンバーシップは、ライセンスが提供される方法には影響しません。ライセンスサーバーは、ネットワーク経由で接続できる任意の製品のライセンスをホストできます。ワークグループまたはドメインメンバーシップは、主にCitrix Licensing Managerにアクセスするためのライセンスサーバー管理者として誰を構成できるかを制御します。

シナリオ

- **ユーザーにライセンスが割り当てられている場合。** ユーザーライセンスにより、ユーザーは無制限の数のデバイスからアクセスできます。ライセンスユーザーには、Active Directoryエントリなどの一意のユーザーIDが必要です。

たとえば、ユーザーはデスクトップ、ラップトップ、スマートフォン、シンクライアントなどの複数のデバイスを使用して、デスクトップやアプリケーションに接続できます。ライセンスユーザーは、Citrix Virtual Desktops™の複数のインスタンスに同時に接続できます。

- **デバイスにライセンスが割り当てられている場合。** デバイスライセンスは、2人以上のユーザーが排他的に共有されるエンドポイントデバイスに接続するときに、デバイスに割り当てられます。

例えば、キオスクやコールセンター環境のワークステーションなど、複数のユーザーが使用する単一の共有デバイス。

次の表は、ユーザー/デバイスライセンスが非共有デバイスと排他的に共有されるデバイスにどのように割り当てられるかを示しています。青色のセルは、デバイスが共有されていない場合のユーザーライセンスを表示します。緑色のセルは、デバイスが排他的に共有されている場合のデバイスライセンスを表示します。

ユーザー/デバイスライセンスの割り当て (/en-us/licensing/current-release/media/ud-license-matrix.png)

ライセンス割り当て期間

ユーザーまたはデバイスがアプリケーションまたはデスクトップに接続すると、90日間の割り当て期間のライセンスを消費します。ライセンス割り当て期間は、接続が確立されたときに開始されます。この期間は、接続が継続している間、完全な90日間に更新されます。ライセンス割り当てのユーザー/デバイスリースは、最後に接続されたユーザーまたはデバイスが切断されてから90日後に期限切れになります。

ユーザーまたはデバイスのライセンスを解放する

ユーザーのライセンスを解放できるのは、次の場合のみです。

- 従業員が会社にならなくなった場合。
- 従業員が長期休暇中の場合。

デバイスが使用停止になった場合にのみ、デバイスのライセンスを解放できます。

詳細については、「ユーザーまたはデバイスのライセンスを表示または解放する」を参照してください。

ライセンスの最適化

ライセンスサーバーは、ライセンス消費を最小限に抑える方法を決定するために最適化プロセスを使用します。この最適化は、使用中のライセンスとライセンスサーバーへの接続に基づいています。ライセンスサーバーは、5000のユニークな接続があるまで5秒ごとに最適化を行います。5000以上の接続では、最適化は5分ごとに行われます。最適化により、次の最適化までステータス情報が遅延し、さまざまなコンソールでライセンス使用状況の統計が更新されるタイミングに影響を与える可能性があります。

最適化は、1～4999ユーザーの場合は5秒ごと、5000ユーザー以上の場合は5分ごとに行われます。

最適化は消費ではありません。次の表は、最適化が行われる際の接続と最適化時間の例です。

デバイスとユーザー接続	最適化時間
ユーザー700人 * デバイス各1台	700 (5秒ごとに最適化)
ユーザー5000人 * デバイス各1台	5000 (5分ごとに最適化)
デバイス5000台 * ユーザー各1人	5000 (5分ごとに最適化)
ユーザー2500人 * デバイス各2台	5000 (5分ごとに最適化)

注:

- 大規模なデプロイメントの場合、最適化はユニークな接続数に応じてCPU負荷が高くなる可能性があります。複数のコアを持つマシンを使用することをお勧めします。
- 多数のライセンスサーバーまたは共有ディスクシステムをホストしているお客様は、高い読み取り/書き込み操作が発生します。すべてのライセンスサーバーのユーザー数が5000未満であっても、それぞれが5秒ごとに最適化を行い、キャッシュデータをディスクに書き込むことができます。最適化を無効にしたり、その頻度を変更したりすることはできません。

同時実行ライセンス

概要

同時使用ライセンスは、特定のユーザーID、Active Directoryアカウント、またはドメインに紐付けられていません。同時使用ライセンスは、元のエンドポイントデバイスIDに基づいています。ユーザーまたはエンドポイントデバイスは、複数のセッションに接続して単一のライセンスを使用できます。

ライセンスを要求する製品を起動すると、一意のエンドポイントデバイスIDにライセンスがチェックアウトされます。セッションからログオフまたは切断すると、ライセンスはチェックインされ、新しいユーザーが利用できるようになります。なお、セッションごとのライセンスではありません。

シナリオ

- 異なるコンピューターでの複数のセッションは、複数のライセンスを使用します。さまざまなデバイスからCitrix®セッションを開始するたびに、そのセッションを閉じるまでライセンスがチェックアウトされます。その時点で、ライセンスはチェックインに戻されます。

たとえば、ユーザーが1台のコンピューターからセッションを開始し、最初のセッションを閉じる前に別のコンピューターから別のセッションを開始した場合、2つのライセンスがチェックアウトされます。

- **ライセンスサーバーは互いに通信しません。** 複数のライセンスサーバーを実行している場合、複数のライセンスを消費する可能性があります（たとえば、ロードバランシングを使用している場合）。ロードバランシングを使用している場合は、製品サーバーが同じライセンスサーバーを指すようにすることをお勧めします。
- **異なるエディションは異なるライセンスを消費します。** 同じクライアントを使用して、AdvancedエディションとPremiumエディションでそれぞれ実行されているアプリケーションに接続する場合、2つのライセンスが消費されます。
- **同じ製品、エディション、およびライセンスモデルは単一のライセンスを消費します。** 単一のデバイスから、同じエディションとライセンスモデルで構成され、同じライセンスサーバーを指す異なる製品サーバーに複数の接続を行う場合、消費されるライセンスは1つだけです。
- **ライセンス共有の場合、Citrix Virtual Apps and Desktopsのパススルー接続は、エンドポイントクライアントデバイスIDを製品サーバーに渡します。** 共有ライセンスサーバーを使用して単一の製品、エディション、およびライセンスモデルに接続する場合、すべての接続は単一のライセンスを共有します。
- ユーザーが単一のデバイスから、同じエディションだが異なるバージョンの2つの製品サーバーに接続します。ユーザーが接続を行う順序に基づいて、1つまたは2つのライセンスが消費される可能性があります。

たとえば、2つのサーバーがCitrix Virtual Apps and Desktops™ 7 1811とCitrix Virtual Apps and Desktops 7 1903である場合：

- **ユーザーがCitrix Virtual Apps and Desktops 7 1811に最初に接続します。** 2つのライセンスが消費される可能性があります。古い製品には古いライセンスが最初に、そしてバージョン1903はより新しいCustomer Success Servicesの日付を必要とするため、新しいライセンスが消費されます。詳細については、[Customer Success Services](#)を参照してください。
- **ユーザーがCitrix Virtual Apps and Desktops 7 1903に最初に接続します。** バージョン1903で必要とされるCustomer Success Servicesの日付は、すべての古い製品バージョンと互換性があるため、消費されるライセンスは1つだけです。
- インストールされているすべてのライセンスのCustomer Success Serviceの日付がすべての製品バージョンと互換性がある場合、接続するデバイスごとに単一のライセンスが必要です。

- RDP接続はライセンスを消費しますが、コンソールへのRDP接続はライセンスを消費しません。
- 接続数が購入済みおよび利用可能なスタンドアロン同時実行ライセンス数を超えた場合、ライセンスバーストモードが有効になっていない限り、ユーザーはアクセスを拒否されます。詳細については、「[ライセンスバーストモード](#)」を参照してください。

ユーザーごとのライセンス

概要

同時使用ライセンスは、特定のユーザーID、Active Directoryアカウント、またはドメインに紐付けられていません。同時使用ライセンスは、発信元エンドポイントのデバイスIDに基づいています。ユーザーまたはエンドポイントデバイスは、複数のセッションに接続し、1つのライセンスを使用できます。

注:

これらのライセンスはユーザーライセンスのみであり、ユーザー/デバイスライセンスとは異なります。

シナリオ

- ユーザーは、デスクトップコンピューター、ラップトップ、ネットブック、スマートフォン、シンクライアントなど、複数のデバイスに接続できます。ライセンスユーザーは、Citrix Virtual Desktopsの複数のインスタンスに同時に接続できます。

ライセンス割り当て期間

ユーザーが複数のデバイスに接続すると、90日間の割り当て期間にユーザーライセンスが消費されます。ライセンス割り当て期間は、接続が確立されたときに開始されます。この期間は、接続の有効期間中に完全な90日間に更新されます。ライセンス割り当てのデバイスリースは、最後に接続されたユーザーまたはデバイスが切断されてから90日後に期限切れになります。

ユーザーまたはデバイスのライセンスを解放する

ユーザーのライセンスを解放できるのは、次の場合のみです。

- 従業員が会社にな籍しなくなった場合。
- 従業員が長期休暇中の場合。

デバイスが使用停止になった場合にのみ、デバイスのライセンスを解放できます。

詳細については、「ユーザーまたはデバイスのライセンスを表示または解放する」を参照してください。

デバイスごとのライセンス

概要

ライセンスされたデバイスには一意のデバイスIDが必要であり、どの個人でも製品のインスタンスにアクセスできます。デバイスごとに無制限のユーザーを許可します。1つのデバイスライセンスで、同じデバイスから複数のユーザーをサポートできます。

注:

これらのライセンスはデバイスライセンスのみであり、ユーザー/デバイスライセンスとは異なります。

シナリオ

- 多くの学生が使用する教室のワークステーション。
- 病院のスタッフが使用する病院の臨床ワークステーション。

ライセンス割り当て期間

1つのデバイスが複数のユーザーによって使用される場合、90日間の割り当て期間にデバイスライセンスが消費されます。ライセンス割り当て期間は、接続が確立されたときに開始されます。ライセンス割り当てのデバイスリースは、最後に接続されたユーザーまたはデバイスが切断されてから90日後に期限切れになります。

ユーザーまたはデバイスのライセンスを解放する

ユーザーのライセンスを解放できるのは、次の場合のみです。

- 従業員が会社にならなくなった場合。
- 従業員が長期休暇中の場合。

デバイスのライセンスは、デバイスがサービス停止中の場合にのみ解放できます。

詳しくは、「ユーザーまたはデバイスのライセンスを表示または解放する」([/ja-jp/licensing/current-release/license-administration-commands.html#display-or-release-licenses-for-users-or-devices-udadmin](#))を参照してください。

ソケット単位のライセンス

ソケット単位のライセンスは、CPUソケットの数に基づいて消費されます。コアはカウントされません。例：

- 2つのCPUソケットを持つコンピューターにCPUが1つしかない場合、消費されるライセンスは1つだけです。
- 2つのソケットを持つコンピューターに、それぞれクアッドコアのCPUが2つある場合、2つのライセンスが使用されます。

Citrix Hypervisor™はソケット単位のライセンスを使用します。

指名ユーザーライセンス（レガシー）

製品でライセンスを要求すると、事前設定された期間が終了するまで指名ユーザーライセンスがチェックアウトされます。この種類のライセンスチェックアウトは、コンピューターやデバイスに紐付けられません。ライセンスがチェックアウトされた後、ユーザーは追加のライセンスをチェックアウトすることなく、異なるコンピューターで複数のセッションを実行できます。

ライセンスの超過

[ユーザー/デバイス](#)、[ユーザー](#)、またはデバイスライセンスモデルをサポートするオンプレミス製品には、ライセンス超過機能が含まれています。この機能により、購入数量を超えて追加で10%のライセンスを使用でき、アクセス拒否を防ぎます。ライセンス超過数は、License Administration Console内の別の列に表示されます。インストール済み列には、購入したライセンスの合計と、関連する超過の合計の両方が表示されます。超過の使用状況はStudioでも確認できます。

ライセンス超過機能は、ライセンスの権利としてではなく、利便性のために提供されます。使用された超過ライセンスは、初回使用から30日以内に購入する必要があります。

同時使用ライセンスおよびサーバーライセンスには、超過機能は含まれていません。Citrixは、新しい製品リリースで超過機能を削除する権利を留保します。

ライセンスバーストモード

ライセンスバーストモードは、製品への無制限の接続を15日間連続で可能にします。この機能は、Citrix Virtual Apps and Desktopsライセンスで利用できます。この機能は、XenApp 7.6またはXenDesktop 7.6以降のバージョンで使用できます。

すべてのライセンスが使用中の場合、該当する[ライセンス超過](#)を含め、ライセンスバーストモードは、最大ライセンス数を超過した理由を特定し、ユーザーを中断することなく追加のライセンスを購入する時間を与えます。

ライセンスバーストモードの有効期限が切れると、通常の接続制限が適用されます。アクティブなセッション中にユーザーが切断されることはありません。ただし、ユーザーが切断されると、ライセンスレベルが通常に戻るまで新しい接続はできません。

ライセンスバーストモードは、完了後に自動的に再有効化されません。ライセンスバーストモードを再度有効にするには、別のリテールライセンスをインストールする必要があります。このリテールライセンスは、その後の最大インストール済みライセンス制限を超過した場合に、新しい15日間のライセンスバーストモードを付与します。

ライセンスバーストモードが開始されたら、そのまま終了させることをお勧めします。警告状態を解除するために、すぐにライセンスを追加しないでください。そうすることで、状況を完全に評価し、問題を適切に解決する時間が得られます。

注：

ライセンスバーストモードは、[ライセンスアクティベーションサービス \(LAS\)](#) でアクティベートされたライセンスサーバーには適用されません。

ライセンスバーストモードが有効な間にライセンスをインストールすると、ライセンスサーバーはライセンスバーストモードを終了します。ライセンスバーストモードの理由と必要なライセンス数を完全に特定する前にライセンスバーストモードを再有効化すると、新しいライセンスをインストールした後に再度その期間に入ってしまう可能性があります。

ライセンスバーストモードは、**製品のバージョンとエディションごと、およびリテールライセンスのみに**付与されます。ライセンスを初めてインストールすると、ライセンスバーストモードはデフォルトで有効になります。ライセンスバーストモード機能を無効にするには、[Citrix Licensing Manager](#)を使用します。

ライセンスバーストモード中に消費されたライセンスの総数を追跡する方法はありません。製品からの `lmstat`udadmin` と接続情報を使用して、さらに必要なライセンス数を判断できます。

注：

ライセンスキャッシュモードとライセンスバーストモードは、2つの異なる機能です。

ライセンスキャッシュモードとライセンスバーストモードの機能は、ライセンスの有効期限が切れた場合には適用されません。

ライセンスキャッシュモードの詳細については、ライセンスキャッシュモードを参照してください。

Citrix Virtual Apps and Desktops Directorには、ライセンスバーストモードの状態が表示されます。詳細については、[Directorダッシュボードのパネル](#)を参照してください。

ライセンスバーストモード機能は、ライセンスの権利ではなく、利便性のために提供されています。Citrixは、新しい製品リリースでこのような機能を削除する権利を留保します。

オーバードラフトとライセンスバーストモードの例

例1： オーバードラフトおよびライセンスバーストモード機能を使用するCitrix Virtual Apps and Desktopsのユーザー/デバイス、ユーザー、またはデバイスライセンス



Citrixから最初に1000ライセンスを購入してインストールします(I)。これには10%のライセンスオーバードラフト許容量(OD)が含まれます。ライセンスが割り当てられると、合計で1100ライセンスが利用可能になります。その時点では、接続するユーザー数に対して十分です。

d0 後日（0日目）、1050ライセンスを使用しています。1001番目のライセンスが使用された時点で、オーバードラフト機能が有効になりました。ユーザーはサービスの中断なしに接続を継続できます。今すぐライセンスのニーズを評価し始めてください。ODを超えるまで待たないでください。最初に購入した1000ライセンスに加えて、さらにライセンスを購入することを検討してください。

d10 10日後（10日目）、さらに多くのユーザーが接続し、1150ライセンスが使用されています。これは、利用可能な合計1100ライセンスを超えています（！）。1101番目のライセンスが使用された時点で、ライセンスのニーズを評価する時間を確保するために、15日間のライセンスバーストモードが開始されました。ユーザーはサービスの中断なしに接続を継続できます。

d25 **d10**から15日後（25日目）、追加のライセンスを購入してインストールしなかったため、ライセンスバーストモードが終了します。1100を超えるライセンスのチェックアウトが必要な場合、ユーザーは新しい接続を作成できません。追加のライセンスを購入してインストールするまで、ライセンスバーストモードを再度有効にすることはできません。

例2： ライセンスバーストモード機能を使用するCitrix Virtual Apps and Desktopsの同時使用ライセンス



最初に1000の同時使用ライセンス(I)を購入してインストールします。同時使用ライセンスにはオーバードラフト許容量はありません。その時点では、これらのライセンスは接続するユーザー数に対して十分です。

d0 後日（0日目）、1050ライセンスを使用しています。1001番目のライセンスが使用された時点で、ライセンスのニーズを評価する時間を確保するために、15日間のライセンスバーストモード

が開始されました。ユーザーはサービスの中断なしに接続を継続できます。今すぐライセンスのニーズを評価し始めてください。ライセンスバーストモードが終了するまで待たないでください。最初に購入した1000ライセンスに加えて、さらにライセンスを購入することを検討してください。

d15 15日後（15日目）、追加のライセンスを購入してインストールしなかったため、ライセンスバーストモードが終了します。1000を超えるライセンスのチェックアウトが必要な場合、ユーザーは新しい接続を作成できません。追加のライセンスを購入してインストールするまで、ライセンスバーストモードを再度有効にすることはできません。

オーバードラフトとライセンスバーストモードの可用性

次の表に、各製品のライセンスオーバードラフトとライセンスバーストモードのサポートを示します。詳細については、「[製品とライセンスモデル](#)」を参照してください。

オンプレミス製品	ライセンスの種類	10% オーバードラフト	ライセンスバーストモード (15日間)
シトリックス バーチャル アプリケーションズ アンド デスクトップ	ユーザー/デバイス、ユーザー、デバイス	はい	はい
シトリックス バーチャル アプリケーションズ アンド デスクトップ	同時使用	いいえ	はい
ゼノモバイル® サーバー	ユーザー、デバイス	はい	いいえ

年間および期間ベースの小売ライセンス向けCitrixオンプレミスサブスクリプション

オンプレミスサブスクリプションライセンスにより、お客様はCitrix環境を一定期間、自身のインフラストラクチャ内でホストできます。オンプレミスサブスクリプションライセンスは1～5年の期間制限があり、特定の日付で期限切れになります。ライセンスは有効期限が過ぎると動作を停止します。これらの製品は、永続ライセンスで現在利用可能なすべての機能を提供します。

ご購入には、オンプレミスサブスクリプションライセンスとCustomer Success Services Selectサービスの両方が含まれます。Customer Success Selectサービスは、サブスクリプションの全期間にわたって含まれます。

注：

永続ライセンスとサブスクリプションライセンスの混在はサポートされています。お客様が同じ製品、エディション、ライセンスモデルを使用している場合、既存の環境を拡張するために使用できます。永続ライセンスとサブスクリプションライセンスの使用によるパフォーマンスへの影響はありません。両者の唯一の違いは、一方が期限切れになることです。

ライセンスの有効期限が切れる前に

既存のサブスクリプションの有効期限が近づくと、Citrixは一定の間隔で通知します。これらの通知は、サブスクリプションを延長し、サービスの中断を避けるよう促します。

Citrix Licensing Managerに記載されている日付に従ってオンプレミスサブスクリプションの有効期限が切れると、新しい接続は許可されません。既存のユーザーは影響を受けませんが、ユーザーがログオフまたは切断した場合、再接続は許可されません。

オンプレミスサブスクリプションライセンスの延長

オンプレミスライセンスサブスクリプションを延長するには、<https://www.citrix.com/buy/>にアクセスしてください。

注：

将来の開始日を持つライセンスは、ライセンスファイルに記載されている実際の開始日までライセンスサーバーのインベントリに表示されません。

よくある質問

- ・ オンプレミスサブスクリプションライセンスは、同じサーバー上の既存の永続ライセンスと連携しますか？

はい、既存のライセンスサーバー運用のガイドラインに従って連携します。お客様は、新しい期間ライセンスファイルをライセンスサーバーに追加する必要があります。

期間ライセンスまたはサブスクリプションライセンスは、製品バージョン (Virtual Apps / Virtual Apps and Desktops)、エディション (Standard、Advanced、Premium)、およびタイプ (User/Device、Concurrent) が同じである場合、顧客の既存環境へのオンプレミスサブスクリプションライセンスの提供に悪影響を与えません。例:

- Virtual Apps and Desktops Premium Concurrent 永続ライセンス + Virtual Apps and Desktops Premium Concurrent 期間ライセンスには問題ありません。

- Virtual Apps and Desktops Premium Concurrent 永続ライセンス + Virtual Apps and Desktops Premium User/Device 期間ライセンス。このライセンスの組み合わせは非標準であり、[検討と追加設定](#)が必要です。この組み合わせは、ライセンス利用に最適ではない可能性があります。
 - Virtual Apps and Desktops Premium Concurrent 永続ライセンス + Virtual Apps and Desktops Advanced User/Device 期間ライセンス。このライセンスの組み合わせは非標準であり、推奨されません。購入したすべてのライセンスを使用するには、顧客が複数のサイトまたはファームを持つ必要があります。
- **XenApp® ファーム、Citrix Virtual Apps、Citrix Virtual Apps & Desktops は接続を受け付けなくなりますか？**

はい。ライセンスの有効期限が切れると、新しい接続は許可されません。既存の接続は、ユーザーが切断、ログオフ、またはリセットするまで影響を受けません。

- **15日間のライセンスバーストモードはありますか、それとも永続ライセンスにのみ適用されますか？**

いいえ。ライセンスの有効期限切れに対するライセンスバーストモードはありません。顧客が再購入したライセンスをインストールできるように、有効期限に1か月が追加されます。

citrix.com でライセンスを管理する

この記事では、citrix.com サイトからライセンスを管理する方法について説明します。citrix.com の **Manage Licenses** を使用すると、ライセンスを簡単に見つけ、割り当て、ダウンロード、変更、返却、非表示、および再表示できます。

注:

[Citrix Studio](#) および [Citrix Licensing Manager](#) から、いくつかのライセンス操作を実行できます。

citrix.com で Manage Licenses にアクセスするには

1. Web ブラウザーから <http://www.citrix.com> にアクセスします。
2. **Sign In > My Account** を選択し、ユーザー ID とパスワードを入力します。
3. **Manage Licenses** を選択します。

(/en-us/licensing/current-release/media/manage-licenses-myaccount.png)

注:

Manage Licenses タブへのアクセスは、アカウントへの無制限のアクセス権がある場合にのみ利用可能です。完全なアクセス権を取得するには、アカウント管理者に連絡して必要な権限を要求してください。詳細については、[My Citrix Account](#) を参照してください。

ライセンスを検索する

Find a license by... メニューで検索条件を選択し、検索テキストを入力して、**Search** を選択します。検索をさらに絞り込むには、**Show advanced search options** を選択します。

ライセンスを割り当てる

1. 割り当てるライセンスを選択します。ランディングページには、30日以内の新しいライセンスと期限切れの期間ライセンスのみが表示されます。**Find a license by...** 検索を使用して、検索条件のいずれかを使用してすべてのライセンスを見つけ、次に **Filter by** メニューを使用して表示を特定の種類のライセンスに絞り込むか、**Quick find: All active** を選択してすべてのライセンスを表示できます。
2. 「**アクションの選択**」メニューから、「**ライセンスの割り当て**」を選択します。
3. バインディングID（例：ホスト名またはイーサネットアドレス）と割り当てるライセンス数を入力し、「**ライセンスファイルの作成**」をクリックします。
4. 「**はい、ライセンスファイルを作成します**」を選択します。ライセンスファイルを作成する前に変更したい場合は、「**いいえ、割り当てを変更します**」を選択して変更します。その後、「**はい、ライセンスファイルを作成します**」を選択します。
5. 「**ライセンスファイルをダウンロード**」を選択し、ファイルを一時的な場所に保存します。ダウンロードしたファイル名と場所を覚えておいてください。この場所が必要になります。
6. ライセンスをインストールします。(/[ja-jp/licensing/current-release/manage-licenses-myaccount.html#installing-licenses](#)) 「**ライセンスのインストール**」を参照してください。

ライセンスのダウンロード

1. ダウンロードしたいライセンスを選択します。ランディングページには、30日以内の新しいライセンスと期限切れの期間ライセンスのみが表示されます。「**ライセンスを検索...**」検索を使用して、いずれかの検索条件ですべてのライセンスを見つけ、次に「**フィルター**」メニューを使用して表示を特定の種類のライセンスに絞り込むか、「**クイック検索: すべてのアクティブ**」を選択してすべてのライセンスを表示できます。

2. 「**アクションの選択**」メニューから、「**すべてのライセンスをダウンロード**」を選択し、ファイルを一時的な場所（ほとんどの場合、ダウンロードフォルダー）に保存します。
3. ダウンロードしたライセンスファイルを **MyFiles** フォルダーにコピーします。

- 32ビットコンピューター上の **C:\Program Files\Citrix\Licensing\MyFiles**
- 64ビットコンピューター上の **C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\MyFiles**

ライセンスファイルが小文字の.licファイル名拡張子を保持していることを確認してください。一部のコピープロセスでは、その拡張子のファイルタイプが認識されず、コピー中に「.txt」ファイル名拡張子が追加されます。間違ったファイル名拡張子を持つライセンスファイルをインポートすることはできません。

4. コマンドプロンプトで、**C:\Program Files (x86)\Citrix\Licensing\LS** または **C:\Program Files\Citrix\Licensing\LS** フォルダーに移動し、次のコマンドを入力します。

```
lmreread -c @localhost -all
```

lmreread コマンドの詳細については、(</ja-jp/licensing/current-release/license-administration-commands.html#reread-license-and-options-files-lmreread>)「ライセンスファイルとオプションファイルを再読み込みする (lmreread)」を参照してください。

ライセンスのインストール

Citrix®の特定のソリューションのライセンスのインストールについては、以下を参照してください。

- [Citrix Virtual Apps and Desktopsのライセンスガイド](#)
- [Citrix ADCのライセンスガイド](#)
- [Citrix Gatewayのライセンスガイド](#)
- [Citrix Hypervisorのライセンスガイド](#)
- [XenMobile Serverのライセンスガイド](#)
- [Citrix Provisioningのライセンスガイド](#)
- [Citrix SD-WANのライセンスガイド](#)
- [Citrix SD-WAN Orchestratorのライセンスガイド](#)

Citrix Licensing Managerを使用したライセンスのインストールについては、ライセンスのインストールを参照してください。

アセットコンポーネントの表示

アセットコンポーネントを表示するには、ページ上部の**View my products**をクリックします。ライセンスを選択し、下矢印をクリックして詳細を展開して表示します。注文番号とライセンスアクセスコード表示を切り替えることができます。

Find a license by...
Clear search

License/serial number
Search

Purchase date
From
To
Active only

Hide advanced search options

Export list (.CSV)
Show 25
Date range 12/22/2018 To 12/22/2018

Product name	Order Number	Quantity															
Virtual Desktops Service Purchased: 12/22/2018 Expiring: 12/22/2021		5880															
Endpoint Management Service Purchased: 12/22/2018 Expiring: 12/22/2021		2500															
<table> <thead> <tr> <th>Name</th> <th>License access code</th> <th>Quantity</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Endpoint Management Service</td> <td></td> <td>2500</td> </tr> <tr> <td>Workspace Environment Management</td> <td></td> <td>2500</td> </tr> <tr> <td>Citrix VPX 3000 MBPS License</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>Citrix Connector VPX 200Mbps</td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			Name	License access code	Quantity	Endpoint Management Service		2500	Workspace Environment Management		2500	Citrix VPX 3000 MBPS License		2	Citrix Connector VPX 200Mbps		2
Name	License access code	Quantity															
Endpoint Management Service		2500															
Workspace Environment Management		2500															
Citrix VPX 3000 MBPS License		2															
Citrix Connector VPX 200Mbps		2															
Virtual Desktops Service Purchased: 12/22/2018 Expiring: 12/22/2021		4200															
Virtual Desktops Service Purchased: 12/22/2018 Expiring: 12/22/2021		300															

割り当ての返却

割り当てを返却すると、ライセンスはライセンスプールに戻されます。その後、これらのライセンスをいつでも任意の数量で割り当てることができます。たとえば、ライセンスサーバーを廃止するが、既存のライセンスを他の場所に展開する準備ができていない場合などです。

1. 返却するライセンスのチェックボックスをオンにします。
2. **Select an action**メニューから、**Return allocations**を選択します。
3. **Yes, process return**を選択します。このオプションを選択すると、元に戻すことはできません。

ライセンスの変更

ライセンスを変更すると、単一のライセンスファイルが返却され、別のサーバーへの割り当てが可能になります。たとえば、**license server1**に5000個のライセンスがインストールされているとします。1000個のライセンスを**license server2**に移動したい場合、割り当てを変更し、**license server1**に4000個、**license server2**に1000個のライセンスを割り当てます。

1. 製品を選択するには、リンクをクリックして製品ライセンスの詳細ページを表示します。
2. 変更する割り当て済みライセンスのチェックボックスをオンにします。
3. **Select an action**メニューから、**Modify allocations**を選択します。
4. 新しいサーバーホストアドレスを入力します。
5. **Modify license file**を選択します。
6. **Yes, create license file**を選択します。ライセンスファイルを作成する前に変更を行う場合は、**No, modify the allocation**を選択して変更を行います。その後、**Yes, create license file**を選択します。
7. **Download license file**を選択し、ファイルを一時的な場所に保存します。ダウンロードしたファイルのファイル名と場所を覚えておいてください。この場所が必要になります。
8. ライセンスをインストールします。ライセンスのインストールを参照してください。

ライセンスのアップグレード

メンテナンスの特典としてバージョンアップグレードの対象となる場合は、CSS更新ライセンスをダウンロードしてライセンスサーバーに追加できます。

1. ランディングページの下部で、**「Upgrade my licenses」**を選択します。
2. 製品エディションライセンスをアップグレードするためのサイトオプションと指示に従ってください。
3. 新しいメディアをダウンロードまたは注文します。メールメッセージには、citrix.comに戻って機能ライセンスを割り当てたり、さらに受け取ったりするための指示が記載されています。
4. ライセンスを割り当て、ライセンスファイルを生成し、ライセンスファイルをライセンスサーバーにダウンロードして、ファイルを再読み込みするには、www.citrix.comにログインします。

ライセンスの非表示と再表示

ライセンスを非表示にしても、アカウントから削除されるわけではありません。ライセンスを非表示にすると、表示されなくなります。レガシー製品ライセンスを非表示にしたい場合があります。これらのライセンスを非表示にすると、表示したい製品ライセンスの可視性が向上します。

1. 非表示にするライセンスを選択します。
2. 「Select an action」メニューから、**「Hide licenses」**を選択します。
3. ライセンスを再表示するには、**「Quick find: All hidden」**を選択し、ライセンスを選択します。
4. **「Select an action」メニューから、「Unhide licenses」**を選択します。

複数のライセンスを管理する（一括操作）

複数のライセンスに対して同時に操作を適用できます。異なるライセンスのチェックボックスを選択し、操作を選択します。

複数のライセンスに操作を正常に適用するには、次の条件に注意してください。

- 特定の操作は、同じ属性を持つライセンスにのみ適用できます。たとえば、同じバインディングタイプを持つライセンスのみを割り当てることができます。一括操作に互換性のないライセンスを選択すると、エラーメッセージが表示されます。最初に選択したライセンスが、その後の選択の互換性比較の対象となります。
- すべてにアクションを適用できないライセンスを選択した場合、一部のアクションが無効になったり、表示されなかったり、メッセージが表示されたりすることがあります。たとえば、割り当て済みのライセンスと未割り当てのライセンスを2つ選択すると、メッセージが表示されます。このメッセージは、アクションが割り当て済みのライセンスにのみ適用できることを示しています。

一括アクションエラー](/en-us/licensing/current-release/media/bulk-action-error.png)

ライセンスのフィルター

フィルター条件メニューを使用して、期限切れのライセンス、新しいライセンス、利用可能な割り当て、または試用版ライセンスにリストを絞り込みます。フィルター条件メニューから、出力をフィルターする方法を選択します。

製品ライセンスレポートの作成 - Excel (CSV) にエクスポート

このオプションを選択すると、資産とデータの全リストをExcelにエクスポートできます。

1. レポートに含めるライセンスを選択します。
2. Excel (.CSV) にエクスポートリンクを選択します。マイ製品の表示ページでは、製品リストの上にあります。マイライセンスの管理ページでは、リストの下部にあります。
3. ファイルを保存します。

ライセンスを更新する

Citrix Licensing Manager の**「ライセンスの更新」タブから、カスタマーサクセスサービス更新ライセンスをインストールします。最近インストールされた更新ライセンスの記録は、「過去30日間に更新されたカスタマーサクセスサービス更新ライセンス」**セクションでも確認できます。

ライセンスを更新するには

1. **「利用可能なカスタマーサクセスサービス更新ライセンス」セクションで、「利用可能な更新を確認」**をクリックします。
2. ライセンスをインストールするには、**「ダウンロードしてインストール」をクリックします。詳細については、ライセンスのインストールの「ダウンロードしたライセンスファイルを使用する」**セクションを参照してください。

Citrix Licensing Manager

License Server Version
11.17.2.0 build 36000

Hello, [User Name]

DashboardHistorical UseInstall LicensesUpdate Licenses

Update Licenses

License Server Information

Hostname: [hostname]	IP Address: [ip address]
----------------------	--------------------------

Customer Success Services renewal licenses available[Check for Available Renewals](#)

Product Name	Quantity	CSS Date	Action
Citrix XenDesktop Platinum User/Device	25	2018.1215	Download and Install

Customer Success Services renewal licenses installed in the last 30 days

No renewal licenses were installed

ライセンスファイル

製品ライセンスのインストールを開始する前に、「ライセンスファイルを入手する前に」を参照してください。

ライセンスサーバーをインストールするとき、デフォルトでCitrixスタートアップライセンス（citrix_startup.lic）および**オプションファイル**（CITRIX.opt）がインストールされます。特定のCitrix製品のライセンスは、ライセンスファイルとして後から追加します。製品ライセンスの追加について詳しくは、「ライセンスのインストール」を参照してください。

ライセンスファイルは、ライセンスサーバー上の特定の場所に追加する必要があります。この場所を変更することはできません。

Citrixスタートアップライセンス

スタートアップライセンスファイル（citrix_startup.lic）はテキストファイルであり、Citrix製品がライセンスサーバーと、継続的な接続を使用して通信できるようにするために使用されます。ライセンスサーバーと製品は、相互に通信できていることを確認するために、5分ごとにお互いにハートビートメッセージを送信します。ハートビートメッセージを交換する製品とライセンスサーバーの間で交換が中断された場合は、その製品は**猶予期間**に入ります。中断の一例として、停電が挙げられます。スタートアップライセンスファイルは、ライセンス数に影響を与えません。

Citrix License Server Diagnostics License

ライセンスサーバーでは、内部診断やCitrix StudioおよびDirectorへのアラートメッセージの表示に**Citrix License Server Diagnostics License**が使用されます。この機能は、

`citrix\_startup.lic` ファイルのスタートアップライセンスによりデフォルトで有効になります。

警告

スタートアップライセンスを含め、ライセンスファイルを直接編集しないでください。

ライセンスファイル

ライセンスファイルはテキストファイルで、次の情報が記述されています：

- 製品のライセンス情報
- ライセンスサーバー名（またはその他の識別情報）

- カスタマーサクセスサービス契約の更新日（カスタマーサクセスサービスの有効期限とも呼ばれます）
- ライセンスの有効期限（ある場合）
- その他のシステム情報

これらの情報はすべて、デジタル署名により暗号化されています。Citrix製品を購入した後で、citrix.com のWebサイトにアクセスしてライセンスファイルをダウンロードします。詳しくは、「Citrix.comでのライセンスの管理」を参照してください。1台のライセンスサーバーに複数のライセンスファイルを配置できます。ライセンスファイルは、これらのディレクトリに配置され、ライセンスサーバーが参照します。

- 32ビットサーバー：C:\Program Files\Citrix\Licensing\MyFilesフォルダー
- 64ビットサーバー：C:\Program Files(x86)\Citrix\Licensing\MyFilesフォルダー

ライセンスサーバーはこのファイルを使用して、Citrix製品の使用を許可するかどうかを決定します。

ライセンスの超過使用保護は、ユーザーごと、デバイスライセンスごとのすべてのユーザーおよびデバイスに含まれています。ライセンスの超過使用保護について詳しくは、「ライセンスの超過使用保護」を参照してください。

他のライセンスサーバーへのライセンスの移動

古いライセンスサーバー用にダウンロードしたライセンスファイルを、別のホスト名またはMACアドレスのサーバーに移動することはできません。新しいサーバー名を参照するライセンスファイルを返却および割り当てすることで作成します。

詳しくは、「ライセンスの変更」を参照してください。

ライセンスファイルの形式

重要

ライセンスファイルを編集すると、ライセンスが機能しなくなることがあります。Citrixライセンスサーバー11.6.1 for Windowsまたはそれ以降のバージョンでは、ライセンスファイルを編集する必要はありません。ライセンスの管理は、Citrix Licensing Managerと、citrix.com のMy Accountサイトで行います。詳しくは、「citrix.comのMy Accountでライセンスを管理」を参照してください。

ライセンスファイルの名前を変更することもできますが、**.lic**（小文字）拡張子を変更することはできません。

Citrixライセンスファイルでは、次の命名規則を使用します：

`FID_fulfillmentID.lic`

例：FID_30d0000_0000_xxxx_c800_00xyy000zz7.lic

ライセンスファイルの各行には、サーバー名（SERVER行）やライセンス数（INCREMENT行）など、特定の情報が記述されています。また、各行の最初には、VENDOR、SERVER、INCREMENT、USE_SERVERなど、その行の情報の意味を示す語が大文字で記述されています。

ここでは、ライセンスファイル構文の次の要素について詳しく説明します：SERVER行、VENDOR行、USE_SERVER行、INCREMENT行。

次の画像は、ライセンスファイルの例です：

1. **SERVER行**は、ライセンスをライセンスサーバーにバインドするために必要な識別子を示しています。
2. **VENDOR行**では、Citrixベンダーデーモンの名前を指定します。
3. **INCREMENT行**では、製品を使用するために必要なライセンスを指定します。
4. コメントは、ライセンスサーバーがライセンスのFEATURES（PRODUCT_EDITION_LICENSEMODEL）をCitrix製品名に翻訳するために使用されます。

```
# This file is in UTF-8 format.
#
SERVER this_host HOSTNAME=license_server1 ①
VENDOR CITRIX ②
USE_SERVER
INCREMENT MPS_ENT_CCU CITRIX 2006.0428 01-may-2006 1000 \ ③
    VENDOR_STRING=LT=Retail;GP=720;CL=ENT,ADV,STD;SA=0;ODP=0 \
    DUP_GROUP=V ISSUED=12-Mar-2004 NOTICE="eMail Test - Citrix" \
    SN=LA-0000150712-86261:872 START=11-mar-2004 SIGN="0885 F320 \
    0AE2 EE72 68A4 92FC 86C2 3648 A2CF 346D A88F BD44 TS111\
    D790 1830 7535 553C B774 DE8C 1F5D A5D3 D5F6 D078 217B BH050 \
    A14C 2893 7756 ACF5"

#
#[English] ④
#CITRIXTERM    FEATURE    2.0    MPS_STD_CCU    EN    Citrix Presentation Server Standard|Concurrent User
#CITRIXTERM    FEATURE    2.0    MPS_ADV_CCU    EN    Citrix Presentation Server Advanced|Concurrent User
#CITRIXTERM    FEATURE    2.0    MPS_ENT_CCU    EN    Citrix Presentation Server Enterprise|Concurrent User
#
```

SERVER行

SERVER行には、ライセンスサーバーを識別するためのホスト名が定義されています。

注意：

SERVER行のバインドしている識別子を変更しないでください。変更するとライセンスファイルが機能しなくなります。

構文：

```
SERVER this_host ether
```

または

```
SERVER this_host HOSTNAME=hostname
```

パラメーター	説明
ether	ライセンスサーバーを実行しているアプライアンスのMACアドレス。通常はlmhostidコマンドによって返される文字列です。この文字列は変更しないでください。
hostname	ライセンスサーバーを実行しているコンピュータの名前。この文字列は変更しないでください。

例

```
SERVER this_host HOSTNAME=license_server1
```

VENDOR行

VENDOR行には、Citrixベンダーデーモンの名前が定義されています。

構文：

VENDOR CITRIX

フィールド	説明
VENDOR CITRIX	Citrixベンダーデーモンの名前。この名前は変更しないでください。

フィールド	説明
vendor_daemon_path	Citrixベンダーデーモンの実行ファイルのパス。Citrixではこのパスは変更しないでください。

INCREMENT行

INCREMENT行には、製品を使用するためのライセンスが定義されています。ライセンスファイル (*.lic) には、1つ以上のINCREMENT行が含まれます。各INCREMENT行には、ライセンスの対象となる製品、ライセンスモデル（同時接続ユーザーライセンスまたは指定ユーザーライセンス）、ライセンス数などの情報が記述されています。

各INCREMENT行には、次の情報が記述されています：

- その行のデータに基づいた署名
- 1つまたは複数のSERVER行で指定されている `hostids`
- Citrixが指定したデータ

行末のバックスラッシュ () は、そのINCREMENT行が途中で改行されていることを示します。

構文：

```
INCREMENT feature vendor css_expiry_date exp_date num_lic
```

```
SIGN=sign
```

注意：

INCREMENT行の次の6つのパラメーターは変更しないでください。これらは必須のパラメーターで、決まった順番で記述される必要があります。

次の表では、これらのパラメーターについてINCREMENT行に指定される順に説明します：

フィールド	説明
feature	対象となる製品ライセンス。この行は変更しないでください。
vendor	ベンダーデーモンの名前。Citrix製品のライセンスファイルでは、常にCitrixベンダーデーモ

フィールド	説明
	ンを示すCITRIXです。この行は変更しないでください。
CSS_expiry_date exp_date	<p>カスタマーサクセスサービスプログラムの有効期限。この日までは、カスタマーサクセスサービスにより製品をアップグレードできます。カスタマーサクセスサービスを契約していない場合、またはカスタマーサクセスサービスの対象でない製品のライセンスでは、ライセンスの購入日を示します。この行は変更しないでください。注： カスタマーサクセスサービスを更新し、アップグレードライセンスを受け取った場合は、CSS_expiry_dateが記載されます。例： INCREMENT MPS_ENT_CCU CITRIX 2019.0311 permanent 1000</p> <p>ライセンスの有効期限。「dd-mmm-yyyy」形式（07-may-2006など）で記述されます。この行は変更しないでください。注： exp_dateパラメーターが「permanent」の場合、ライセンスに有効期限が設定されていないことを示します。</p>
num_lic	この製品の同時使用ユーザーライセンス数。この行は変更しないでください。
SIGN=sign	INCREMENT行を認証する署名。この行は変更しないでください。
SUPERSEDE_SIGN=sign	<p>ライセンスの機能と署名に基づいて、戦略的に特定のライセンスをオフにするか、INCREMENT行を無効にします。カスタマーサクセスサービスまたはメンテナンスアップグレードライセンスには、SUPERSEDE_SIGNが含まれます。例：</p> <p>SUPERSEDE_SIGN={"CBR_100_SSERVER: 0F76 2946 4790 6B67 08E0 65BC 302B E1B6 6ECE 41D6 8AB6 E9C6 FE44 4EB3 9A83 01E4 D405 3E95 74B8 9BC8 7791 BDD3 1385 33F8 9533 95FF A3E4 F461 35B4 251E"}</p>

また、INCREMENT行の情報により、ライセンス管理コンソールでライセンスを表示するときのグループが決定されます。このグループを、ライセンスプールと呼びます。Citrixベンダーデーモンは、INCREMENT行の製品名やバージョン番号などの情報を基に、ライセンスプールを作成します。コンソールでは、新しく作成されたプールは他のライセンスプールとは別個に表示され、追跡されます。2つ以上の属性が異なる場合、Citrixベンダーデーモンがライセンスプールを作成します。

INCREMENT行のCitrix属性：

INCREMENT行には、Citrix独自の属性をさらに追加することもできます。これらの属性により、ライセンスの発行日やアップグレードライセンスかどうかなどの情報が定義されます。

注意：

これらの属性を変更したり削除したりしないでください。

例：

```
INCREMENT MPS_ENT_CCU CITRIX 2008.0606 permanent 10 \
VENDOR_STRING=;LT=Retail;GP=720;CL=ENT,ADV,STD,AST;SA=1;ODP=0 \ DUP_GROUP=V
ISSUED=06-Jun-2007 NOTICE="Citrix" \ SN=12345:67890 START=6-jun-2007 SIGN="18F8 1546
F605 E3BD 010E 7E4F A4B3 9DE3 B90E 7937 3337 0180 1FFB C6EB D491"
```

この例で記述されている内容は以下のとおりです：

- 青い文字は、対象となる製品ライセンスを示します（MPSはPresentation Server、ENTはEnterprise Edition、CCUは同時接続ユーザーライセンスを示しています）。
- カスタマーサクセスサービスの有効期限は赤色で表示されます（形式：YYYY.MMDD）
- 緑の文字は、このライセンスファイルに割り当てられているライセンス数を示します。

構文：

keyword=value

次の表に、Citrix属性の内容について示します。大文字の語が属性名を示します。これらの属性を編集することはできません。

属性	説明
DUP_GROUP=V	同一クライアントデバイス上でのライセンス共有を有効にする属性。

属性	説明
ISSUED=dd-mmm-yyyy	ライセンスの発行日。
ISSUER="..."	ライセンスの発行者。
NOTICE="..."	会社名。
SN=serial_num	シリアル番号は、ライセンスアクセスコードとそのライセンスの使用権IDです。
START=dd-mmm-yyyy	ライセンスの使用を開始できる日付。この日付より前からライセンスを使用することはできません。STARTの日付より前にライセンスをインストールできますが、実際のSTARTの日付まではライセンスサーバーインベントリに表示されません。
SUPERSEDE="MPS_ADV_CCU MPS_STD_CCU..."	アップグレードライセンス。製品のエディションをアップグレードすると、この属性が追加されます。この属性が定義されている場合、ISSUED属性で指定された日以前に発行されたすべてのライセンスが無効になります。
VENDOR_STRING=...	Citrixにより定義されたテキスト文字列。

ベースライセンスの例：

```
INCREMENT CBR_100_SSERVER CITRIX 2016.1201 permanent 10 \
```

```
VENDOR_STRING=;LT=Retail;GP=720;MAXBW=1;MLC=0;HA=0;CL=BRSE;SA=1;ODP=0 \
```

```
DUP_GROUP=V ISSUED=18-dec-2005 NOTICE="Citrix" \
```

```
SN=100se200seB SIGN="1B19 C213 7517 CC62 756F 864C 9C93 06FC \
```

```
E1DE B5D5 D793"
```

SUPERSEDE_SIGNを含むカスタマーサクセスサービス更新ライセンスの例：

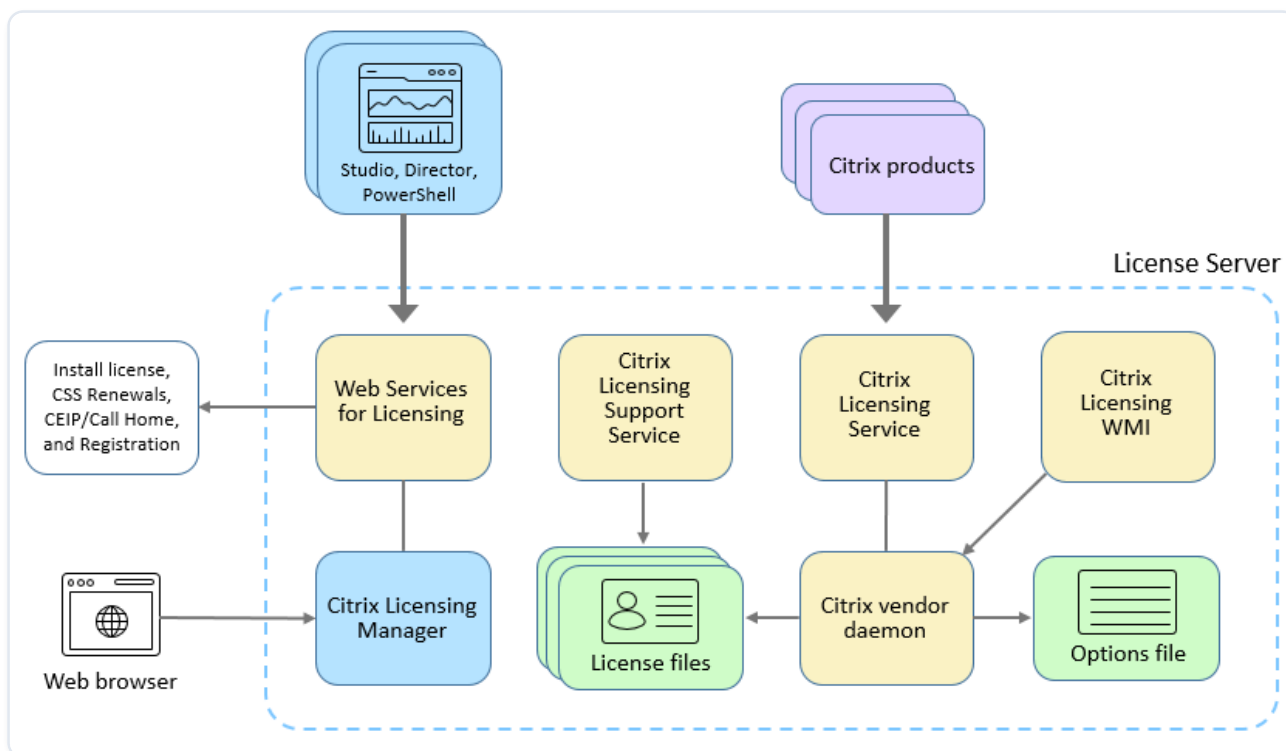
```
INCREMENT CBR_100_SSERVER CITRIX 2017.1201 permanent 10 \\  
  
VENDOR_STRING=;LT=Retail;GP=720;MAXBW=2;MLC=0;HA=0;CL=BRSE;SA=1;ODP=0 \  
\  
  
DUP_GROUP=V ISSUED=18-dec-2007 NOTICE="Citrix" \  
  
SN=100se200seU SUPERSEDE_SIGN={"CBR_100_SSERVER:1B19 C213 7517 \  
  
CC62 756F 864C 9C93 06FC E1DE B5D5 D793"} SIGN="1D5D 869A 40BE \  
  
D4DB 361D 7897 AFA5 FF8B E52A 20BA 5525 01AA F241 6919
```

ライセンスサーバーの要素

Citrixライセンスサーバーは、以下の要素で構成されています：

- Citrixベンダーデーモン
- オプション構成ファイル
- ライセンスの要求プロセス
- Citrixライセンスサーバーカスタマーエクスペリエンス向上プログラム（CEIP）、Call Home、コンプライアンス

次の図は、TCP/IPポートを介してライセンスサーバーと通信するシトリックス製品を示しています。



Citrixベンダーデーモン

シトリックス製品のライセンスは、ライセンスサーバー上で動作するCitrixベンダーデーモン（CITRIX）により付与されます。Citrixベンダーデーモンは、チェックアウトされたライセンスの数と、どのシトリックス製品がライセンスを使用しているかを追跡します。Citrixベンダーデーモンとシトリックス製品との通信はTCP/IPにより行われ、デフォルトでTCP/IPポート7279が使用されます。

オプションファイル

オプションファイル（Citrix.opt）は、ライセンスサーバー構成ファイルです。Citrixベンダーデーモンは再起動時、およびファイルの再読み込みコマンドの実行時にこのファイルを読み込みます。この設定ファイルにより、製品サーバーが使用できるライセンス数、システムログの場所、ログレベル、そのほかのカスタマイズ情報などのライセンスの動作が定義されます。カスタマーエクスペリエンス向上プログラム（CEIP）およびCall Homeの構成は、このファイルに保存されます。

ライセンスの要求プロセス

シトリックス製品がライセンスサーバーにライセンスを要求すると、Citrixベンダーデーモンがその要求をチェックして、ライセンスが使用可能かどうかを確認します。

ライセンスの要求プロセスには、製品の起動時とユーザーの接続時の2つの局面があります。

製品の起動時：

- シトリックス製品が起動すると、ライセンスサーバーの場所の情報をデータストアから取得します。
- シトリックス製品がCitrixベンダーデーモンに接続します。
- シトリックス製品がスタートアップライセンスをチェックアウトします。

ユーザーの接続時：

- シトリックス製品が動作するコンピューターにユーザーが接続します。
- 製品が、ライセンスサーバーにライセンスを要求します。
- Citrixベンダーデーモンが、ライセンスが使用可能かどうかを確認し、要求を許可または拒否します。
- Citrixベンダーデーモンからの応答に基づいて、シトリックス製品側のライセンスモジュールが製品の使用を許可または拒否します。

Citrixライセンスのカスタマーエクスペリエンス向上プログラム（CEIP）、Call Home、コンプライアンス使用状況および分析プログラム

Citrix Licensing CEIP、Call Home、コンプライアンス使用状況および分析プログラムは、製品に関するエクスペリエンスを向上させるために設計されたデータ収集プログラムであり、重要なライセンスコンプライアンス情報を収集します。

Citrixは、お客様のデータをCitrixとの契約条件に従って処理し、Citrix Trust Centerで利用できるCitrix Services Security Exhibitにおいて指定されているとおりにお客様のデータを保護します。

ライセンスサーバーのインストール中に、CEIPとコンプライアンスはデフォルトで有効になります。Call Homeへの参加は任意です。プログラムの参加は、Citrix Licensing Managerを使用しているいつでも変更できます。詳しくは、[使用状況と統計情報](#)の「共有使用状況と統計情報」を参照してください。

重要

Citrix Service Providerプログラムでは、CEIPとCall Homeが必須です。Citrix Service Providerライセンスをインストールしている場合、設定の変更はできますが、CEIPとCall Homeを無効にすることはできません。ライセンスサーバーは、Citrix Service Providerライセンスを検出すると、日次のアップロードを適用します。

プロキシサーバーの構成について詳しくは、[導入](#)にある「[プロキシサーバーを手動で構成する](#)」を参照してください。

コマンドラインインストールについて詳しくは、「[Windowsコマンドラインの使用方法](#)」を参照してください。

CitrixライセンスのCustomer Experience Improvement Program（CEIP）

CEIPプログラムは、シトリックス製品的环境から構成と使用状況データを収集し、サービスの開始時刻に基づいて1日1回データをCitrixに送信します。

収集されたデータ	説明	何にそれを使うか
ライセンス使用状況およびコンプライアンスデータ	ライセンス使用状況の情報と、ライセンスサーバーにインストールされているCitrixライセンスに関する情報（製品ID、ライセンスの種類、数量など）です。	このデータを使用して、ライセンスの消費状況を追跡し、顧客人口コンプライアンスを追跡します。
ライセンスサーバーの展開および構成データ	ライセンスサーバーのバージョン、オペレーティングシステムのバージョン、構成状態など、ライセンスサーバーとその展開方法に関する情報。	このデータは、シトリックス製品のさらなる開発に役立て、顧客エクスペリエンスを向上させるために使用いたします。

License Serverバージョン11.17.2ビルド35000のCEIPおよびCall Homeのデータ要素：

注：

License Serverバージョン11.17.2ビルド35000以降、データ要素はJSON形式で一覧表示されます。

prod		
DateSampleStartUTC		
DateSampleStopUTC		
payload	CLM-WSLUsage	WSLGetInventoryRequest
		WSLImportLicenseRequest

		list_entitlements
		get_task_status
		WSLGetConfigUsageSamplesRequest
		WSLGetUDUploadOptionRequest
		WSLGetUBScrambleOptionRequest
		WSLGetSARenewalConfigOptionsRequest
		WSLGetLSConfigRequest
		WSLGetUsersRequest
		WSLGetCEIPOptionRequest
		WSLGetAlertsRequest
		WSLSetConfigUsageSamplesRequest
		WSLSetCEIPOptionRequest
		WSLSetUBScrambleOptionRequest
		WSLSetUDUploadOptionRequest
		WSLSetSARenewalConfigOptionsRequest
		WSLUpdateLSConfigRequest
		WSLAddUserRequest
		WSLModifyUserRequest

		WSLRemoveUserRequest
		WSLGetUpdatedLicenseDetailsRequest
		WSLCheckRenewalLicensesRequest
		WSLInstallRenewalLicenses
		WSLGetPendingLicenseRenewalsRequest
		WSLGetHistoricalInventoryRequest
		list_server_info
		WSLCCRegisterRequest
		WSLCCRegistrationStatusRequest
		WSLRemoveCCRegistrationRequest
		WSLSetCCRegistrationPopupRequest
		WSLCEIPUploadRetryRequest
		WSLGetLastUploadRequest
		WSLGetSupportBundleRequest
	POSH-WSLUsage	WSLGetInventoryRequest
		WSLImportLicenseRequest
		list_entitlements

		get_task_status
		WSLGetConfigUsageSamplesRequest
		WSLGetSARenewalConfigOptionsRequest
		WSLGetLSConfigRequest
		WSLGetCEIPOptionRequest
		WSLGetAlertsRequest
		WSLSetConfigUsageSamplesRequest
		WSLSetCEIPOptionRequest
		WSLSetSARenewalConfigOptionsRequest
		WSLCheckRenewalLicensesRequest
		WSLInstallRenewalLicenses
		WSLGetHistoricalUsageRequestV2
		list_server_info
		WSLGetLicenseLocalizedNamesRequest
		WSLGetUsageDetailsRequest
		WSLAddUserRequest
		WSLRemoveUserRequest
		WSLGetUsersRequest

		WSLModifyUserRequest
type		
ver		
LSVersion		

ビルド32000のCEIPデータ要素：

ライセンスサ ーバー情報	機能	SADATE	STARTUPCOU NTS	SERIALNUMBE RS
GUID	FeatureID	DateSampleSta rtUTC	LPE ID	Serial
DateSampleSto pUTC	UDBinFileCreat edUTC	DateSampleSto pUTC		ID
DateSampleSto p	UDReportGene rationUTC	CountUsedMax		SADate
PortLACHTTP	EventLog	Active		SN
PortLACHTTPS	UDAdminUsers Released	Licensees		
PortLACRedire ct	UDAdminDevic esReleased	CountInstalled		
PortLS		Pool		
PortVD		CountTotal		
PortWSL		Devices		
UDUseDomain		Usage Samples		
OptFileNoLogSt atus		Serial		

ライセンスサ ーバー情報	機能	SADATE	STARTUPCOU NTS	SERIALNUMBE RS
OptFileComplia nceConfig		DateExpiration		
UDUserNameC ase		DateIssued		
UDDeviceNam eCase		VendorStr		
SARenewalChe ckOption		CountInstalled		
EncoreSamplin gPeriod		CountOverdraft		
EncoreRetentio nTime		Sample		
EncoreEnabled		Timestamp		
SLSPProxy		CountInUse		
SLSPProxyWinA utoURL		OverDraft		
SLSPProxyWinIE		Installed		
SLSPProxyWinD efault		Users		
SLSPProxySlsCo nfig				
OS				

WindowsEditionID
WindowsInstallationType
WindowsProductName

WindowsDomainMember
OSBits
OSLocale
VM
VMIDString
VMHVIDString
InstallUTC
ProductVersion
UpgradeFrom
SetupCluster
SGPClockErrorCode
SGPMaxDays
SupplementalGracePeriod

ビルド31000以前のCEIPデータ要素：

GUID	WindowsEditionID	FlexeraVersion	Feature ID
DateSampleStopUTC	WindowsInstallationType	SGPClockErrorCode	UDBinFileCreatedUTC

Citrix Call Home

Call Homeへの参加は任意です。このプログラムに参加すると、Citrix Call Homeによりシステムや製品の構成、パフォーマンス、エラーなどの情報を定期的に収集されます。この情報は、サービスの開始時刻に応じて、1日に1回Citrix Insight Servicesに送信されます。

Citrixに送信して処理する前に、ライセンスサーバーでユーザー名とデバイス情報を暗号化できます。詳しくは、「[Citrixライセンスサーバーの更新と構成](#)」を参照してください。

Call Home Citrix Cloud登録済みライセンスサーバーのアップロードを無効にする場合は、Citrix Licensing Managerを使用します。【使用状況と統計情報】 > 【共有使用状況と統計情報】 での選択を次のいずれかに変更します：【Citrix製品をより良いものとするため、ライセンスサーバーの詳細なシステム情報および特定できない使用状況をCitrixカスタマーエクスペリエンス向上プログラム（CEIP）に送信します。この情報によりユーザーは特定されません】、または【ライセンスコンプライアンスの目的に必要なライセンスサーバーの基本的なシステム情報および使用状況のみを送信します。この情報によりユーザーは特定されません】。Citrix Cloudに登録されたままで、Call Home情報は送信されません。

登録を削除する場合は、[使用状況と統計情報](#)にある「Citrix Cloudへの登録と登録削除」を参照してください。

収集されたデータ	説明	何にそれを使うか
ライセンス使用状況およびコンプライアンスデータ	ライセンス使用状況の情報と、ライセンスサーバーにインストールされているCitrixライセンスに関する情報（製品ID、ライセンスの種類、数量など）です。	このデータを使用して、ライセンスの消費状況を追跡し、顧客人口コンプライアンスを追跡します。ライセンスサーバーをCitrix Cloudに登録すると、Citrix Cloudでの経時的な使用状況を追跡できます。
ライセンスサーバーの展開および構成データ	ライセンスサーバーのバージョン、オペレーティングシステムのバージョン、構成状態など、ライセンスサーバーとその展開方法に関する情報。	このデータは、シトリックス製品のさらなる開発に役立て、顧客エクスペリエンスを向上させるために使用いたします。

ビルド32000のCall Homeデータ要素：

ライセンスサーバー情報	機能	SADATE	STARTUPCOUNTS	SERIALNUMBERS
GUID	FeatureID	DateSampleStartUTC	LPE ID	Serial
DateSampleStopUTC	UDBinFileCreatedUTC	DateSampleStopUTC		ID

ライセンスサ ーバ情報	機能	SADATE	STARTUPCOU NTS	SERIALNUMBE RS
DateSampleSto p	UDReportGene rationUTC	CountUsedMax		SADate
PortLACHTTP	EventLog	Active		SN
PortLACHTTPS	UDAdminUsers Released	Licensees		
PortLACRedire ct	UDAdminDevic esReleased	CountInstalled		
PortLS		Pool		
PortVD		CountTotal		
CustomerID		Users		
OrgID		Devices		
PortWSL		Usage Samples		
UDUseDomain		Serial		
OptFileNoLogSt atus		DateExpiration		
OptFileComplia nceConfig		DateIssued		
UDUserNameC ase		VendorStr		
UDDeviceNam eCase		CountInstalled		
SARenewalChe ckOption		CountOverdraft		
EncoreSamplin gPeriod		Sample		

ライセンスサーバー情報	機能	SADATE	STARTUPCOUNTS	SERIALNUMBERS
EncoreRetentionTime		Timestamp		
EncoreEnabled		CountInUse		
SLSPProxy		OverDraft		
SLSPProxyWinAutoURL		Installed		
SLSPProxyWinIE				
SLSPProxyWinDefault				
SLSPProxySlsConfig				
OS				

WindowsEditionID
WindowsInstallationType
WindowsProductName
WindowsDomainMember
OSBits
OSLocale
VM
VMIDString
VMHVIDString
HardwareId

FQDN
PrivacySetting
InstallUTC
ProductVersion
UpgradeFrom
SetupCluster
SGPClockErrorCode
SGPMaxDays
SupplementalGracePeriod

ビルド31000以前のCitrix Call Homeデータ要素：

GUID	WindowsEditionID	FlexeraVersion	Feature ID
DateSampleStopUTC	WindowsInstallationType	SGPClockErrorCode	UDBinFileCreatedUTC

コンプライアンスのアップロード

ライセンスサーバーをインストールすると、Citrixライセンス管理サービスにコンプライアンス情報を送信できるようになります。ライセンスサーバーのインストールには、ユーザーがライセンス管理サービスを承認し、ライセンス管理サービスの使用に同意する必要があります。インストール後、いつでもライセンス管理サービスを無効にできます。

Citrixライセンス管理サービスの詳細、およびコンプライアンスのアップロードを無効にする方法については、「[Citrixライセンス管理サービス](#)」を参照してください。

収集されたデータ	説明	何にそれを使うか
ライセンス使用状況およびコンプライアンスデータ	ライセンス使用状況の情報と、ライセンスサーバーにインストールされているCitrixライセンスに関する情報（製品	このデータは、お客様がライセンス要件に準拠していることを確認するために使用されます。

収集されたデータ	説明	何にそれを使うか
	ID、ライセンスの種類、数量など) です。	
ライセンスサーバーシステム情報	ライセンスサーバーに関する情報 (ハードウェアIDなど)	このデータを使用して、お客様の環境内のライセンスサーバーを特定します。

ビルド32000のコンプライアンスデータ要素：

ライセンスサーバー情報	機能	SADATE	STARTUPCOUNTS
GUID	Feature ID	CountUsedMax	LPE ID
HardwareId	UDBinFileCreatedUTC	Serial	
InstallUTC	UDReportGenerationUTC		
	UDAdminUsersReleased		
	UDAdminDevicesReleased		

ビルド31000以前のコンプライアンスデータ要素：

GUID	Feature ID	Serial
HardwareId	SADate	Startup Counts
Inventory	CountUsedMax	LPE ID

Citrixライセンスサーバーの技術概要

Citrix製品を使用するには、Citrixライセンスサーバーをインストールする必要があります。Citrixライセンスサーバーは、連携して機能するコンポーネントのシステムです。以下のコンポーネントで構成されます：

****ライセンスサーバー。** **ネットワークを介したライセンスの共有を可能にするシステムです。詳しくは、「[ライセンスサーバー](#)」を参照してください。

****ライセンスファイル。** **製品のライセンスを有効にするためのファイルです。ライセンスファイルは、ライセンスサーバー上に格納されます。詳しくは、「[ライセンスファイル](#)」を参照してください。

****Citrix Licensing Manager。** **ライセンスサーバーの管理方法。詳しくは、「[Citrix Licensing Manager](#)」を参照してください。

****Web Services for Licensing。** **Studio、Director、ライセンス管理PowerShellスナップインを有効にして、次のことを可能にします：

- ライセンスサーバーと通信し、ユーザーを管理。
- ライセンスを割り当ててインストール。
- ライセンスサーバーの正常性、ライセンスの使用状況、他のアラートメッセージを表示。

詳しくは、「[ライセンスサーバーの要素](#)」および「[サービス](#)」を参照してください。

ライセンス処理の概要

チェックアウトとチェックイン

通常、ユーザーがCitrix製品への初回接続を試みると、製品からライセンスサーバーにライセンスが要求されます。ライセンスサーバーで要求が許可されると、そのCitrix製品を使用するためのライセンスが付与されます。これを、ライセンスの**チェックアウト**と呼びます。製品サーバーからユーザーがログオフすると、製品がライセンスサーバーにライセンスを戻します。これを、ライセンスの**チェックイン**と呼びます。一部のCitrix製品では、ユーザーが接続した瞬間にライセンスがチェックアウトされ、一定の期間チェックアウト状態が保持されます。

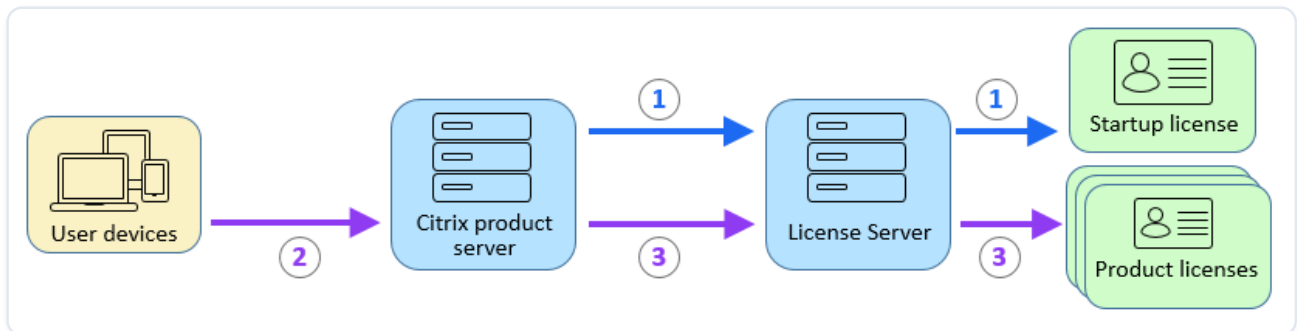
Citrix製品は、起動時にスタートアップライセンスをチェックアウトします。これによりライセンスサーバーへの接続が開かれます。このスタートアップライセンスはCitrixシステムファイルであり、これによりCitrix製品とライセンスサーバーとの接続が維持されます。詳しくは、「[スタートアップライセンス](#)」を参照してください。

たとえば、Citrix Virtual Desktopsがライセンスを要求すると、データストアからライセンスサーバーの名前とポート番号を取得します。そして、ライセンスを取得するために、接続を確立します。

注

製品側でライセンスサーバーの名前を指定するときに、「localhost」を使用しないでください。FQDNの代わりにホスト名やIPアドレスを指定することもできますが、CitrixではFQDNを使用することをお勧めします。

ライセンスのチェックアウトプロセスには、3つの段階があります。



Citrix製品は、以下の3つの段階を経てライセンスをチェックアウトします：

1. Citrix製品が起動すると、その製品が動作するサーバーがスタートアップライセンスをチェックアウトします。
2. クライアントデバイスが製品サーバーに接続します。
3. 製品が、ライセンスサーバーにライセンスを要求します。

Citrix Virtual DesktopsなどのCitrix製品では、ライセンスサーバーからのライセンス情報（ライセンス数やライセンスの種類）の複製がローカルに保持されます。Citrix製品サーバーとライセンスサーバーとの接続が失われたりライセンスサーバーが正しく応答しなくなったりすると、製品が**猶予期間**に入ります。この間、ローカルに保持されているライセンス情報に基づいて製品の使用が許可されます。Citrix製品とライセンスサーバーとの接続が回復すると、猶予期間の残り時間はリセットされます。

スケーラビリティ

このセクションでは、Citrix製品環境でのライセンス使用のスケーラビリティがどのような影響を与えるかについて説明し、ライセンスサーバーを適切に使用するための情報を提供します。このスケーラビリティテストは実施済みです：

仮想マシンのハードウェア/構成： Intel Xeon E5-2650 v3（2.30GHz） 4つの仮想CPU 8GBのRAM Windows Server 2016

バージョン6.5以前の同時使用ライセンス：

- 3000台の接続済みCitrix Virtual Appsサーバー
- 53,000の同時使用ライセンス
- 毎秒50～60の接続

ライセンスを53,000以上に増やそうとすると、サーバーは猶予期間に入ります。また、WMIとImstatに問題があります。同時接続はライセンスサーバーにつき50,000以下に維持することをお勧めします。

バージョン7.xの同時使用ライセンス：

- 16のDelivery Controller
- 70,000の同時使用ライセンス
- 毎秒50～60のチェックアウト

バージョン7.xのユーザー/デバイスライセンス：

- 16のDelivery Controller
- 150,000のユーザー/デバイスライセンス
- 毎秒50～60のチェックアウト

CITRIX.exeはシングルスレッドプロセスです。同時接続に対応していますが、接続制限の最大値はシングルコアプロセッサの速度に依存しています。ピーク時のアクティビティでは、CITRIX.exeはシングルコアの100%を使用し、最終的にタイムアウトします。このような使用法では、Citrix製品が猶予期間に入ったりライセンスサーバーユーティリティでエラーが発生したりすることがあります。ライセンスサーバーはBacklog接続の処理後、正常な状態に戻ります。より高速なプロセッサが必要かを判断するには、CITRIX.exeプロセッサの使用状況を監視します。スケーラビリティの高い環境で問題が発生した場合は、追加のライセンスサーバーを展開することをお勧めします。

ユーザー/デバイス技術は、マルチスレッドであり、同時使用よりスケーラビリティに優れています。ライセンスの最適化中に、ライセンスアクティビティがシングルコアの100%を占める期間が発生することがあります。これは正常な使用法であり、CITRIX.exeプロセッサの使用または機能には影響しません。ライセンスサーバーのリソース使用状況を監視し、適切に機能する環境を維持するために必要であればライセンスサーバーを追加することをお勧めします。

注

`WMI`、`lmstat`、`lmutil` またはその他のインベントリ操作を実行すると、ライセンスサーバーのパフォーマンスが低下する可能性があります。このような活動は最小限にとどめてください。使用データが必要な場合は、Citrix Licensing Managerからデータをエクスポートします。詳しくは、「[使用履歴](#)」を参照してください。

異なる製品エディションを使用するライセンスサーバー

1つのライセンスサーバーに、複数のエディションのCitrix製品のライセンスを配置できます。製品エディションについて詳しくは、「[Citrix製品とライセンスモデル](#)」を参照してください。製品サーバーで設定されているエディションに対応する種類のライセンスがチェックアウトされます。製品サーバーは特定のエディションのライセンスを使用するように設定され、そのエディションのライセンスをチェックアウトします。

製品サーバーAはAdvanced Editionのライセンスをチェックアウトするように設定されています。製品サーバーBはPremium Editionのライセンスをチェックアウトするように設定されています。ライセンスサーバー1には、Advanced EditionとPremium Editionの両方のライセンスが配置されています。

- ライセンスサーバー1にインストールされたライセンスを使用するように構成されている製品サーバーAに接続するユーザーは、Advanced Editionのライセンスのみをチェックアウトします。ライセンスサーバー1でAdvanced Editionのライセンスがすべてチェックアウトされると、Advanced Editionのライセンスが解放されるまで、製品サーバーAのユーザーからの新しい要求は拒否されます。
- ライセンスサーバー1にインストールされたライセンスを使用するように構成されている製品サーバーBに接続するユーザーは、Premium Editionのライセンスのみをチェックアウトします。ライセンスサーバー1でPremium Editionのライセンスがすべてチェックアウトされると、Premium Editionのライセンスが解放されるまで、製品サーバーBのユーザーからの新しい要求は拒否されます。

注：

多くのユーザーが使用する多くの製品サーバーが同じライセンスサーバーと同時に通信する場合は、ライセンスのチェックアウトにかかる時間が長くなる場合があります。1つのライセンスサーバーが同時に処理できるTCP/IP着信要求は10,000件までです。同時に接続するCitrixの製品サーバーが10,000台を超える場合は、複数のライセンスサーバーを使用することをお勧めします。これらの製品サーバーには、Citrix Virtual Apps and Desktops、Delivery Controller、アプライアンスが含まれます。

展開例**シナリオ1：2つのサイト**

- サイトAには、Advanced Editionに設定された製品サーバーがあります。
- サイトBには、Premium Editionに設定された製品サーバーがあります。
- 1つのライセンスサーバー（共有）。
- ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3、ユーザー4... ユーザー5000はサイトAにのみ接続します。
- ユーザー5001、ユーザー5002、ユーザー5003... ユーザー10000はサイトBにのみ接続します。

シナリオ2：1つのサイト

- 1つのサイトに2組の公開アプリケーションがあります。
- サイトはCitrix Virtual Apps and Desktops Premiumの同時使用ライセンスで構成され、デリバリーグループ2はCitrix Virtual Apps and Desktopsユーザー/デバイスライセンスで構成されています。
- 1つのライセンスサーバー（共有）。
- ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3、ユーザー4 ...ユーザー5000は、この同時使用ライセンスにのみ接続します。
- ユーザー5001、ユーザー5002、ユーザー5003 ...ユーザー10000は、デリバリーグループ2のユーザー/デバイスライセンスにのみ接続します。

ライセンスの概念

猶予期間

注：

猶予期間と追加猶予期間は、2つの異なる機能です。追加猶予期間について詳しくは、「追加猶予期間」を参照してください。

製品サーバーがライセンスサーバーと通信できない場合、ユーザーと製品は猶予期間によって保護されます。猶予期間により、製品サーバーは、ライセンスサーバーとの通信を継続しているかのような状態で操作を続行できます。Citrix製品が起動してスタートアップライセンスをチェックアウトすると、Citrix製品とライセンスサーバーが5分ごとにハートビートメッセージを交換します。このメッセージにより、両者が正しく動作しており、接続が維持されていることが確認されます。Citrix製品またはライセンスサーバー側でハートビートメッセージを送信しないと、製品がライセンス猶予期間に入り、ローカルに保持されているライセンス情報に基づいた動作を開始します。

Citrixでは猶予期間が設定されます。通常は30日間ですが、製品により異なる場合があります。Citrix製品が猶予期間に入ると、猶予期間の残り時間の情報とともにWindowsのイベントログに記録され、製品上でメッセージが表示されます。猶予期間が終了すると、Citrix製品がユーザー接続の受け入れを停止します。Citrix製品とライセンスサーバーとの接続が回復すると、猶予期間の残り時間はリセットされます。

Citrix製品が猶予期間に入るためには、ライセンスサーバーとの接続が少なくとも1回確立されている必要があります。

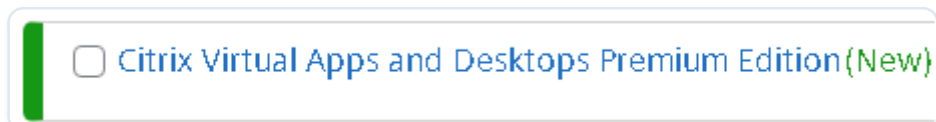
同時接続ライセンスの場合は、インストールされている同時接続ライセンスの最大数まで接続が許可されます。ユーザー/デバイスライセンスの場合は、接続数に制限はありません。

猶予期間の例 - ライセンスサーバーを共有する2つのサイトの場合

- サイト1とライセンスサーバーとの接続が失われると、サイト1が猶予期間に入り、処理および接続が引き続き許可されます。
- サイト1とライセンスサーバーとの接続が回復すると、通常時のライセンスで許可される数になるまで新しい接続は拒否されます。
- この間、サイト2は通常どおり機能します。
- ライセンスサーバーが停止すると、両方のサイトが猶予期間に入ります。各サイトでは、インストールされているライセンスの最大数まで接続が許可されます。この場合も、ユーザー/デバイスライセンスでは接続数に制限はありません。

新規ライセンス

- 新規ライセンスとは、過去30日以内にシトリックスから購入したライセンスを意味します。
- 新規ライセンスのセクションには、最も最近購入した5件が表示されます。
- 新規ライセンスには、緑の縦棒と「(New)」という緑の文字が表示されます。



- 新規ライセンスは、ランディングページからのみ割り当てることができます。必要なライセンスを選択し、**[Allocate licenses]** クリックして割り当てプロセスを開始します。

期限切れが近いライセンス

- 期限切れが近いライセンスとは、90日以内に有効期限が切れるライセンスを意味します。
- 0～30日以内に期限が切れるライセンスには、赤い縦棒が表示されます。31～90日以内に期限が切れるライセンスには、オレンジ色の縦棒が表示されます。

Product name	License access code	Allocated	Expires
Citrix ADC VPX 3000 Mbps Advanced Edition Term License		1 of 25	6 days
Citrix ADC Connector VPX 200Mbps - 1 Year On-Premises Subscription License		0 of 25	6 days
Citrix Gateway Universal - Annual License		0 of 25	36 days

Once the expiration date passes, these licenses do not work on your server nor appear in your list of licenses. If you need assistance with expired licenses, contact Customer Service.

- **[Expires]** 列には、ライセンス有効期限までの日数が表示されます。
- **[Allocated]** 列には、割り当て済みの数と合計購入数が表示されます。
- 期限切れが近いライセンスのセクションには、購入順に最新の5件が表示されます。

用語集

ライセンスの割り当て： ライセンスの割り当てを選択すると、製品およびライセンスサーバーに従って購入したライセンスを振り分け、複数の環境またはユースケースで分割できます。たとえば、組織が同じ製品で1,000ライセンスを所有しているとします。1つの場所で800、別の場所で200を使用する場合、最初の場所のライセンスサーバーに800ライセンスを割り当て、残りの200ライセンスを後から別のライセンスサーバーに割り当てることができます。

アセットコンポーネント： アセットコンポーネントは、ライセンスの詳細です。

CSVファイル： Excel CSVファイルにより、超過使用のライセンス数を含む日単位での使用状況情報が提供されます。

ライセンスの変更： [Modify licenses] を選択するとライセンスファイルが返され、別のライセンスサーバーに割り当てられます。

割り当ての返却： [Return licenses] を選択すると、ライセンスをライセンスプールに戻します。これらのライセンスはその後、いつでも任意の数量で割り当てることができます。ライセンスの返却後、ライセンスサーバーから古いランセンスファイルを削除します。

期間ライセンス： 期間ライセンスは、指定された期間購入され、有効期限が設定されています。

Citrixライセンスサーバーのドキュメント履歴

次の表に、Citrixライセンスサーバーのドキュメントに対する重要な変更点を示します。これらの更新に関する通知を受け取るには、RSSフィードを購読してください。

日付	変更	説明
03 Dec 2024	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド51000 リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
12 Aug 2024	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド49000 リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
31 Jul 2024	Citrixライセンステレメトリの データ要素を更新。	詳しくは、「 Citrixライセンス テレメトリのデータ要素 」を 参照してください。
27 Jun 2024	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド48000リリース	詳しくは、「新機能」を参照 してください。
19 Apr 2024	サードパーティ通知にオープ ンソースソフトウェア一覧を 追加	詳しくは、「サードパーティ 通知」を参照してください。
15 Apr 2024	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド47000 リリース	詳しくは、「新機能」を参照 してください。
19 Feb 2024	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド46000リリース	詳しくは、「新機能」を参照 してください。
07 Dec 2023	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド45000リリース	詳しくは、「新機能」を参照 してください。
26 Jul 2023	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド44000リリース	詳しくは、「新機能」を参照 してください。

日付	変更	説明
22 May 2023	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド43000リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
01 Feb 2023	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド42000リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
22 Dec 2022	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド41000リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
19 Oct 2022	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド40000リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
11 May 2022	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド39000リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
04 Apr 2022	移行とトレードアップ (TTU) とハイブリッド権利 ドキュメントを更新し、 Citrix Virtual Apps and DesktopsサービスからCitrix DaaSにブランド名を変更 しました。	詳しくは、「移行とトレード アップ (TTU) とハイブリッ ド権利」を参照してくださ い。
13 Dec 2021	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド37000リリース	詳しくは、「新機能」を参照 してください。
16 Sep 2021	Citrixライセンスサーバー 11.17.2ビルド36000リリース	詳しくは、「新機能」を参照 してください。
01 Sep 2021	Windows Server 2022のサ ポート	「新機能」を参照してくださ い。
16 Jun 2021	Citrixライセンスサーバー 11.17.2の初期リリース	Citrixライセンスサーバー 11.17.2の初期リリース。詳 しくは、「新機能」を参照し てください。
17 Mar 2021	Citrixライセンスサーバー 11.16.6ビルド34000リリース	詳しくは、「新機能」を参照 してください。

日付	変更	説明
15 Dec 2020	Citrixライセンスサーバー 11.16.6ビルド33000リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
29 Sep 2020	Citrixライセンスサーバー 11.16.6ビルド32000リリース	詳しくは、「新機能」を参照してください。
17 Jun 2020	Citrixライセンスサーバー 11.16.6の初期リリース	Citrixライセンスサーバー 11.16.6の初期リリース。詳しくは、「新機能」を参照してください。